

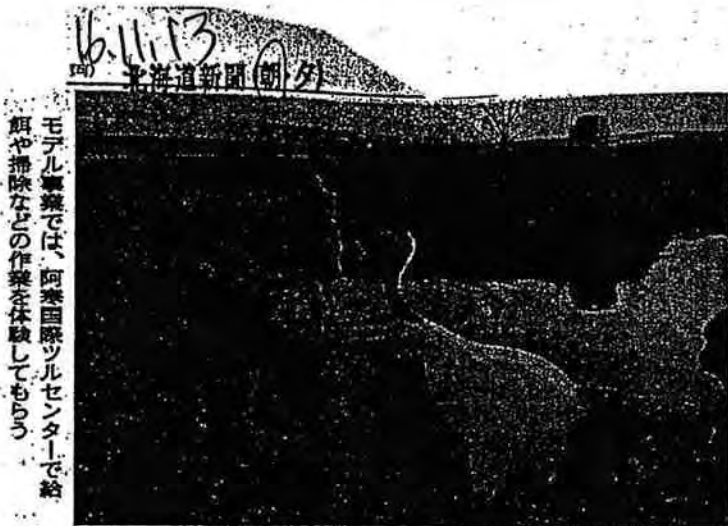
参 考 資 料

参考資料 目次

1. 関連報道記事	1
2. 委員会名簿	16
3. 委員会議事録	18
4. 大都市住民に向けたニーズ調査アンケート票	31
5. 大都市住民に向けたニーズ調査アンケート集計表	40
6. 大都市住民に向けたニーズ調査アンケート自由回答	57
7. モデル事業モニター募集告知先	73
8. モデル事業モニター募集チラシ	76

2004.11.13 北海道新聞 朝刊

2004.11.13 北海道新聞 夕刊



モデル事業では、阿寒国際ツルセンターで給餌や掃除などの作業を体験してもらう

奉仕活動に 阿寒へおいで

【阿寒】過疎化の進む地方で、大都市の住民がボランティア活動しながら長期滞在する「ボランティアホリデー」のモデル事業が、阿寒町で十四日から始まる。国土交通省が来年度からの事業化を目指しているもので、同町も将来は多くのボランティアを受け入れ、町内での消費拡大や定住促進につなげる考えだ。

都市と地域との交流、地域経済の活性化などの効果も期待されている。モデル事業は、道内では阿寒を含め計四カ所で同時に実施。道外では山形、高知、鹿児島、三県でも今年十二月にかけて行われる。国土交通省は、モデル事業での反省点などを参考に、来年度から本格的にボランティアホリデーを推進する方針。低予算で通常の観光では体験できない長期滞在を希望する人を対象に、ホームページでボランティア参加者を募集する一方、受け入れる自治体も全国に呼びかける計画だ。

消費拡大、定住促進狙う

今回、阿寒町では、奈良県の五十代女性と兵庫県六十代女性がモニターとして一週間滞在する。阿寒国際ツルセンターでタシチュウの給餌や、移動図書館バスで本の貸し出しなどを手伝う。町まちづくり推進課は「ボランティアには、夏ならマリモの保護活動などたくさんメニューを用意したい。道内への移住を考えている本州の人は、阿寒町での生活を試してもらえ」と意欲的。中島守一町長も「この事業で阿寒町のイメージが上がるかもしれない」と期待を寄せている。(本郷田美子)

ツル飼育、遺跡復元…

ボランティア体験で道東知って

道庁職員は十四日から一週にPRし、観光を生かした民間、都市部の住民がボランティア活動しながら地方に滞在する「ボランティアホリデー」のモニター実験を、道東の四町で行う。国土交通省が本年度始めた事業の一環で、地域の魅力を都市部の人たち

にPRし、観光を生かした民間、都市部の住民がボランティア活動しながら地方に滞在する「ボランティアホリデー」のモニター実験を、道東の四町で行う。国土交通省が本年度始めた事業の一環で、地域の魅力を都市部の人たち

にPRし、観光を生かした民間、都市部の住民がボランティア活動しながら地方に滞在する「ボランティアホリデー」のモニター実験を、道東の四町で行う。国土交通省が本年度始めた事業の一環で、地域の魅力を都市部の人たち

にPRし、観光を生かした民間、都市部の住民がボランティア活動しながら地方に滞在する「ボランティアホリデー」のモニター実験を、道東の四町で行う。国土交通省が本年度始めた事業の一環で、地域の魅力を都市部の人たち

動。受け入れる町は、ツルの飼育(阿寒町)や遺跡の復元(帯広町)など、まちの特色が光るユニークなボランティア活動を用意している。道庁職員はモニター実験の結果をもとに、年明けに有識者を交えた検討会を開き、自治体が自主的に運営できるような体制や、国としての支援のあり方を探る。

ツルに給餌：感激

国のモデル
奉仕事業 関西の主婦が体験

【阿寒】大都市の住民 期待する「ボランティア」がボランティアをしながら「アホリデー」のモデル事業から過疎化の進む地方に長 業が、十四日から道東の



ケージ内の掃除など、タンチョウに接する機会を楽しむモニターの2人（後方）

阿寒

四町で始まった。このうち阿寒町では十六日、関西から参加したモニター二人が阿寒国際ツルセンターで、タンチョウへの

給餌などを手伝った。

国土交通省が本年度から始めた事業。阿寒町を訪れたのは主婦の岡林好子さん（左）と兵庫県の岡村伸子さん（右）。奈良県。餌の量を記録しながらタンチョウに給餌したり、タンチョウが住むケージ内で池の掃除などを行った。

岡林さんは「タンチョウが自由に動ける場所に自分が入れるなんて」と貴重な体験に感激。岡村さんは「ボランティアに雪かきなどのメニューがあれば、雪のない地域から来る人も多いのでは」と提案していた。

二人は移動図書館バスでも本の貸し出しなどを手伝い、二十日まで同町内の保養施設に滞在する。主催する道庁運輸局はモニターの意見などを参考に、ホームページや受

け入れ組織を整備し、来年度から事業を本格化さ

せる方針だ。

（本郷由美子）

長期滞在ボランティア

国、道東4町で実験

阿寒でタンチョウ世話／常品では遺跡復元…

都市・地方の交流拡大へ

都会に住む人たちが、道東の4町（阿寒、斜里、女満別、常呂）で繰り広げられている。国土交通省の事業で「イベント主体の一過性の交流事業ではなく、長期的な交流」のモニター実験が、



は北海道運輸局が4町と検討委員会を発足し、ボランティアのメニューを決めた。滞在は14日から20日まで。関東や関西から各町に2人ずつ入った。

阿寒町では16日、神戸市の岡林好子さん(61)と奈良県上牧町の岡村伸子さん(57)の主婦2人が阿寒国際ツルセンターで、職員の手引きを受けながら

タンチョウを間近に見ながらケージの清掃作業を手伝う岡林好子さん(左)と岡村伸子さん(右)と岡林好子さんと

ケージに入り、タンチョウへの給餌や池の底にたまった落ち葉などの清掃作業を手伝った。

2人は子育てを通じて知り合った友人。名所旧跡を慌ただしくまわる旅ではなく、滞在型で普通の旅行では出来ない体験ができることにひかれて応募し、第一希望だったツルの世話がメニューにある阿寒町に決まった。

目と鼻の先までツルに近づいた2人は「優雅で美しいというイメージはなく、大きくて力強さを感じた」などうれしそう。岡林さんは「雪かき

やお年寄りの話し相手などメニューにあつたらいい」、岡村さんは「夫婦だったらもっと長い滞在ができるのでは」と話していた。

2人は17日は阿寒湖畔地域での移動図書館を手伝い、18日は再びツルの世話や、団体客があればツアーガイドの手助けをする。

斜里では知床博物館でオオワシやエゾシカの飼育、女満別では長イモ掘りなどの農作業、常呂では遺跡の整理や復元などを手伝っている。

事業紹介のHP開設へ

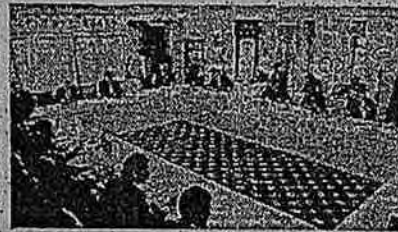
広がるボランティアホリデー

阿寒町、観光業界委員らが会合

【阿寒湖畔】大都市の住民が、過疎化の進む地域に滞在し、ボランティア活動をしなが

る「ボランティアホリデー」の本年度第3回会合、観光業界などから関係者が集まり、阿寒町の観光振興策について話し合った。

阿寒町観光振興委員会（北海道運輸局など主催）が七日、町内の阿寒湖温泉ホテルで開かれ、事業を紹介するホームページ（HP）を四月に開設する計画などが報告された。



ボランティアホリデー参加者の増加策などを考えた検討会

同二十一人が出席。同委員会は国土交通省が四年度から始め、道内では阿寒と、網走管内の紋別、稚内、女満別各町でモデル事業が行われている。阿寒には昨年十一月、関西から女性二人が来町し、二週間ほど交

平成16年(2004年)10月22日(金曜日)

農作業に従事しながら観光も

山形でモデル調査

運輸局と4市町 交流内容など提言

ボランティアホリデー

東北運輸局は、大都市の住民がボランティア活動をしながらかつたに長期滞在する「ボランティアホリデー」のモデル調査を山形県内の四市町で実施する。来月八日に検討委員会を召集し、来年三月まで滞在地域に合ったボランティア活動内容や交流プログラムについて調査・検討し、その後に本格的な事業導入を目指す。

モデル調査を実施する「山形県中央部のエリア」は、山形、天童、東根、河北の四市町。果物の産地で、温泉、山などの観光資源が豊富なことが

どうほく総合

なを調べ、運営体制の検討などを含め提言としてまとめる。四市町の交流プログラムをまとめたパンフレットや、全国のボランティア希望者と滞在先を仲介するホームページ(HP)を作成する。各市町に二人のモニターを割り、実際に一週間程度滞在しながら簡単な農作業など

ボランティアホリデー 都市部の住民が地方に滞在し、ボランティア活動をする。交流事業、代わりの宿泊施設などの特典がある。働きながら外国に滞在できるワーキングホリデーのボランティア版で、都市部と地方の交流人口の拡大を狙い、ボランティア活動に従事しながら語学習得する留学プログラムの意味もある。

に従事してもらう試験プログラムもつくる。東北運輸局はモデル調査に約千三百万円を本

年度予算に計上している。二〇〇七年度から様々な年度滞りを通する「四の世代」の世代がいくつくりが狙い。地方にとっても都市部との交流が深まり、新しい産業の創出や人材育成、ボランティア活動の活性化などの

効果が期待される。天童市の長瀬一興観光物産課長は「都市部の住民は従来の物見遊山の観光に満足しなくなっている。HIT作成など知識・技術を生かせる社会貢献の場を提供したい」と話している。

ボランティアしながら滞在 県内3市1町を指定

国交省 首都圏から受け入れ
モデル

国土交通省東北運輸局や東北運輸局は、大都市圏の住民がボランティア活動しながら地方圏に一定期間滞在する「ボランティアホリデー」の可能性を調査するモデル事業を、東北では山形、天童、東根、河北の三市一町で行う。四市町の観光、民間非営利団体(NPO)、地域住民、行政などの関係者で組織する検討委員会を立ち上げ、首都圏や受け入れ地域でのニーズ調査、公募モニターによる実証事業などを展開。本格導入を視野に、地域に合ったボランティア活動内容や情報発信するため、インターネットのポータルサイトも立ち上げる予定。

検討会の初会合は、青八日(四)九州の各運輸局で、八日に天童市役所で開く。この事業は、本年度の国土施策調査調査として国交省などが北海道、は、都会で定年を迎え、た人や若者が、一定期間の休暇などを利用して地方に滞在。自分の知識やノウハウを生かしたボランティア活動を行いながら地方の暮らしや観光を体験するもの。都市と地方の交流人口拡大を図り、地方の経済活性化や魅力創出につなげる狙いがある。

2004.11.9 河北新報

滞在ボランティア
受け入れ方や
運用方法探る
天童で検討委
大都市の住民がボラ

ボランティア活動に携わりながら地方に長期滞在する「ボランティアホリデー」の活用方法を探る検討委員会(大島美恵子委員長)が八日、天童市であり、十四日から山形市などで実施するモニターツアーについて協議した。

モニターは関西のシニア世代を中心に山形県の四市町に二人ずつ、一週間滞在し、果物の収穫や観光案内などのボランティア活動を行う。天童市では天童高原駅を基盤にスタッフとして参加

し、空いた時間を高層敷策などの観光に費やす。委員からは「ボランティアに対する若者や中高年のニーズは多い。受け入れ先どうまくマッチさせることが重要」「受け入れ側に負担が大きくなり、報酬が必要ではないか」などの意見が出た。

検討会は東北運輸局の主催で、山形、天童、東根の三市と河北町の観光担当、民間非営利団体(NPO)関係者らで構成。都市住民の意向や活動プログラムについて調査、両者を仲介するホームページの作成やコーディネート育成を行う。

委員長に大島氏

東北ポランティア
ホリデー検討委 初会合で選出

国土交通省東北運輸局の「ポランティアホリデー」モデル事業エリアに選ばれた県内四市町の関係者による「東北ポランティアホリデー検討委員会」の初会合が八日、天

宮市役所で開かれ、今後の事業展開や課題などについて意見を交換した。

ポランティアホリデー事業は、大都市の住民がポランティア活動しながら地方圏に一定期間滞在し、地域との交流を深

めるもの。同運輸局は本年度、山形、天宮、東根、河北の三市一町をモデル地域に選定し、調査や実証実験を展開する。

この日は、各市町の観光、民間非営利団体（NPO）、行政関係者や国

交、総務、農林各官庁の担当者など委員二十二人が出席。委員長に大島美恵子東北公益文科大学学長を選んだ。事業概要のほか、今年十四日から六泊七日の日程で、各市町ごとに二回ずつモニターツアーや、都市部の住民千人を対象にしたニーズ調査などの説明を受けた後、

意見交換に入った。委員からは「受け入れる側の負担なども考えられ、両者の調整を図るコーディネーターの育成が大事」「地域特性を考慮した受け入れメニューの開発が重要」「互いに機えす気象に取り組める態勢をとっていきたい」などの意見が出た。

本年度三回の会合を予定しており、次回は山形市で来年一月十七日に開く。

リンゴ収穫イベント補助、地域との交流

「ボランティアホリデー」モデル事業 メニューや態勢どう？

山形など
4市町 モニター招き実験

国土交通省東北運輸局が真内で展開する「ボランティアホリデー」事業のモデルエリアとなっている山形、天童、東根、河北の三市一町で、県外モニター八人を招いてのモデル事業が繰り広げられている。来年度以降の本格実施に向けた実証実験。モニターは二十日までの日程で、農作業やイベント補助などのボランティアを行いながら各市町に滞在。活動メニューや受け入れ態勢などについて率直に見聞、感想をまとめる。



「ボランティアホリデー」モデル事業のモニターとして、果樹園でリンゴの収穫作業を手伝う石村進さん（左）、昌子さん（右）。天童市



農産物の袋詰め作業を体験する森本陽子さん（左）と松田典子さん。東根市

ボランティアホリデーは、大都市圏の住民がボランティア活動をしながらか、地方圏に一定期間滞在し、地域との交流を深める事業。同運輸局は本年度、県内の三市一町をモデル地域に選定し、調査・検討を進めている。受け入れ態勢の整備などに向けた課題を探るために、モニターによる実証ツアー。対象地域ごとに、県外から公募したモニター二人ずつを受け入れ、実際にボランティア活動

ンティアホリデーを体験してもらう。山形市では、ハウス栽培の食用菊の収穫やパック詰め作業など。天童市では、リンゴの収穫作業やイベント補助、宿泊を兼ねた天童高原ロッジの夜間宿直などのメニューを用意した。東根市では、リンゴの収穫や共同選果場での仕分け、直売所での販売などをを行うほか、河北町ではリンゴ、ラフランスの選果や箱詰め、バラの芽摘み、野菜収穫などを手伝うプログラム。いずれも、作業時間以外は、観光や体験を楽しむ、地域との交流を深めている。

とは違った形で交流が面白そうと応募した。農作業にかけると土地の人の本音が聞けるし、楽しい話も聞けることができるといい。二十日に東根市のモニターを務める森本陽子さん（左）と松田典子さん（右）は、同県宝塚市、大学院生は「多くの人と触れ合える情報交換できる関係が生まれたらうれしい」と話していた。二十日には、モニター全員が集まり、関係者と意見交換する。

ポランティアホリデー事業

05年度、本格導入

県内4市町

首都圏から農業体験などのポランティアを迎え、交流人口を拡大しようという国土交通省東北運輸局などの「ポランティアホリデー」事業で、モデル地区の指定を受けた県内三市一町の関係者らによる東北ポランティアホリデー検討委員会が一日、東根市役所で開かれた。検討委員は、二〇〇五年度にホームページ（ＨＰ）を開設し、三市一町で事業を本格導入することを決めた。

都会の人たちが地方に一定期間滞在し、ポランティア活動を通して地域との交流を深めるもので北海道、東北、四国、九州の四地方で本年度実施した。東北では、東根、天童、山形、河北の三市一町がモデル地区となった。八人がモニターとして実際に体験。検討委員は、実績について調査・検討を進めてきた。

この日の会議では、三市一町が〇五年度の事業に本格的に参画することに決めた。また、今年四月に開設するＨＰの内容なども検討した。一方、本年度のモデル事業を通じ、同運輸局などは計五万部のパンフレットを作り、広報することにした。

高知の暮らし体験中

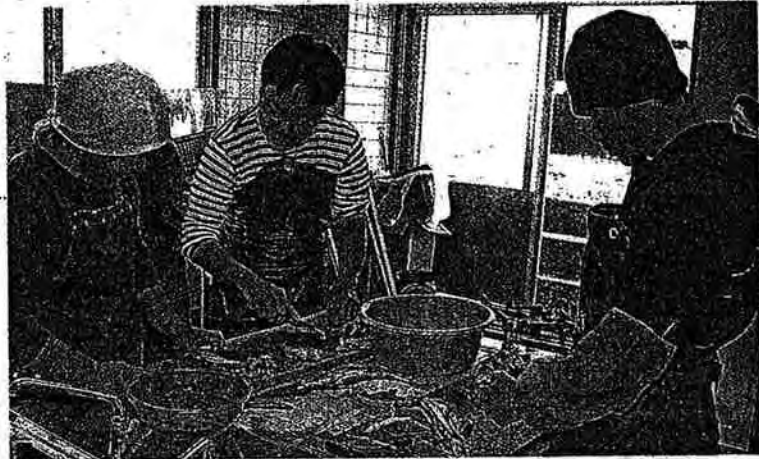
8人がボランティアホリデー

都市と地方の交流人口拡大を、国土交通省が取り組む「ボランティアホリデー」のモニターツアーが四日まで、安芸市など県内四市町村で行われている。参加者は普段、都会ではできない農作業などを体験し、心地よい汗を流している。

ボランティアホリデーは、都市住民が地方に民泊などで長期滞在し、ボランティア活動を行って地域住民と交流。地域活性化にもつなげようと、同省が本県や北海道などで実施。県内では安芸市、香美郡夜須町、幡多郡大方町、西土佐村がモデル地区となっている。

本県でのモニターツアーは十一月二十八日から関東や関西の大学生、企業の退職者ら八人が四市町村に滞在している。

大方町ではシカゴ大学大学院生の小林盾さん（三〇）東京都と、無職の小川敬史さん（二九）千葉県が天日塩や黒砂糖作りを体験。三日は伊田漁民センターで干物作りに挑戦した。



⑥魚のさばき方を教わるボランティアホリデーの参加者（大方町の伊田漁民センター）⑦ユズの収穫を体験する大学生（安芸市入河内）

安芸市、夜須町、大方町、西土佐村

町漁協伊田支所女性部のメンバーから魚のさばき方を教わり、小林さんは「骨に沿って包丁を動かすのがとても難しい」と四苦八苦。小川さんは三枚おろしなどを行い、メンバーも「なかなかうまくいかなかった」。小林さんは「ボランティアに興味はあったが、参加する機会がなかった。今回は体験メニューも用意してくれ、気軽に参加できた」と話していた。

安芸市では明治四十四年の篠田安美さん（三〇）東京都と、早稲田大三年の藤田圭子さん（三〇）千葉県がナスの収穫や内原野陶芸館で土練りを体験。三日は入河内地区でユズの収穫を手伝った。

篠田さんは「高知の人は温かい。でも、若い人がほとんどいない地区もあって驚いた」。藤田さんは「ナス農家でハチを使う先進的な取り組みを知った。新鮮な体験がたっくさんできた」と喜んでいて、入河内の女性（五〇）も「田舎を知ってもらっただけでも価値がある」と笑顔で話していた。



ボランティアし長期滞在 阿久根など2市4町 受け入れ可能か調査

九州運輸局

九州運輸局は四日、都
市部の住民がボランティア
活動をしながら地方圏
に長期滞在する「ボラン
ティアホリデー」にかん
する調査を、阿久根市な
ど周辺二市四町で行うと
発表した。ボランティア
を通して都市部と交流を
広げ、地域の活性化につ
なげる目的。

調査地域は阿久根市の
ほか出水市、高尾野、野
田、長島、東の各町。

計画では、九州運輸局
が十、十一月に、宿泊施
設や観光業者、ボランテ
ィア団体、交通機関など
にヒアリング調査し、受
け入れ可能なボランティア
活動を吟味する。都市

部の住民がどのようなボ
ランティアをしたいか東
京、大阪でアンケート調
査を実施、十二月には実
際にボランティアを招
き、約一週間モデル事業
を行う。最終的には受け
入れ先にかんする情報を
インターネットで紹介す
る予定。

同調査は二〇〇四年度
の単年度事業で、北海道、
東北、四国の自治体で同
様の調査がある。

休暇は地方でボランティア

九州運輸局は、東京や大
阪など大都市の住民がボラ
ンティアをしながら地方に
一定期間滞在する「ボラン
ティアホリデー」事業に乗
り出す。年内に鹿児島県内
の町、地方からは、人手の必
ず必要な農作業といっ
たボランティア需要を市民
の交流を促し、観光活性
団体、自治体から募る。東
ラムを地域ごとに作成す

京、大阪両都市圏の住民に
は地方で体験してみたい内
容を調査する。

例えば都市住民が一週間
程度の休暇を利用し、ボラ
ンティア先の民家に宿泊し
ながら地方での暮らしを体
験する、といったプログ
ラムを地域ごとに作成す

運輸局がモデル事業

観光活性化ねらう

同事業は九州のほか、北
海道、東北、四国の各運輸
局も乗り出す方針。受け入
れ側と希望者との橋渡しの
ため、四地域共同でボラン
ティア需要を一覧できるポ
ームページも立ち上げ
る。

九州運輸局は「大都市圏
との交流が地方の自立につ
なれば」としている。

青鉛筆



1を始めた。

▽新しい旅のスタイル
を模索する6泊7日の企
画。初日は関西や関東か
ら応募した8人が、高尾
野町の観光ブドウ園で枝
の剪定などに取り組んだ
写真。

北陸地区でボランティア
ホリデーのモニターツアー

▽座禅体験の寺掃除や
みそ造りもある。



農家民泊の旅が広
がりつつある中
で、旅費は公費負
担の実験。成功の
カギは「そこが
みそ」と呼べる
ようなアイデア
か？

モニター8人が 体験調査に参加

ブリ出荷やボンタン収穫など

出水地区でボランティアホリデー制度

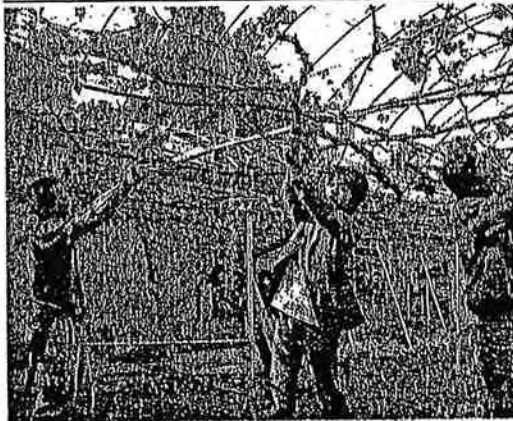
国が推進する「ボランティアホリデー」制度の九州の四カ所で公募のモニターがボランティア体験調査が二十九日、高尾野町など出水地区で始まった。

同制度は大都市圏の住民が地方に長期滞在しボランティア活動をするこ

とで交流人口を増やし、地域活性化につなげようとするもので国土交通省と総務省が連携して推進する事業。今年初

めは北海道、東北、四国、九州の四カ所で公募のモニターがボランティア体験を通して調査を行う。

九州は同町や出水市、阿久根市など三市四町で実施。大学生や六十代の主婦ら八人のモニターが、東京や大阪などから参加し、十二月三日まで東町でブリの出荷作業や阿久根市のボンタン農家で収穫作業などを手伝



神之田さん（左）のブドウ農園の枝切り作業を手伝う大学生ボランティアたち

この日は高尾野町のブドウ農園と長島町のシャ

れて作業。ブドウ農園では枝切り作業や草取りなどを手伝った。東京で美容室を経営し、農業に興味があり参加した西森章

さん（左）は「都会のシニア世代には魅力ある事業になるのでは」と評価。ブドウ農園を経営する神之田玄一さん（右）は「意欲のある人に来てもらえば助かるし、刺激にもなる。いい企画でいつでも受け入れたい」と話した。

国はモニターや受け入れ先からのアンケート調査を基に具体的な運営方法を検討する。

九州運輸局 国土交通
省九州運輸
局は、都市
の住民が地
方に長期滞
在し、ボラ
ンティア活
動をする
「ボランテ
ィアホリデ
ー」普及を
目指して、
鹿児島県内
でモニター
調査を始め
た。

調査は、東京都と大阪
府在住の男女八人がモニ
ターとなり、二十八日か
ら十二月四日までの六泊
七日の日程で同県内の出
水市、阿久根市など二市
八町に滞在。ジャガイモ
掘りやフリ出荷作業、ミ
カン農家のボランティア
などを行う。同運輸局が
最終日に参加した印鑑や
楽しかったことなどのモ
ニターの意見を集約す
る。

調査結果は、学識経験
者などで構成する「九州
ボランティアホリデー検
討委員会」が別に実施し
た受け入れ先のニーズ調
査などとあわせて検討
し、来年三月に報告書を
まとめる予定。

同運輸局によると、モ
ニター調査は国土交通省のモ
デル事業として、北海道、
東北、四国、九州の四運
輸局で実施している。こ
れらの調査結果を踏ま
え、国土交通省が大都市圏と
地方圏の交流人口拡大策
となる「ボランティアホ
リデー」の仕組み確立を
目指すという。

☆ボランティアホリデー制を体験

鹿児島 大都市の住民が地方に長期滞在し、ボランティア活動することを通して交流人口を増やそうという「ボランティアホリデー制度」の体験調査が高尾野町などで始まった。参加者は農作業などを手伝う。

都会からボランティア

農業体験など 長期滞在で活性化や交流



神之田さん（左端）の手ほどきを受けながら、ブドウの枝切りをするボランティアモニター

1/1 読

過疎化に悩む地域に都市部からボランティアを招き、長期滞在してもらうことで、地域の活性化や交流人口拡大につなげようと、国が実施しているボランティアホリデー・モデル事業」が、高尾野町などで始まった。

国のモデル事業 高尾野などで始まる

ボランティアホリデー代から六十歳代までのモニター八人が参加。このうち四人は十一月二十九日、高尾野町の観光ブドウ園で、ごしながら、地元で農作業などの手伝いを無償で行う取り組み。国土交通省と総務省は今年度、北海道と山形、高知、鹿児島県でモデル事業を実施。県内からは、出水市や長島町など出水地区の二市四町がモデル地域に選ばれた。

関東や関西在住の二十歳

農園主の神之田玄一さん

（41）は「普段は接することのできない都市の人たちと交流できて、いい刺激になりました」と話した。

モデル事業は、十二月四日まで、ミカン農家やブドウの出荷作業、土産品などでボランティアを行う予定。

「ミニトマトは青いまま採って出荷しても店に並ぶころは赤くなる。でもね、樹上完熟のほうが断然甘いんだ」

十一月末、根占町のトマト農家田淵悦三さん(左)が自分のハウスで、農業体験中の鹿児島市の会社員らに説明した。

都市と地方の交流人口を増やそうと、県と地元市町が実施した「南大隅体験型ツアー」だ。参加したのは県内のミニタ―十人。各農家に一日民泊し、よもぎだんご作りや佐多神トレッキングなどのメニューも組まれている。

田淵さんにとっては、農業へのこだわりを消費者に直接伝える場だ。「樹上完熟で赤く色づいたトマトをいかに早く市場に送るかが勝負。流通の都合よりもおいしい物が優先」

スローに生きる

新田舎暮らしの波 10

ミニタ―らは「スローパー」で買ったトマトに、当たり外れがある理由が分かった。とうなすいた。



都市のニーズ

眠る地域の素材に光

東京や大阪から訪れた男女四人が収穫作業を手伝っていた。

「枝は短く切ってください。箱に詰めるときミカンに傷が付きます」

ミカン園を営む真鍋勝利さん(右)が手を休めることなくアドバイスする。ポラティアからは見よう見まねでハサミを入れる。

東京都板橋区の実業家森草さん(左)は初めての体験に興味津々だ。趣味はガーデニングや庭園管理などの土いじり。こうして農家にじかに接していると、愛情を持って仕事をしている様子がよく分かる」と語った。

ポラティアホリデーの調査は一週間。総勢十人の

都市住民が出水のミカン園をうろついていた。都市と農山村による交流のあり方をめぐり、さまざまな形で模索が続いている。

「都市に住む人たちの旅行目的は依然として『温泉と食』が上位だが、農村や自然に触れる旅を欲する人が増えているのは確か」

南大隅体験型ツアーをコーディネートした出版会社、マイソンドシエ九州(福岡市)の日永田一郎さん(左)は都市側のニーズを

「五は都市側のニーズを敏感する。農家の生活の知恵や長老らの話も重要な観光素材の一つになり得るとい

ンティア。地元の産業に役立ちながら滞在することで満足感もある」と安藤さんは見込む。

都市から見れば、スローな鹿児島市の田舎暮らしは手帳を取り切った富士通の安藤(東京都港区)の安藤と云えないか。本格的な余暇時代を前に、その可能性に光が当たり始めた。

余暇は田舎であつたり過ごしたいと望んでも、通常の体験観光は表面だけに終わりがねない。一方、一般的なワーキングホリデーは品を仕入やアジアで現地ル賃金や報酬が絡むため敷居が高い。「その中間がポラ定」

第五部は東町のカンパチの体験観光は表面だけに終わりがねない。一方、一般的なワーキングホリデーは品を仕入やアジアで現地ル賃金や報酬が絡むため敷居が高い。「その中間がポラ定」



連載へのご意見は「かごしま郵便」取材班へ、手紙「890-8603(住所不届)」または「890-8603(2558)1028」電子メール「kagoshima@post.jcom」

年間連載第4部

2. 委員名簿

民間

	所属	氏名
1	【大学教授・委員長】 釧路公立大学 地域経済研究センター長 教授	こいそ しゅうじ 氏 小磯 修二
2	【地元NPO】 特定非営利活動法人 知床ナチュラリスト協会 代表理事	ふじさき たつや 氏 藤崎 達也
3	【地元NPO】 特定非営利活動法人 自然体験村・虫 ^む 夢 ^う ところ昆虫の家 理事長	かわかみ かずのり 氏 川上 和則
4	【ひがし北海道観光事業開発協議会副会長（観光協会等）・観光カリスマ】 株式会社阿寒グランドホテル（あかん遊久の里・鶴雅） 代表取締役社長	おおにし まさゆき 氏 大西 雅之
5	【観光協会関係者】 女満別町観光協会 副会長	なかやま のぼる 氏 中山 登
6	【観光協会関係者】 阿寒観光協会 会長	まつおか てるゆき 氏 松岡 照幸
7	【自然保護団体】 知床ガイド協議会 会長	せきぐち ひとし 氏 関口 均
8	【漁協関係者】 常呂漁業協同組合 常務理事	たかくわ やすみ 氏 高桑 康文
9	【鉄道会社】 北海道旅客株式会社 釧路支社長	いちじょう まさゆき 氏 一條 昌幸
10	【航空会社】 株式会社日本航空 北海道支社長	おかもと ともひろ 氏 岡本 智洋
11	【旅行会社】 株式会社ジェイティービー 北海道営業本部イベント・コンベンション営業部 部長	くろだ ひでのり 氏 黒田 秀徳

公務員

	所属	氏名
1	総務省自治行政局地域振興課 課長	ひえだ あきと 氏 稗田 昭人
2	農林水産省農村振興局地域振興課 グリーン・ツーリズム推進室長	きむら はるかず 氏 木村 治和
3	国土交通省総合政策局交通計画課 企画調整官	かいや あつし 氏 海谷 厚志
4	国土交通省総合政策局観光地域振興課 課長	わかばやし ようすけ 氏 若林 陽介
5	国土交通省国土計画局地方計画課 地方計画調整官	しらishi ひでとし 氏 白石 秀俊
6	国土交通省北海道開発局農業水産部農業計画課 課長	いかわ よしたか 氏 井川 義孝
7	国土交通省北海道運輸局企画振興部 部長	はせがわ ゆたか 氏 長谷川 豊
8	北海道企画振興部地域振興室 室長	なりた かずのり 氏 成田 一憲
9	北海道阿寒町 助役	もとよし としひさ 氏 本吉 俊久
10	北海道斜里町 助役	せきね いくお 氏 関根 郁雄
11	北海道常呂町 助役	あべ しゅうじ 氏 阿部 周司
12	北海道女満別町 助役	さかもと まこと 氏 坂本 眞

事務局

	所属	氏名
1	国土交通省北海道運輸局企画振興部企画課 課長	さいとう けいいちろう 氏 齊藤 敬一郎
2	国土交通省北海道運輸局企画振興部企画課 課長補佐	ふくだ のぼる 氏 福田 昇

3. 委員会議事録

第1回 北海道ボランティアホリデー検討委員会 議事録

日時： 平成16年11月4日（木） 14：30～16：30

会場： 斜里町公民館ゆめホール知床

議題： （1）本事業の概要について
（2）ニーズ調査の状況について
（3）モデル事業の概要について
（4）その他

議事内容

（阿寒町長あいさつ）

（斜里町長あいさつ）

（主催者あいさつ）

（委員会委員長選任）

（委員長あいさつ）

【議題1】本事業の概要について

（説明） 事務局より事業の概要とスケジュールについて説明

【議題2】ニーズ調査の状況について

（説明） 事務局よりニーズ調査の概要について説明

（質問） 今説明のあったニーズ調査、具体的なアンケートに関しては既に調査票の作成は終わっており報告という形になるが、それ以降の集計・分析の部分でご意見があればいただきたい。回答者がボランティアホリデーに対して興味関心がなければそのあと質問に入らないということも考えられるが、そのあたりはどう考えているのか。プレ調査や、調査票作成の際の議論、他の参考になる調査などがあれば教えていただきたい。

（回答） 今回の調査表の設定に関しては、ボランティアに興味のある方というよりは、長期滞在への志向が強い方を対象にしており、その中でボランティアを行うというものである。またサンプルはシニアの方の割合を多くしている。

（質問） 回収が1000サンプルとなっているが、配布・回収状況はどうなっているのか。

（回答） 今回は調査会社から消費者モニターのリストを購入している。一般的にそういった消費者モニターを対象にした場合回収率が高いと言われており、目標の1000サンプルに到達するまで配布するという形式をとっている。

一般のアンケート調査だと、だいたい回収率10%、良くて20%だが、今回のような調査モニターの方を対象にしているため40、50%くらいの回収率を見込んでいる。

（質問） クロス集計項目の地域別というのは住んでいる地域ということでよいのか。あとは、ボランティアホリデーのプログラム内容について、ここのクロス集計項目には地域別が無いが、回答者の住んでいる地域によっても結果が変わってくるのではないかな。あとは、受け入れ側の調査で、受け入れ側のやってほしいボランティア内容も検討されているのか。

- (回答) まず地域というのは居住地域。プログラム内容と地域のクロス集計も検討させていただく。ボランティアホリデープログラムの内容については、受け入れ側に対して具体的なプログラムの内容に関してのヒアリングを現在進めており、資料1で地域別のものを記載しているが、これは受け入れ先へのヒアリングを元に作成したものである。この他にも各町にボランティアを受け入れてもらえるところを紹介してもらいヒアリングを行っていく予定。
- (意見) ボランティアを受け入れていくというのは、はじめは逆に受け入れ側もどう扱っていいのかわからず、混乱してしまうこともあり、なかなか難しいことがあると思う。

【議題3】モデル事業の概要について

- (説明) 事務局よりモデル事業の概要について説明
- (質問) 私ども常呂町に入ってこられる方がどんなことができるのか、どんな手続きが必要なのかというようなことは、いつ頃教えてもらえるのか。それから、他の地域を見ると経済活動と思われる活動も入っているが、その点についてのしわ寄せのようなものは考慮していないのか。
- (回答) まず一番目の応募者に関して、若い方は数多くのボランティア経験をお持ちの方や NPO に所属している方など、ボランティアに興味のある方が多い。
シニアの方は、例えば農業に興味をお持ちの方や、普通の旅行ではちょっと物足りないというような方などが見られた。全体的にボランティアに興味を持っている方が多かった。第2の質問に関しては、実際には、ボランティアで働いていただく方と有償で働いていただく方が全く同じ時間、全く同じことを同じでやっているということは、受け入れ側としてもボランティア側としてもあまり気分のいいものではない。有償と無償の境界をきっちり作って受け入れを行って行く必要があると考えている。
- (質問) 万が一の事故などの対策は考えているのか。
- (回答) 万が一の事故等に関しては、ボランティアホリデーにご参加いただく方は、自己負担でボランティア保険に入っていていただく予定になっている。また誓約書的なことも考えており、受け入れ側とボランティアのルールづくりも必要だと考えている。
- (意見) NPO という立場から3点ほど発言させていただく。
1つ目が、ボランティアの定義に関して。ボランティアの定義が、どちらかというとタダで働いてもらうという雰囲気があるが、市民活動をされているような方々の持っているボランティアという言葉の定義とは少し違う部分があると思う。来年以降この事業を続けていくとなると、そのあたりをちゃんと整理した方が、参加する側も受け入れる側もミスマッチが起これないと思う。
2つ目は、今回はシニアを主な対象にしているということだが、意外と30代ぐらいの方も、非常に厳しい企業の中で強い抵抗感を持っていて、いろいろと関心を持っている方が多い。ただ、一度に休みがとれなかったり時間が無くてなかなか行動に移せない。また都市部の企業が市民活動に対しても責任を持たなければいけないということで、私のところにも相談に来られるケースが増えてきている。シニアの方々はどちらかといえばお金があるということでターゲットにするのもいいと思うが、こういった30代の方々をターゲットとした来年の戦略を練る必要があるのでは。
3つ目が、博物館や財団などボランティアの受け入れ先となっている団体は行政的な組織

が多くなっているが、実際にはもっと小さな活動の中で、人材不足に困っている NPO 団体や市民活動団体もあると思うので、来年度に向けてそういったところも受け入れ先として考慮していくと非常にいいプログラムになると思う。

(回答) まずボランティアの定義に関しては、首都圏の方が一体どのぐらい真剣にボランティアということを考えているのかという部分などをアンケート調査から見出していきたいと考えている。例えば、コミュニティビジネスをやっていきたいという方が大半ならばプログラムもそれに合わせていけばいいと考えている。もしくは、将来定住を考えるときの一つのきっかけづくりとして、ボランティア活動をしながら、田舎に 1、2 週間ぐらい滞在したいという方たちが大半を占めているとなった場合はそちらの方にプログラム合わせていく。

2 番目に関しては、本事業は来年度実稼働という形で展開する予定であり、そのためにも定期的に人が送れるような仕組みが必要。東京の企業を対象に、CSR[※] やナイスライフセミナーのような定年後の活動などとの連携も視野に入れて呼びかけを行っていきたいと考えている。

3 番目に関しては、初年度ということもあり行政的な組織でないとなかなか受け入れ体制を作っていくのは難しい。今後はできるだけ民間の方が入り込んでいけるような形に将来的になっていくことを望んでいるし、そういった提案を今後もいただければと思う。

(意見) 斜里町のコーディネーターの方もご出席いただいているようなので、もしよろしければご意見をいただきたい。

(意見) 今回のボランティアホリデーとは別に山村留学などでボランティアをやっている。地元の意欲を高めて斜里町の魅力を外に伝えていくことが自分の役目だと思って引き受けさせていただいた。こういった事業を継続していくためには単発ではなく繰り返していくことが必要。

(意見) 阿寒町を第二のふるさにしてもらうことを目指してボランティアの方々を迎えていくという意味で、阿寒町のボランティアはツルの餌づけなどとなっているが、できれば我々の町にしかない、町の個性が出せるようなものも考えていただきたい。また、我々が求めている人材は、今我々の町の商店街が方向性を失っている中で、商店街の活性化にいろいろ指導していただけるような方。そういった方に来ていただけると、町の人達も感謝をして交流が深まるのではないかと思います。それから、我々の町でマリモクラブという女性の地域活動をしているグループがあるが、そういうグループと一緒にいただけると来られる方も楽しいと思う。例えば、何回か来たら第二のふるさと称号のようなものが与えられるというのも面白いのでは。

(意見) ボランティアは何か作業的なイメージがあって、自分たちが地方で経験したことを情報発信するだけでも実は地域にとって大変有用なことだと思う。また、モデル事業はあくまで実験であり、取組んでいく中で、こう考えたんだからこれでいくんだという、こだわりはあまり持たず、柔軟に対策を考えていかなければならない。お金の問題にしても、今回は、宿泊と航空券が無料で食費・観光というのは個人負担、となっているが、一体どういう形がいいのか、これをじっくり今回のモデル事業の中で考えていく必要がある。

ボランティアホリデーに非常によく似た取り組みで、大学の研究者などが関わっている地球上のいろんな自然環境を守るボランティア活動でアースウォッチという世界的な取り

組みがあるが、それは実際の現場に行くまでは自己負担。ただその中に入ってしまうと、大学の研究者の側がそこを管理しており、そのマネジメントのもとできっちりと含めて対応している。今回と違うやり方も実はやり方としてはあるのかもしれないが、そこは柔軟に受け止めていく姿勢が大事だと思う。

※CSR・・・「Corporate Social Responsibility」の略で、企業が社会に対して負う責任のこと。特に、企業活動において利潤の追求だけではなく、法律の遵守や社会的論理の尊重などをつねに有して、安全かつ良質な財・サービスの提供を行うという企業の責務。

【議題4】その他

(告知) 次回委員会日程についてお知らせ
→平成17年1月24日

以上

第2回 北海道ボランティアホリデー検討委員会 議事録

日時： 平成17年1月24日（月） 14：45～16：45
会場： サロマ湖鶴雅リゾート 白鳥の間
議題： （1）ニーズ調査とモデル事業について
（2）ポータルサイトの構築と今後の取組みについて
（3）その他

議事内容

【議題1】 ニーズ調査とモデル事業について

（説明） 事務局よりニーズ調査とモデル事業の結果報告、課題と対応策について説明

（質問） 受け入れ側の反応の中でボランティア保険だけで大丈夫なのかという声があったが、東北で実際にケガをされた方のその後の対応や現在の状況について教えていただきたい。

（回答） ぎっくり腰の方は御自身での対応になっており、逆に参加された方のほうが恐縮されてしまい、本当に御迷惑をかけてすみませんでしたとおっしゃっていた。軽いものだったらしく、3日で治ってしまったと聞いている。ただ少しお年を召しているということで、大事をとって、作業をやめていただいた。そこにそのまま何もしないでいるのは退屈なので、東京に戻られた。途中で帰ってしまったが、地元の人との交流はまだ続いていると聞いている。安全面に関してということで、保険に限らず、これまでボランティアでケガをして訴訟になった話などの事例を継続してストックしていく必要があると考えている。保険をかけていたり、誓約書を交わしていても、受け入れ側がボランティアに訴えられた事例なども過去にあるので、万が一の場合にも対応できる体制にしていきたい。

（質問） 今回モデル事業に参加された8名の方の個々人の持ち出した費用はどれぐらいなのか、わかれば教えていただきたい。

（回答） モデル事業ではモニターの方の航空券と宿泊の費用は事業費の中から出しているのですが、個々人の支出としては観光費用と食費がほとんど。宿泊施設に自炊施設がある場合は、食費はあまりかからないが、無い場合は全て外食になるのでそれなりの出費になる。観光も出費が多い方や少ない方がいらっしゃるの、一概に1人いくらというのは把握していない。

（質問） ニーズ調査に関して、独身と既婚では分けていないのか。

（回答） 現時点での報告書では独身と既婚でのクロスは出していない。ただ、実際には独身か既婚かのデータはあるので、今後、独身と既婚で集計することも可能。

【議題2】 ポータルサイトの構築と今後の取組みについて

（説明） 事務局よりポータルサイトの構築と今後の取組みについて説明

（質問） この会議は、北海道ボランティアホリデー検討委員会ということだが、東北、四国、九州でも同じようなことをやっているのか。23Pの一番上に航空・鉄道事業者に協力を得てと

いう項目があり、こうなると、J R東日本からのものあれば、九州、四国からもあり、北海道だけで完結できない場合があると思うが、そのあたりの説明をお願いしたい。

(回答) 本事業は北海道の4町の他に、東北では山形を中心とした4自治体、四国でも同じく4自治体、九州は6自治体に協力をいただいております。検討会やモデル事業を行っている。基本的な枠組みは同じで、既に開催済みの九州での委員会のご報告を少しさせていただくと、現時点では旅行商品などは難しいが、航空会社の方からは情報提供などの形での協力は十分可能だという意見もいただいております。

(意見) アンケートを見ると、来てみたいけど、休みがとれないという方が結構多かった。ボランティア休暇と組み合わせていくのは面白いと思う。ポータルサイトを立ち上げていく中でも、一般の方を対象にするよりも、ボランティア休暇を採用している企業も多いと思うので、会社の研修などで企業に募集をかけるのはどうか。将来的にリタイアされた方の定住促進という意図があるのならば、若いうちに1回来てもらう、きっかけづくりの1つとして考えてみては。

もう1つ、今回は期間を定めてコーディネーターの方に対応していただいたが、これがもし年間になると、その方1人で対応できるかという問題と、小さな町でコーディネーターにふさわしい人というのは少なく、ふさわしい方がいても幾つも職を持っている場合が多い。地域のいろんな職種の人達に話ができる方というのは、地域でもそれなりの方々で、様々な活動をしている。そういう方に年間通じてコーディネーターをやっていただくのは厳しい。あとはコーディネーターの方の経費の問題もある。

もう1つはいろんな媒体での紹介という項目について、売れ筋の本とのタイアップをやっていく等、民間とのコラボレーションは非常に大切な部分だと思う。

(意見) 有償、無償という話があったが、例えば農作業で人手が必要でない時にボランティアが来ても、受け入れが負担になって、どっちも重荷になってしまうことも考えられる。必要な時期に手伝ってもらって、大した金額でなくてもお金を払った方お互い負担も軽くなるし、資金的にも楽になる。地元にはできるだけ負担をかけないでやっていくことが、事業の課題だと思う。

(回答) ボランティアの方の意欲やスキルのレベルなども含めてマッチングしていける仕組みをつくりたいと考えている。また、繁忙期と閑散期に来られると困ると受け入れ先の方は口をそろえておっしゃっている。そういったことも考慮する必要があると考えている。逆に有償にしたほうが使いやすいという意見もいただいている。

(意見) モデル事業ではレンタカーを禁止していたため、コーディネーターの方は大変だったと思う。なので、今後は自分で足を確保してもらって、パソコン等での情報交換がスムーズにできれば、コーディネーターの方もそれほど負担にならないのでは。また、有償ボランティアの部分があってもいいと思う。

それから、モデル事業でコーディネーターの方は1人だったが、説明にもあったように、ネットワークのような形で、地元の中で複数の方が共同でやる必要がある。

(意見) 今の学生は、ボランティアに対しては少なからぬ関心がある。この関心というのは、例えばボランティアをやっている実績が就職活動に有利だというようなものから、これからの生き方ということで真剣に考えている人もいる。そういう層の関心をどう受け止めていくのかというのは、1つの大きな課題だと思う。

学生のイメージというのは、例えばある大学のこういう学生であれば、ある地方の、地域活動とボランティアという形で関わりを持って、それは決して1回限りのではなくて、その地域と大学、あるいは学生グループとの交流が育まれてくるというもの。逆に言うと、そういうイメージからの取り組みも考えられる。先ほど企業のボランティア休暇をうまく活用していくという発言があったが、その地方からしっかりと受け止めていくような取り組みができれば今後の展開にうまくつながっていくのでは。

- (意見) 23 ページの今後の取り組みについてという部分で、一番上に来るのはルールづくりとガイドラインづくりで、ボランティアホリデーにおけるボランティアの定義だと思う。ボランティアというのはあいまいな言葉なので、受け入れ側と参加する側のミスマッチが起こりやすい。例えば、津波に襲われた地域や山古志村にボランティアに行くのと、このボランティアホリデーのボランティアは違う。もっと広い意味でのボランティアになる。例えば作業中心でも完全にただ働きでやっていただくのか、または地域との交流を中心にしたボランティアなのか、定住促進を見越したボランティアなのかで、ボランティアの中身も全然違ってくる。ボランティアの定義と、具体的にどういったメニューを用意するのかが、受け入れ側の大きな問題にこれからなってくると思う。

地域にとっては非常に有益なボランティア活動だというような定義をしっかりと、認知されるようになれば、交通や宿泊の優遇措置もとりやすくなる。

また旅行商品というのは非常にいい見方だと思う。この商品という考え方をしない限り、受け入れ側もボランティアの方のためのボランティアをする形になってしまう

- (意見) ポータルサイトの構築はぜひやらなければいけないことだと思うが、イメージが真面目過ぎるので、まず入り口をツアーやホリデーのほうにシフトしたほうがいいのでは。また、ボランティアの定義というのも必要だが、多様なものを多様なままで扱えるようなポータルの方がやりやすいと思う。

2 点目が、企業の CSR 推進室のようなところからは、どこが受け入れなのかわからないという声をよく聞いている。このポータルも、企業の受け皿になるような場所にもしてもいいし、企業の社会貢献をアピールできるようなサイトにして、ついでに協賛金をもらってもいいと思う。

3 点目は、事業が行政の枠から外れてしまうと、民間のスピードでやっていくのは厳しいことは想像がつくので、ポータルというよりもプラットフォームのようなイメージで、行政の枠や民間の枠を外して、ネタをどーンと出せるような工夫が運営面で必要になってくると思う。

- (意見) ボランティアホリデーの旅行商品化については賛成だが、商品化は慎重にかかれないと、責任の範囲などが非常に難しい。旅行商品 1 つとってみても、事故などに関して旅行会社は非常にナーバスである。特に日本人の場合には、国内で何かあったら、自分のせいじゃないということにする人が多い。航空会社もバーゲンやバースデー割引なども行っているので、うまく利用していただきたい。それと地元の交通に関して、人手が足りていない地域は、基本的には交通の不便なところが多い。そういう部分を考えると、最低でもボランティアをする場所までの送迎を何か確保する必要があると思う。

- (質問) 受け入れ地域から今回の経験を踏まえて何か意見はあるか。

- (意見) 3 団体に協力していただいて、短時間の中でまあまあできたのではないかと思います。来年度

以降としては、4月以降に募集をかけて民間の方々とも一緒にやりたいと思っている。

(意見) 今回はツルセンターなど比較的取り上げやすい行政関連の施設でボランティアを用意した。例えばツルの世話なんかだと、本来は専門知識などが必要で、ただツルと触れ合うだけでなく、もっと期間を長くして知識をつける時間があれば、ボランティアをしているという意識もできたと思う。専門知識的が要求されるボランティアに関しては事前にある程度の情報などを与えておくべきだったと感じた。

(意見) ボランティアホリデーとは一体何なのかという部分について、ルールづくりなどこれから詰めていく作業を考えていくと、ボランティア受け入れはこういうものだという、ある程度共有性を持つような部分との絞り込みが必要だと感じている。やはり軸にあるべきは、これから地方がどういう形で活性化し、振興していくべきなのかという、それに対してこの取り組みがどの程度寄与できるのかという、その軸をきっちり固める必要がある。あまり幅を広げて、いろんな方たちのいろんなニーズといっても、小さな地域でやれることは限られている。

【議題3】その他

(告知) 次回委員会日程についてお知らせ
→平成17年3月7日

以上

第3回 北海道ボランティアホリデー検討委員会 議事録

日時： 平成17年3月7日（月） 14：00～16：00
会場： 阿寒グランドホテル鶴雅
議題： （1）「ボランティアホリデー」ポータルサイトとパンフレットについて
（2）報告書案について
（3）今後の「ボランティアホリデー」事業について
（4）その他

議事内容

【議題1】「ボランティアホリデー」ポータルサイトとパンフレットについて

（説明） 事務局より「ボランティアホリデー」ポータルサイトとパンフレットについて説明

【議題2】報告書案について

（説明） 事務局より報告書案について説明

（意見）7Pのワーキングホリデーとボランティアホリデーと体験観光の違いの部分で、対価の部分の有償、無償、お金を払って体験というのはぱっと見たときにイメージがよく伝わらない。ワーキングホリデー、ボランティアホリデーと分かっている人は分かると思うが、有償とお金を払って体験するのと何が違うのか、などの言葉使いをもっと分かりやすくした方が良いと思う。もう一つはポータルサイトについて、パンフレットもそうだが、ボランティアをされる方の対象は中高年層ということなので、字を大きくするなどできるだけ見やすくすべき。また、申し込みのフォームの入力部分が多すぎて大変だと思う。もう少し敷居を低くした方が良いのでは。

（回答）資料4の4の3Pの部分にあるように、ホームページには文字サイズ変更ボタンを入れており、文字サイズを大きくすることも出来るようにしている。色づかいに関してはもう少し検討させていただく。また、先ほど申し上げたように、ファクスでも申し込みができるようにする予定である。申し込みフォームに関しては、プルダウンや選択を多くして文字入力をできるだけ少なくしたいと考えている。

（質問）ポータルサイトの提供する情報は、今回モデル事業を行った地域の情報が中心になるのか。それとも他の地域の情報も提供していくのか。

（回答）4月オープン時点では、ボランティア情報を提供するのモデル事業を行った地域のみ。ただ、今後自治体の数が増えていくことへの対応が出来るようにはしている。

（意見）ポータルサイトの文字の大きさは、できるだけ最初から大きくしておいた方が良い。パンフレットについても、赤い部分はかなり読みにくいので検討していただきたい。

（意見）都市部という言葉がちょっと引っかかる。交通の便などを考えると、確かに都市部の方がほとんどだとは思いますが、例えば北海道のこの辺りに住んでいらっしゃる方が南に興味を持って、行きたいと思うこともあり得ると思う。

あとはウェブサイトをどうやって周知させていくかが課題である。事業を興す際にはいかに良い商品であるかという情報を人に知らせていかないと、いいものが出来ても見てもらえなけれ

ば元の本阿弥になってしまう。

(回答) ボランティアホリデーは都市部の住民が地方に長期滞在するというのが前提で進めており、この報告書に関してはそういう形で終始すると思うが、17年4月からは、次の段階に入るののでどこに住んでいらっしゃる方でも利用していただくことは可能。また、実際に皆さんに来ていただくために、広報・告知に関しても力を入れていきたいと考えている。

(意見) 報告書案の4Pの当該地域を選んだ理由について、北海道は非常に広域なので、北海道が過疎地域だという表現も抵抗がある。また、中国・四国などの比較している地域も非常に広範囲である。北海道の中でも、例えば今回対象とした東北海道というように、地域をある程度特定した表現をしていただきたい。あと、一番下にある観光見込み客数の表は何を言いたいのか文章から読み取れない。

(回答) 当該地域を選んだ理由に関しては、まだ資料を集めている途中であり、現在は北海道と一括りにしているが、最終的には地域ごとの特色なども盛り込んだ上での選択理由にしたいと考えている。可能ならば参考資料として、選択した理由に加えて、これまでの観光、特にこの道東地域の観光への取り組み、人口交流拡大に向けた取り組み等を添付したいと考えている。

(意見) 道東地域を選んだ理由は、自然環境、資源にも恵まれ、今後の可能性発展を秘めた、というような、前向きな選定理由の方が読む側としてもいいのではないかと。

(意見) パンフレットについて、これはボランティアをされる方に対して配布するのだと思うが、ボランティア受け入れ側に対してのPRもして欲しい。例えば農協や個人で漁業をされている方などは人手が不足しているところが多いので、パンフレットの中でボランティアの受け入れ先を募集していますというような情報を入れてもらいたい。

(回答) 16年度の事業の中では入っていないが、今後の取り組みの中で対応が可能なものはやっていきたいと考えている。

(質問) 報告書の45ページ、46ページの中に、「課題の整理と対応におけるイメージ」とあるが、この中で、例えば費用など、コーディネーターの方の負担になってくる部分についての解決策なども必要ではないか。今回はモデル事業で短い期間だったから良かったが、これが実際に稼働しはじめると経費等も無い中で、どうなるのかが心配なので、その辺りの対応策を考えていけば教えていただきたい。

(回答) コーディネーターに対しての謝金など、具体的な仕組みについては、早急に作っていく形になると思う。予定としては、利用者の方からコーディネーターへのお礼を頂く形にしたいと思っている。ただそうするためには安い交通費となるような仕組みを提供したり、安い金額で宿泊できるなど、うまく相殺されるような仕組みが必要であり、今後詰めていきたいと思っている。具体的なことは現段階では言えないので、3月中にその辺のところを詰めさせて頂いて、4月のオープンの時にポータルサイトでどこまで明記するかということも決めていきたいと考えている。

(質問) コーディネーターの人数はどうするのか。

(回答) 現在は、コーディネーターは1人の方をお願いしている状況で、全部は面倒を見切れない。当然コーディネーターが複数というのも考えられる。ボランティアホリデーの中で今後やっていかなければいけない仕組みのポイントは3つあり、送客の仕組みと真ん中の事務局の仕組みとそれから受け入れ側の仕組みである。3点それぞれの中にこれから解決していかななくてはならない問題がある。例えば四国では、コーディネーターを中心にNPOを立ち上げたらどうかと

かいうご意見もいただいている。

- (意見) ボランティアメニューで農林漁業の手伝いが含まれているが、農林漁業はボランティアにすぐわれないと考えている。ボランティアを当てにして事業経費の削減はいかがなものか。農林漁業はワーキングホリデーや体験だと思う。どちらかと言えばまちづくりや、地域産業支援などでボランティアに協力をして頂きたいと考えている。
- (回答) 東北、四国、九州では農林漁業お手伝いというのは結構多くボランティアメニューとして出てきている。ボランティアの方は大体1週間程度の滞在であり、毎週来てくれる保証も無いので、ボランティアの方を当てにするような形にはならないと考えている。
- (意見) ボランティアは時間がはっきりしない、いつ来るか分からないのも受け入れる側にとっての難しさである。
- (回答) ボランティアを募集する方も、例えば1日何時間の作業で、いつからいつまで、というようにはっきりメニューの方に出して頂いて、それに対して応募してくるという形になるので、仕事の量が見えた上での募集になる。逆に仕事が無い場合にはボランティアを募集しないという状況になってくる。そういう意味ではボランティアをやりたい人が先にいて、その人を割り振るのではなく、ボランティア受け入れ側の方が先にあるという形を想定している。
- (意見) 今の議論は、本来の生々しい企業経営に関わる、漁に対して、ボランティアを受け入れるニーズなりゆとりというのはどこまであるのかという、基本的な問題提起とも考えられる。農業や水産業の受け入れニーズは調べているのか。そこでミスマッチがあると、全体の事業にとっても支障にもなりかねない。
- (回答) 作業部会でいろいろお話をさせていただく中で、受け入れ側の方からこういうことは出来ないということがはっきり分かっているものもあるので、そういう意味ではボランティアメニューが先にありきである。誰でも受け入れるということではなくて、ボランティアで来てほしいというのがあって初めて情報が表示されるため、実際に来てしまった人を無理やり受け入れなくては行けないということにはならないと考えている。
- (意見) 報告書の中でボランティアホリデーの一般向け解説文があるが、ボランティアをする側への解説になっている。同じように受け入れ側への解説文を定義のところに入れていけば、この辺はある程度わかりやすくなると思う。
- (回答) ボランティア利用者と、もう一つボランティア受け入れ側向けにも言葉を作っていきたいと思う。
- (質問) 今年度はモデル事業、検討委員会をして、ポータルサイトが出来てきて、本稼働に向けての準備が着々と進んでいるが、今後例えば1年間もしくは半年やってみた中でこの事業の評価などは行っていく予定はあるのか。
- (意見) 今後の事業に向けての質問ということで、まずは次の議題の説明を終えた方が全体の議論に沿える形になると思うので、事務局から次の議題の説明をお願いしたい。

【議題3】今後の「ボランティアホリデー」事業について

(説明) 今後の「ボランティアホリデー」事業について説明

- (意見) アイディアを少し述べさせていただく。今旅行形態でもクラブツーリズムのようなものがあるが、ボランティアクラブ化の推進をしていってはどうか。あと、ボランティアの地域での貢献

の累積を評価する制度や地域通貨などと結びつけられないか。例えば阿寒湖温泉でも「まりも家族手形」というのを社会実験で行ったが、これは阿寒に来た方も阿寒のまりも家族だという形でお迎えしていく活動であり、ボランティア活動を通して、町としての一つの評価を与えていくような仕組みは出来ないものかと考えている。

また、単純労働ではなくて、例えば我々のまちづくりの中で求めているのは、まちづくりに貢献できる知的レベルの高いボランティアであり、そういう方たちの会員制がつくれれば良いと思う。あと、費用を安くするために、例えば日帰りで東京へ出張するよりも、パックで1泊した方が安くなるので、そういうボランティアパックのようなものを、航空会社や旅行会社で商品化できれば良いと思う。

(意見) 私も農業を法人化してやっており、受け入れとしてはいろいろな形で本州や道内の方々と交流をしたいという意志は農家の皆さんも思っている。しかし、受け入れにかかわるノウハウが無く、なかなか交流や仕事の指導が出来ないので窓口があると助かる。

(意見) 17年度以降のことがまだ定かではない段階で、斜里町ではどちらにしても4月1日にこのポータルサイトが立ち上がってすぐに受け入れることは不可能だと考えており、ボランティアメニューについては今後細かく検討していかなければ良いと考えている。あと受け入れ団体に対する周知の方法について、うちの町独自としても考えていきたい。

(意見) これまでの観光とは違った体験をすることが出来ますという定義をすることでボランティアホリデーを商品として扱っていくことも可能になるのではないかと考えた。ただボランティアの受け入れ側が観光客として見てしまう危険性もある。そういう意味で中間になるコーディネーターの役割が非常に大きくなると思う。どこまで双方の気持ちを分かった上でマッチングしていくかということと、新しいボランティアの開拓というのも、コーディネーターの仕事になるのでは。参加者が提供されているメニュー以外にも何かやりたいものがある場合に、気軽に問い合わせのできる仕組みを作って、コーディネーターは新たに事業所に行って新しいボランティアの内容というのを作り出すというのも大きな仕事になってくる。

(意見) せっかくポータルも出来ているので、今後のサポートもぜひお願いしたい。あと窓口を一本化という話はよくあるが、一本化すると動くのが大変になる。ボランティアはいろいろな活動があると思うので、多様な活動が多様なまま、動きやすくするようなプラットフォームのような、いろいろな活動団体がいて、動きやすくするような仕組みをつくっていただきたい。その方が活動団体は自立する必要があるし、支援する側もいつまでも全部手取り足取りでなくてもいいという、本当のボランティアホリデーの日本版が生まれてくると思うので、ぜひプラットフォーム的な考え方で今後の受け入れの仕組みを作っていただきたい。

(意見) ちょっと引かかるのが、コーディネーターの方に謝金を払っていかねば成り立たないということだが、謝金を払ってボランティア活動をするというのは今後どうなるのか非常に懸念される。ただ受け入れの方もお金がかかるので、どうしても最後はお金の話になってしまうが、お金が続かないと長続きしないのではないかと心配している。

旅行会社的な発想でお話しさせて頂くと、例えばオプションツアーという考え方を取り入れて、地元の宿泊、地域通貨など合わせてパッケージとして作っていただければいいのではないかと。特に地域通貨については、例えばいろいろ労働された中高年の方に地元の小学生が肩もみをしてくれる肩もみ券や、地元で採れた野菜や魚介類を提供して頂いたりするなど、全部含まれて1週間滞在費がいくらということも考えられる。

それと旅行会社の東京からのパッケージツアーはいろいろあり、飛行機とホテルがセットになって、滞在中 1 泊どこに泊まってもいいというものもある。1 泊のホテルと飛行機で最大 14 日間まで使えるので、例えば 1 泊を阿寒に滞在してあとは安い宿泊施設に泊まり、釧路空港から帰るというパッケージを旅行会社に作らせるという方法も考えられる。もう一つは NPO や、あるいはニセコ町のように株式会社にしてしまって旅行業登録を取って、地元で商品化してお金をもらって販売出来るようなものを作っていけばうまくいくのでは。

(意見) 阿寒湖温泉地域の活性化ということで、私もここ 3~4 年ぐらいお手伝いをしており、その中で先ほどのまりも家族手形という、運輸省系列の政策の御支援を頂いた実験もあった。その背景には、観光地としてこれから生き抜いていく以上は受益と負担というバランスの取れた対応が必要だろうという議論があった。きっちりその観光客から頂く部分と同時にきっちり差し上げる部分も必要だという中で、地域通貨やまりも家族手形などが議論の中に出てきた。ボランティアもそういう枠組みの中で位置づけていったらおもしろい取り組みになるのでは。しかも阿寒であればそういう議論もあり、実戦の経験積み重ねもあるので、単にアイデアとして新しいものを持ってくるよりも既に取り組みの経験のあるところに重ねていけばおもしろい取り組みになっていくのでは。今年はモデル事業で、いろいろな経験もあったが、改めていいやり方というのを、いろいろな場で議論の輪を広げていくような状況づくりが大事だと思う。これからの方向性も含めて考えていく上で大事なこととして、受け入れ側の議論が随分出たが、その辺は報告書作りの中でも改めてその問題意識を持って再整理をしていくべきだと思う。

以上

4. 大都市住民に向けたニーズ調査アンケート票

【ボランティアについて】

問1 あなたは、これまでにボランティアなどの社会貢献活動の経験はありますか。次の中から1つお選びください。（1つだけ）

- | | |
|---|---|
| 1 | 個人として参加・協力したことがある |
| 2 | NPO・NGO・市民団体・ボランティア団体の活動に加わって、参加・協力したことがある。 |
| 3 | 勤務先や学校などの所属団体の活動の一環として、参加・協力したことがある |
| 4 | 個人と所属団体の両方で参加・協力したことがある |
| 5 | ボランティア活動に参加したことはない |

→ 問3へ



（問1で「1～4 ボランティア活動に参加したことがある」とお答えの方に）

問2 今までにどのようなボランティア活動に参加したことがありますか？（いくつでも）

- | | | | |
|---|-----------------------------|----|------------------|
| 1 | 福祉・保健（高齢者、障害者、各種保護施設など）への支援 | 6 | 人権や平和のための活動 |
| 2 | 趣味・文化的活動・スポーツ・生涯学習などの指導・支援 | 7 | 国際協力・国際貢献の活動 |
| 3 | よりよいまちづくりに関する活動 | 8 | 男女共同参画を促進する活動 |
| 4 | 環境美化・自然保護に関する活動 | 9 | 子どもの健全な育成を支援する活動 |
| 5 | 防災や安全に関する活動 | 10 | 情報化社会づくりに貢献する活動 |
| | | 11 | その他
（具体的に |

）

（問1で「5 ボランティア活動に参加したことはない」とお答えの方に）

問3 参加しなかった理由は何ですか。次の中から1つお選びください。（1つだけ）

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | 参加してみたいが方法がわからない、きっかけがない |
| 2 | 時間的に参加する余裕がない |
| 3 | 身近にはボランティア内容に興味を持てるようなボランティアがない |
| 4 | ボランティア活動などの社会貢献活動に興味がない |
| 5 | その他（具体的に |

）

（全員に）

問4 今後、ボランティア活動を行いたいと思いますか。次の中から1つお選びください。（1つだけ）

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | きっかけや参加する方法がわかれば参加・協力したい |
| 2 | 時間にゆとりがあれば参加・協力したい |
| 3 | ボランティア内容に興味があれば、参加したい |
| 4 | ボランティア活動には興味がない |
| 5 | その他（具体的に |

）

【地方圏（都市部でない、いわゆる「田舎」）への長期滞在について】

問5 あなたは過去3年間に仕事の出張や帰省以外で1泊以上の国内旅行に行きましたか。次の中から1つお選びください。（1つだけ）

1 行った

2 行かなかった

→ 問9へ



（問5で「1 行った」とお答えの方に）

問6 あなたが過去3年間にに行った国内旅行で最も期間が長かったのは何日間ですか。（1つだけ）

- | | | | |
|---|-----|---|-----------|
| 1 | 2日間 | 5 | 6日間 |
| 2 | 3日間 | 6 | 1週間～2週間未満 |
| 3 | 4日間 | 7 | 2週間～1ヶ月未満 |
| 4 | 5日間 | 8 | 1ヶ月以上 |

(問5で「1 行った」とお答えの方に)

問7 過去3年間にいった最も期間が長かった国内旅行では、主にどのような行動をしましたか。
次の中からいくつでもお選びください。(いくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1 自然・風景を見る | 9 スポーツ(スキー、テニス、ゴルフ等)をする |
| 2 史跡・文化財・博物館・美術館で鑑賞する | 10 都市で観光する(デパートでのショッピング等) |
| 3 神社・仏閣等の参拝 | 11 車でドライブする |
| 4 祭りなどのイベントを見る | 12 温泉で休養する |
| 5 郷土の料理を食べる | 13 のんびりとくつろぐ |
| 6 名産品・特産品を買う | 14 海水浴、釣り、マリンスポーツ |
| 7 体験型観光(りんご狩り、うどん打ち、
自然体験等)をする | 15 登山、山歩き |
| 8 テーマパーク・遊園地で遊ぶ | 16 その他
(具体的に) |

(問5で「1 行った」とお答えの方に)

問8 国内旅行を考えるときの情報はどこから得ますか。この中からいくつでもお選びください。(いくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 業者のポスター、パンフレット | 6 インターネット |
| 2 旅行代理店の窓口で勧められて | 7 公的な観光案内所 |
| 3 テレビやラジオ | 8 家族、友人、知人等の紹介(口コミ) |
| 4 新聞、雑誌(旅行雑誌以外) | 9 その他(具体的に) |
| 5 旅行雑誌、ガイドブック等 | |

(問5で「2 行かなかった」とお答えの方に)

問9 1泊以上の国内旅行に行かなかったのはどうしてですか。この中からいくつでもお選びください。

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1 休みがとれないから | (いくつでも) |
| 2 金銭的に余裕がないから | |
| 3 行きたい観光地や施設等がないから | |
| 4 計画や準備をするのが面倒だから | |
| 5 留守中に家族の世話をする人がいないから | |
| 6 留守中にペットを預かってくれる人がいないから | |
| 7 家族と一緒に休みがとれないから | |
| 8 一緒に行く人がいないから | |
| 9 健康・体力に自信がないから | |
| 10 高齢・障害等のため、移動や滞在に不安があるから | |
| 11 きっかけがなかったから | |
| 12 旅行は好きではないから | |
| 13 海外旅行のほうが好きだから | |
| 14 その他(具体的に) | |

(全員に)

問10 今後3年間に、国内旅行をしたいと思いますか。(1つだけ)

- | | | |
|------|-------|--------|
| 1 はい | 2 いいえ | → 問13へ |
|------|-------|--------|

(問10で「1 はい」とお答えの方に)

問11 これまでと比べて国内旅行の回数や日数をどのようにしたいと思いますか。(1つだけ)

- | | |
|----------------------------|--|
| 1 旅行の回数を多くし、1回の旅行日数も長くしたい | |
| 2 旅行の回数を多くし、1回の旅行日数を短くしたい | |
| 3 旅行の回数を少なくし、1回の旅行日数を長くしたい | |
| 4 旅行の回数を少なくし、1回の旅行日数も短くしたい | |
| 5 これまでと同程度でよい | |
| 6 その他(具体的に) | |

(問 10 で「1 はい」とお答えの方に)

問 12 これまでと比べて国内旅行の費用をどのようにしたいと思いますか。(1 つだけ)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 これまで以上に費用をかける2 これまでよりも費用をかけない3 これまでと同程度でよい4 その他(具体的に) |
|---|

【「ボランティアホリデー」について】

都市部にお住まいの方がボランティア活動しながら地方圏(田舎)に長期滞在するという「ボランティアホリデー」というプログラムがあります。

これは訪問地での様々なボランティア活動を通して地域へ貢献をすることにより、地元の理解と協力を得ることができ、通常よりも安い料金で滞在が可能になります。また地元の方々と交流する機会が生まれ、一般的な観光旅行とは一味違った体験をすることができます。

(全員に)

問 13 このような「ボランティアホリデー」を体験したいと思いますか。(1 つだけ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 ぜひ体験してみたい2 機会があれば体験してみたい3 どちらともいえない4 あまり体験したくない5 まったく体験したくない |
|--|

→ 問 25 へ

(問 13 で「1～3」とお答えの方に)

問 14 下記の「ボランティアホリデー」の説明文をお読みになって、最も関心のある部分を1 つだけお答え下さい。(1 つだけ)

都市部にお住まいの方がボランティア活動しながら地方圏(田舎)に長期滞在するという

①

「ボランティアホリデー」というプログラムがあります。

これは訪問地での様々なボランティア活動を通して地域へ貢献をすることにより、地元の理解と協力が得

②

ることができ、通常よりも安い料金で滞在が可能になります。

③

また地元の方々と交流する機会が生まれ、一般的な観光旅行とは一味違った体験をすることができます。

④

⑤

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 ボランティア活動しながら地方圏(田舎)に長期滞在2 様々なボランティア活動を通して地域へ貢献3 通常よりも安い料金で滞在が可能4 地元の方々と交流する機会5 一般的な観光旅行とは一味違った体験をする6 ①～⑤以外 |
|---|

(関心のある点を具体的に:

)

(問13で「1」「2」とお答えの方は、問15～問25を続けてお答えください。問13で「3」とお答えの方は、問25へ進んでください。)

問15 「ボランティアホリデー」を体験するにあたり、どのくらい滞在したいと思いますか。(1つだけ)

1 日帰り	5 5日間	9 1ヶ月～3ヶ月未満
2 2日間	6 6日間	10 3ヶ月以上
3 3日間	7 1週間～2週間未満	
4 4日間	8 2週間～1ヶ月未満	

(問13で「1」「2」とお答えの方に)

問16 「ボランティアホリデー」を体験するにあたり、誰と訪れたいと思いますか。(1つだけ)

1 自分1人
2 配偶者
3 配偶者以外の家族(兄弟姉妹、親、子供)
4 友人
5 その他(具体的に)

(問13で「1」「2」とお答えの方に)

問17 「ボランティアホリデー」で訪れる場合、どの地域に行きたいですか。(いくつでも)

問17-1 また、その中で、県あるいは地域(北海道のみ)をお選びください。(いくつでも)

問17 行きたい地域 (いくつでも)	問17-1 具体的な県・地域(いくつでも)
1 北海道	→ 1 道南 2 道央 3 道東 4 道北
2 東北	→ 1 青森 2 岩手 3 宮城 4 秋田 5 山形 6 福島
3 関東	→ 1 茨城 2 栃木 3 群馬 4 埼玉 5 千葉 6 東京 7 神奈川 8 山梨 9 長野
4 中部	→ 1 岐阜 2 静岡 3 愛知 4 三重
5 北陸	→ 1 新潟 2 富山 3 石川 4 福井
6 近畿	→ 1 滋賀 2 京都 3 大阪 4 兵庫 5 奈良 6 和歌山
7 四国	→ 1 徳島 2 香川 3 愛媛 4 高知
8 中国	→ 1 鳥取 2 島根 3 岡山 4 広島 5 山口
9 九州	→ 1 福岡 2 佐賀 3 長崎 4 熊本 5 大分 6 宮崎 7 鹿児島 8 沖縄

※ 道北は稚内、旭川等、道南は函館、室蘭等、道央は札幌、岩見沢等、道東は網走、北見、帯広、釧路等を指す。

(問13で「1」「2」とお答えの方に)

問18 「ボランティアホリデー」で滞在する地域に、どのようなものがあれば行きたいと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。(いくつでも)

1 自然や動植物
2 史跡・文化財・博物館・美術館等
3 神社・仏閣等
4 地域の文化、資源にふれることができる体験型施設
5 名産品や特産品が購入できる場所
6 郷土料理が味わえる場所
7 農家民宿
8 温泉
9 観光案内所
10 祭りなどのイベント
11 スポーツ(スキー、テニス、ゴルフ等)ができる場所
12 釣りのできる場所
13 ボランティア活動を通じた地域の人々との触れ合い
14 その他(具体的に)

(問 13 で「1」「2」とお答えの方に)

問 19 「ボランティアホリデー」で滞在する際、一日当たりの費用はいくらぐらいまで負担できますか。
(宿泊費、飲食費、現地での交通費など合わせて) (1 つだけ)

- 1 5,000 円未満
- 2 5,000～10,000 円未満
- 3 10,000～15,000 円未満
- 4 15,000～20,000 円未満
- 5 20,000 円以上 (具体的に_____円程度)

(問 13 で「1」「2」とお答えの方に)

問 20 往復の交通費はいくらぐらいまで負担できますか。(1 つだけ)

- 1 30,000 円未満
- 2 30,000～50,000 円未満
- 3 50,000～70,000 円未満
- 4 70,000 円以上

(問 13 で「1」「2」とお答えの方に)

問 21 「ボランティアホリデー」で宿泊する場合、どのような宿泊施設がよろしいですか。(いくつでも)

- 1 旅 館
- 2 ホテル
- 3 公的な宿泊施設 (青年の家など)
- 4 国民宿舎、ユースホステル
- 5 民 家 (ホームステイ)
- 6 自炊できるアパート・マンション・貸家
- 7 その他 (具体的に_____)

(問 13 で「1」「2」とお答えの方に)

問 22 ボランティアホリデーで宿泊する施設や設備について、どうしても欠かせないという条件等がありましたらお聞かせください。(いくつでもご自由にお書き下さい。)

(問 13 で「1」「2」とお答えの方に)

問 23 ボランティアホリデーでは、滞在地でどのようなボランティアを行いたいですか。(いくつでも)

- 1 農作業手伝い
- 2 漁業手伝い
- 3 林業手伝い
- 4 酪農手伝い
- 5 草刈、清掃、雪かき
- 6 体験型観光 (陶芸、郷土料理体験) の手伝い
- 7 観光案内所・観光ガイド・温泉施設・キャンプ場運営等の手伝い
- 8 祭りやイベント等の地域活動手伝い
- 9 スポーツに関する手伝い (スキー場・プールや海水浴場の監視員、指導など)
- 10 特産品の加工作業
- 11 特産品の販売
- 12 野生動物の保護
- 13 野生植物の保護
- 14 役場や公共施設の手伝い
- 15 その他 (具体的に_____)

問 24 あなたが提供できるボランティア内容としてどのようなものがありますか。次の中からお選びください。(いくつでも)

- (問 13 で「3、4、5」とお答えの方に)

- 1 休みがとれないから
- 2 金銭的に余裕がないから
- 3 行きたい観光地や施設等がないから
- 4 計画や準備をするのが面倒だから
- 5 留守中に家族の世話をする人がいないから
- 6 留守中にペットを預かってくれる人がいないから
- 7 家族と一緒に休みがとれないから
- 8 一緒に行く人がいないから
- 9 健康・体力に自信がないから
- 10 高齢・障害等のため、移動や滞在に不安があるから
- 11 旅行は好きではないから
- 12 海外旅行のほうが好きだから
- 13 ボランティアホリデーという仕組みに興味がない
- 14 ボランティアはやりたくないから
- 15 地方圏（田舎）に興味がないから
- 16 実家や親戚が地方圏（田舎）にあるので地方圏（田舎）に行く機会は充分あるから
- 17 その他（具体的に

問 26 「ボランティアホリデー」(地方圏(田舎)にボランティアをしながら長期滞在をするプログラム)について、あなたが参加するならばどのようなものを期待もしくは、要望しますか。
(いくつでもご自由にお書き下さい。)

--

【地方圏（田舎）への定住について】

☐ 1 大変関心がある
☐ 2 やや関心がある
☐ 3 どちらともいえない
☐ 4 あまり関心がない
☐ 5 まったく関心がない

→ 問 30 へ



1	今すぐ
2	1～3 年未満
3	3～5 年未満
4	5～10 年未満
5	10 年後以降
6	わからない

- 1 地方圏（田舎）のほうが住みやすい、暮らしやすい
- 2 空気がきれいで水が美味しい
- 3 生活費が安くすむ
- 4 広い家に住むことができる
- 5 ゆったりとした生活ができる
- 6 まわりの人が親切で気さくである
- 7 食べ物が美味しい
- 8 野菜などをつくってみたい
- 9 子供を豊かな自然の中でのびのびと育てたい
- 10 自分あるいは家族の健康のため
- 11 自然の中で暮らしたい
- 12 その他（具体的に

(全員に)

あなたご自身のことについておうかがいします

F 1 あなたの性別をお教えてください。(1つだけ)

1 男 2 女

F 2 あなたの年齢をお教えてください。(1つだけ)

1 20歳未満	7 45～49歳
2 20～24歳	8 50～54歳
3 25～29歳	9 55～59歳
4 30～34歳	10 60～64歳
5 35～39歳	11 65歳以上
6 40～44歳	

F 3 あなたのお住まいの地域をお教え下さい。(1つだけ)

1 東京都	6 京都府
2 千葉県	7 兵庫県
3 埼玉県	8 奈良県
4 神奈川県	9 その他の都道府県
5 大阪府	

F 4 あなたが1年以上住んだことのある地域をお教え下さい。(いくつでも)

F 4-1 また、その中で、県あるいは地域(北海道のみ)をお選びください。(いくつでも)

F 4 1年以上住んだことのある地域(いくつでも)	F 4-1 具体的な県・地域(いくつでも)
1 北海道	→ 1 道南 2 道央 3 道東 4 道北
2 東北	→ 1 青森 2 岩手 3 宮城 4 秋田 5 山形 6 福島
3 関東	→ 1 茨城 2 栃木 3 群馬 4 埼玉 5 千葉 6 東京 7 神奈川 8 山梨 9 長野
4 中部	→ 1 岐阜 2 静岡 3 愛知 4 三重
5 北陸	→ 1 新潟 2 富山 3 石川 4 福井
6 近畿	→ 1 滋賀 2 京都 3 大阪 4 兵庫 5 奈良 6 和歌山
7 四国	→ 1 徳島 2 香川 3 愛媛 4 高知
8 中国	→ 1 鳥取 2 島根 3 岡山 4 広島 5 山口
9 九州	→ 1 福岡 2 佐賀 3 長崎 4 熊本 5 大分 6 宮崎 7 鹿児島 8 沖縄

※ 道北は稚内、旭川等、道南は函館、室蘭等、道央は札幌、岩見沢等、道東は網走、北見、帯広、釧路等を指す。

F 5 あなたの職業をお教えてください。（1つだけ）

(自営・自由業)	
1	農 林 漁 業；農業、漁業、畜産、林業に従事する人及び家族従事者
2	自営・商工業；個人企業、中小企業の会社、工場の社長、商店経営者及びこれらを手伝う家族従業員
3	自 由 業；勤務時間にあまり制約を受けずに自分の才能・技術で生計を立てている人、開業医、弁護士、政治家、画家、作家、俳優など
(フルタイム勤めの人)	
4	管 理 職；官公庁、大中企業、法人・団体の部・課長以上の給与生活者、大学教授以上の学者、教頭以上の教職員など
5	事務・技術職；事務・技術関係の一般サラリーマン、官公吏、教員などの給与生活者
6	労務・技能職；各種産業労働者及び中小企業、個人商店、各種サービス業の従業員
7	パート・アルバイト
8	主婦専業
9	学 生
10	無 職

F 6 あなたの最終学歴をお教えてください。（中退・在学中を含みます）（1つだけ）

1	小学校・中学校（含旧高等小学校）	4	短大（含高等専門学校）
2	高等学校（含旧中等学校）	5	大学・大学院（含旧専門学校）
3	各種専門学校		

F 7 あなたは現在配偶者がいらっしゃいますか。（1つだけ）

1	い る	2	いない（死別した）	3	いない（死別以外で）
---	-----	---	-----------	---	------------

F 8 世帯の年収は全部でどれくらいになりますか。ご家族全部の収入を税込みでボーナス、内職、利息収入なども含めて概算でお教えてください。（1つだけ）

1	200万円未満	7	700～800万円未満
2	200～300万円未満	8	800～900万円未満
3	300～400万円未満	9	900～1,000万円未満
4	400～500万円未満	10	1,000万円～1,200万円未満
5	500～600万円未満	11	1,200万円以上
6	600～700万円未満		

F 9 あなたのご家族は次のどれにあたりますか。（1つだけ）

1	単身世帯	4	夫婦と子供の世帯
2	夫婦だけの世帯	5	親と夫婦と子供の世帯
3	夫婦と親の世帯	6	その他（具体的に

F 10 あなたを含めた全部の家族人数をお知らせください。（1つだけ）

1	1 人	4	4 人
2	2 人	5	5 人
3	3 人	6	6人以上

F11 貴方が保有している資格あるいは優れた技術・技能をすべてお書きください。
（運転免許、教員免許、英検、珠算、お茶、お花、習字、武道、ダンス、ピアノ、料理など）

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました

5. 大都市住民に向けたニーズ調査アンケート集計表

問1 社会貢献活動経験有無（SA）

			n	環 所 で 参 加 団 体 活 動 の 一	協 個 人 と し て 参 加 ・	て 団 体 活 動 に 加 わ っ	方 個 人 と 所 属 団 体 両 方 で 参 加	い 参 加 し た こ と は な	無 回 答
全 体			1021	16.3	12.7	7.6	5.4	58.0	-
地域別	首都圏		534	14.4	13.1	8.2	6.4	57.9	-
	関西圏		487	18.3	12.3	7.0	4.3	58.1	-
年代別	20代		171	19.3	7.0	4.7	4.7	64.3	-
	30代		122	16.4	11.5	5.7	1.6	64.8	-
	40代		107	25.2	7.5	7.5	3.7	56.1	-
	50代		213	17.4	16.4	8.5	7.5	50.2	-
	60代		272	14.0	13.2	8.5	6.6	57.7	-
	70代		136	8.1	18.4	10.3	5.1	58.1	-
性別	男性		500	14.8	10.2	6.6	4.2	64.2	-
	女性		521	17.7	15.2	8.6	6.5	52.0	-
性・年代別	男性	20代	75	12.0	6.7	4.0	4.0	73.3	-
		30代	58	20.7	5.2	5.2	1.7	67.2	-
		40代	56	21.4	7.1	3.6	1.8	66.1	-
		50代	81	22.2	12.3	8.6	6.2	50.6	-
		60代	150	12.0	12.7	6.0	5.3	64.0	-
		70代	80	6.3	12.5	11.3	3.8	66.3	-
		70代	80	6.3	12.5	11.3	3.8	66.3	-
	女性	20代	96	25.0	7.3	5.2	5.2	57.3	-
		30代	64	12.5	17.2	6.3	1.6	62.5	-
		40代	51	29.4	7.8	11.8	5.9	45.1	-
		50代	132	14.4	18.9	8.3	8.3	50.0	-
		60代	122	16.4	13.9	11.5	8.2	50.0	-
		70代	56	10.7	26.8	8.9	7.1	46.4	-
		70代	56	10.7	26.8	8.9	7.1	46.4	-
ボランティア経験の有無									
ボランティア経験あり			429	38.7	30.3	18.2	12.8	-	-
ボランティア経験なし			592	-	-	-	-	100.0	-

n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

問2 参加したボランティア活動の種類（MA）

			n	援 福 祉 ・ 保 健 へ の 支	護 環 境 美 化 ・ 自 然 保	支 子 ど も の 健 全 育 成	援 趣 味 等 の 指 導 ・ 支	ま ち づ く り に 関 す る 活 動	防 災 や 安 全 に 関 す る 活 動	献 の 活 動 に 関 す る 活 動	人 権 や 平 和 の た め の 活 動	活 動 に 関 す る 活 動	男 女 共 同 参 画 促 進	情 報 化 社 会 づ く り	そ の 他	無 回 答
全 体			429	45.0	28.0	24.9	23.5	19.3	15.2	5.6	4.2	1.2	0.7	5.1	-	
地域別	首都圏	225	45.3	23.6	23.1	27.6	15.1	16.0	8.0	2.7	1.8	0.4	4.0	-		
	関西圏	204	44.6	32.8	27.0	19.1	24.0	14.2	2.9	5.9	0.5	1.0	6.4	-		
年代別	20代	61	50.8	29.5	18.0	11.5	11.5	4.9	4.9	4.9	1.6	-	13.1	-		
	30代	43	46.5	30.2	27.9	14.0	18.6	14.0	7.0	7.0	-	-	4.7	-		
	40代	47	42.6	27.7	34.0	29.8	12.8	10.6	2.1	2.1	2.1	-	6.4	-		
	50代	106	44.3	29.2	28.3	22.6	21.7	19.8	4.7	4.7	1.9	0.9	0.9	-		
	60代	115	44.3	24.3	19.1	32.2	21.7	13.0	8.7	3.5	5.2	0.9	0.9	-		
	70代	57	42.1	29.8	28.1	22.8	24.6	26.3	3.5	-	5.3	1.8	1.8	-		
性別	男性	179	31.8	35.2	21.2	24.6	25.1	16.2	3.9	5.6	2.8	-	4.5	-		
	女性	250	54.4	22.8	27.6	22.8	15.2	14.4	6.8	3.2	-	1.2	5.6	-		
性・年代別	男性	20代	20*	35.0	40.0	10.0	15.0	15.0	5.0	5.0	5.0	5.0	-	10.0	-	
		30代	19*	36.8	36.8	10.5	15.8	15.8	5.3	10.5	-	-	-	5.3	-	
		40代	19*	52.6	31.6	31.6	15.8	10.5	5.3	-	-	5.3	-	-	-	
		50代	40	37.5	35.0	27.5	30.0	27.5	15.0	2.5	2.5	2.5	-	7.5	-	
		60代	54	24.1	29.6	18.5	27.8	29.6	14.8	5.6	9.3	1.9	-	3.7	-	
		70代	27*	18.5	44.4	25.9	29.6	37.0	40.7	3.7	3.7	3.7	-	-	-	
	女性	20代	41	58.5	24.4	22.0	9.8	9.8	4.9	4.9	4.9	-	-	14.6	-	
		30代	24*	54.2	25.0	41.7	12.5	20.8	16.7	8.3	4.2	-	-	4.2	-	
		40代	28*	35.7	25.0	35.7	39.3	14.3	14.3	3.6	3.6	-	-	10.7	-	
		50代	66	48.5	25.8	28.8	18.2	18.2	22.7	6.1	1.5	-	1.5	3.0	-	
			61	62.3	19.7	19.7	36.1	14.8	11.5	11.5	1.6	-	1.6	3.3	-	
			30	63.3	16.7	30	16.7	13.3	13.3	3.3	6.7	-	3.3	-	-	
ボランティア経験の有無																
ボランティア経験あり			429	45.0	28.0	24.9	23.5	19.3	15.2	5.6	4.2	1.2	0.7	5.1	-	
ボランティア経験なし			0*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

問3 ボランティア活動に参加しない理由（S A）

			余 時間 的に 参加 する	参 加 し た い が 方 法	身 近 に 興 味 持 て る 活 動 な い	社 会 貢 献 活 動 に 興 味 が な い	そ の 他	無 回 答		
n										
全 体			592	47.8	26.4	10.1	9.3	6.3	0.2	
地域別	首都圏		309	44.3	29.1	11.0	8.7	6.5	0.3	
	関西圏		283	51.6	23.3	9.2	9.9	6.0	—	
年代別	20代		110	37.3	30.9	10.9	18.2	1.8	0.9	
	30代		79	48.1	25.3	7.6	17.7	1.3	—	
	40代		60	66.7	20.0	6.7	5.0	1.7	—	
	50代		107	72.0	19.6	2.8	3.7	1.9	—	
	60代		157	38.2	33.1	14.0	5.1	9.6	—	
	70代		79	34.2	21.5	16.5	7.6	20.3	—	
性別	男性		321	44.5	25.2	11.8	11.5	6.9	—	
	女性		271	51.7	27.7	8.1	6.6	5.5	0.4	
性・年代別	男性	20代		55	34.5	27.3	14.5	23.6	—	—
		30代		39	43.6	28.2	5.1	23.1	—	—
		40代		37	67.6	13.5	10.8	5.4	2.7	—
		50代		41	63.4	24.4	—	7.3	4.9	—
		60代		96	40.6	31.3	14.6	6.3	7.3	—
		70代		53	32.1	18.9	18.9	7.5	22.6	—
	女性	20代		55	40.0	34.5	7.3	12.7	3.6	1.8
		30代		40	52.5	22.5	10.0	12.5	2.5	—
		40代		23*	65.2	30.4	—	4.3	—	—
		50代		66	77.3	16.7	4.5	1.5	—	—
		60代		61	34.4	36.1	13.1	3.3	13.1	—
		70代		26*	38.5	26.9	11.5	7.7	15.4	—
ボランティア 経験の有無		ボランティア経験あり		0*	—	—	—	—	—	
		ボランティア経験なし		592	47.8	26.4	10.1	9.3	6.3	0.2

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

問4 今後のボランティア活動参加意向（S A）

			<i>n</i>	加 時 間 余 裕 あ れ ば 参 加 し た い	内 容 興 味 あ れ ば 参 加 し た い	き っ か け あ れ ば 参 加 し た い	い 活 動 に は 興 味 が な い	そ の 他	無 回 答
全 体			1021	42.6	25.4	17.6	7.9	6.5	-
地域別	首都圏		534	41.0	27.5	17.6	7.3	6.6	-
	関西圏		487	44.4	23.0	17.7	8.6	6.4	-
年代別	20代		171	38.0	31.6	15.2	14.0	1.2	-
	30代		122	43.4	23.8	17.2	14.8	0.8	-
	40代		107	57.0	24.3	9.3	7.5	1.9	-
	50代		213	54.0	23.0	16.0	4.2	2.8	-
	60代		272	34.6	27.6	23.9	4.4	9.6	-
	70代		136	34.6	19.1	17.6	7.4	21.3	-
性別	男性		500	40.4	25.8	17.4	10.0	6.4	-
	女性		521	44.7	25.0	17.9	6.0	6.5	-
性・年代別	男性	20代	75	32.0	37.3	10.7	20.0	-	-
		30代	58	41.4	22.4	17.2	19.0	-	-
		40代	56	58.9	23.2	5.4	12.5	-	-
		50代	81	54.3	27.2	12.3	6.2	-	-
		60代	150	36.0	25.3	26.7	4.7	7.3	-
		70代	80	28.8	18.8	20.0	6.3	26.3	-
	女性	20代	96	42.7	27.1	18.8	9.4	2.1	-
		30代	64	45.3	25.0	17.2	10.9	1.6	-
		40代	51	54.9	25.5	13.7	2.0	3.9	-
		50代	132	53.8	20.5	18.2	3.0	4.5	-
		60代	122	32.8	30.3	20.5	4.1	12.3	-
		70代	56	42.9	19.6	14.3	8.9	14.3	-
ボランティア 経験の有無	ボランティア経験あり		429	46.9	28.9	18.2	0.9	5.1	-
	ボランティア経験なし		592	39.5	22.8	17.2	13.0	7.4	-

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

問 5 過去 3 年間の 1 泊以上の国内旅行
経験の有無（S A）

問 6 過去 3 年間の国内旅行の最長
期間（S A）

			n	行った	行かなかった	無回答
全 体			1021	75.6	23.2	1.2
地域別	首都圏		534	77.9	20.6	1.5
	関西圏		487	73.1	26.1	0.8
年代別	20代		171	73.7	26.3	-
	30代		122	73.0	26.2	0.8
	40代		107	79.4	19.6	0.9
	50代		213	69.5	29.1	1.4
	60代		272	79.0	19.1	1.8
	70代		136	80.1	18.4	1.5
性別	男性		500	74.8	24.4	0.8
	女性		521	76.4	22.1	1.5
性・年代別	男性	20代	75	65.3	34.7	-
		30代	58	70.7	29.3	-
		40代	56	76.8	23.2	-
		50代	56	70.4	27.2	2.5
		60代	81	78.0	20.7	1.3
		70代	150	83.8	16.3	-
	女性	20代	96	80.2	19.8	-
		30代	64	75.0	23.4	1.6
		40代	51	82.4	15.7	2.0
		50代	132	68.9	30.3	0.8
		60代	122	80.3	17.2	2.5
		70代	56	75.0	21.4	3.6
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり		429	81.8	16.6	1.6
	ボランティア経験なし		592	71.1	28.0	0.8

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

			n	2日間	3日間	4日間	5日間	6日間	未満週間 1週間未満	未満週間 2週間未満	1ヶ月以上	無回答	平均値
全 体			772	32.0	36.8	16.5	6.6	3.0	3.9	1.0	0.1	0.1	3.6
地域別	首都圏		416	30.3	37.0	16.8	6.3	3.4	4.8	1.2	0.2	-	3.7
	関西圏		356	34.0	36.5	16.0	7.0	2.5	2.8	0.8	-	0.3	3.4
年代別	20代		126	35.7	38.1	12.7	6.3	1.6	3.2	1.6	0.8	-	3.7
	30代		89	31.5	39.3	18.0	2.2	2.2	5.6	1.1	-	-	3.6
	40代		85	37.6	28.2	18.8	9.4	4.7	1.2	-	-	-	3.2
	50代		148	29.7	39.9	16.9	4.7	3.4	4.7	0.7	-	-	3.5
	60代		215	31.2	34.9	15.3	8.4	4.2	4.2	1.9	-	-	3.8
	70代		109	28.4	39.4	19.3	7.3	0.9	3.7	-	-	0.9	3.3
性別	男性		374	32.9	35.0	15.0	6.7	3.5	5.1	1.3	0.3	0.3	3.8
	女性		398	31.2	38.4	17.8	6.5	2.5	2.8	0.8	-	-	3.4
性・年代別	男性	20代	49	34.7	30.6	12.2	6.1	4.1	8.2	2.0	2.0	-	4.7
		30代	41	39.0	41.5	12.2	-	-	7.3	-	-	-	3.2
		40代	43	27.9	37.2	18.6	9.3	4.7	2.3	-	-	-	3.4
		50代	57	29.8	33.3	17.5	5.3	5.3	7.0	1.8	-	-	4
		60代	117	33.3	34.2	12.8	7.7	5.1	4.3	2.6	-	-	3.9
		70代	67	32.8	35.8	17.9	9.0	-	3.0	-	-	1.5	3.2
	女性	20代	77	36.4	42.9	13.0	6.5	-	-	1.3	-	-	3.1
		30代	48	25.0	37.5	22.9	4.2	4.2	4.2	2.1	-	-	3.9
		40代	42	47.6	19.0	19.0	9.5	4.8	-	-	-	-	3
		50代	91	29.7	44.0	16.5	4.4	2.2	3.3	-	-	-	3.3
		60代	98	28.6	35.7	18.4	9.2	3.1	4.1	1.0	-	-	3.6
		70代	42	21.4	45.2	21.4	4.8	2.4	4.8	-	-	-	3.5
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり		351	29.3	35.9	16.8	7.4	3.7	5.4	1.1	-	0.3	3.7
	ボランティア経験なし		421	34.2	37.5	16.2	5.9	2.4	2.6	1.0	0.2	-	3.5

問 7 過去 3 年間の最長国内旅行での主な行動（MA）

			n	自然・風景を見る	温泉で休養する	郷土の料理を食べる	史跡・文化財博物館等鑑賞	のんびりとくつろぐ	名産品・特産品を買う	神社・仏閣等の参拝	車でドライブする	スポーツをする	テーマパーク・遊園地遊ぶ	海水浴、釣り等	登山、山歩き	体験型観光をする	都市で観光する	祭りなどのイベントを見る	その他	無回答
全 体			772	68.8	64.1	41.1	39.0	33.2	32.6	28.8	28.6	14.6	13.7	13.3	10.8	7.1	6.5	6.3	3.2	0.1
地域別	首都圏	416	71.6	64.9	42.1	42.3	34.1	37.7	29.3	32.5	15.1	13.5	12.0	11.8	8.7	6.5	7.5	3.4	0.2	
	関西圏	356	65.4	63.2	39.9	35.1	32.0	26.7	28.1	24.2	14.0	14.0	14.9	9.6	5.3	6.5	5.1	3.1	-	
年代別	20代	126	61.9	55.6	46.8	27.8	30.2	30.2	16.7	29.4	16.7	27.8	15.1	5.6	7.1	15.1	4.8	3.2	-	
	30代	89	64.0	52.8	36.0	21.3	47.2	28.1	16.9	36.0	24.7	20.2	24.7	5.6	13.5	6.7	4.5	3.4	-	
	40代	85	62.4	49.4	37.6	32.9	41.2	34.1	21.2	29.4	24.7	28.2	35.3	9.4	8.2	3.5	4.7	1.2	-	
	50代	148	75.7	70.9	51.4	43.9	39.9	43.9	31.1	31.1	15.5	10.1	9.5	12.8	6.1	4.1	9.5	2.7	-	
	60代	215	71.6	70.7	40.5	47.4	27.4	31.2	36.3	29.8	10.7	5.6	7.0	16.7	7.4	6.0	8.8	3.7	0.5	
	70代	109	70.6	72.5	28.4	47.7	21.1	25.7	40.4	15.6	2.8	1.8	2.8	7.3	1.8	2.8	1.8	4.6	-	
性別	男性	374	65.0	61.5	37.2	33.7	31.3	22.2	25.9	30.5	16.8	11.8	14.4	9.9	6.1	5.1	4.5	5.1	-	
	女性	398	72.4	66.6	44.7	44.0	34.9	42.5	31.4	26.9	12.6	15.6	12.3	11.6	8.0	7.8	8.0	1.5	0.3	
性・年代別	男性	20代	49	63.3	53.1	46.9	28.6	26.5	24.5	18.4	28.6	22.4	22.4	14.3	6.1	4.1	12.2	2.0	8.2	-
		30代	41	58.5	51.2	36.6	14.6	48.8	19.5	14.6	43.9	31.7	29.3	26.8	4.9	14.6	7.3	7.3	2.4	-
		40代	43	62.8	44.2	30.2	25.6	44.2	23.3	20.9	25.6	25.6	25.6	34.9	11.6	11.6	4.7	2.3	2.3	-
		50代	57	71.9	59.6	45.6	28.1	35.1	29.8	21.1	40.4	22.8	7.0	19.3	8.8	3.5	3.5	3.5	5.3	-
		60代	117	65.0	68.4	38.5	43.6	26.5	20.5	30.8	33.3	11.1	5.1	7.7	15.4	6.0	4.3	6.8	5.1	-
		70代	67	65.7	74.6	25.4	41.8	20.9	17.9	37.3	13.4	3.0	-	1.5	6.0	1.5	1.5	3.0	6.0	-
	女性	20代	77	61.0	57.1	46.8	27.3	32.5	33.8	15.6	29.9	13.0	31.2	15.6	5.2	9.1	16.9	6.5	-	-
		30代	48	68.8	54.2	35.4	27.1	45.8	35.4	18.8	29.2	18.8	12.5	22.9	6.3	12.5	6.3	2.1	4.2	-
		40代	42	61.9	54.8	45.2	40.5	38.1	45.2	21.4	33.3	23.8	31.0	35.7	7.1	4.8	2.4	7.1	-	-
		50代	91	78.0	78.0	54.9	53.8	42.9	52.7	37.4	25.3	11.0	12.1	3.3	15.4	7.7	4.4	13.2	1.1	-
		60代	98	79.6	73.5	42.9	52.0	28.6	43.9	42.9	25.5	10.2	6.1	6.1	18.4	9.2	8.2	11.2	2.0	1.0
		70代	42	78.6	69.0	33.3	57.1	21.4	38.1	45.2	19.0	2.4	4.8	4.8	9.5	2.4	4.8	-	2.4	-
ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	351	71.5	66.1	43.3	44.2	33.9	36.8	31.1	32.2	15.7	13.7	13.4	14.0	8.0	7.7	6.3	2.0	-
ボランティア経験なし		421	66.5	62.5	39.2	34.7	32.5	29.2	26.8	25.7	13.8	13.8	13.3	8.1	6.4	5.5	6.4	4.3	0.2	

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

問8 国内旅行を考える時の情報入手経路（MA）

			<i>n</i>	旅行雑誌、ガイドブック	業者のポスター、パンフレット	家族、友人、知人等の紹介	インターネット	新聞、雑誌	テレビやラジオ	公的な観光案内所	旅行代理店窓口の勧め	その他	無回答
全 体			772	54.5	49.7	43.0	33.3	30.8	13.2	8.3	7.8	2.7	0.4
地域別	首都圏		416	54.3	46.2	45.4	38.2	31.7	13.7	10.1	7.7	2.4	0.2
	関西圏		356	54.8	53.9	40.2	27.5	29.8	12.6	6.2	7.9	3.1	0.6
年代別	20代		126	57.9	47.6	36.5	48.4	24.6	10.3	5.6	5.6	0.8	－
	30代		89	55.1	40.4	46.1	58.4	28.1	15.7	5.6	4.5	1.1	－
	40代		85	63.5	47.1	32.9	57.6	23.5	12.9	8.2	7.1	2.4	－
	50代		148	61.5	58.8	43.9	35.1	39.9	14.9	8.1	6.8	3.4	－
	60代		215	48.8	48.8	44.7	16.3	37.7	13.0	10.2	7.4	4.2	－
	70代		109	45.0	51.4	51.4	7.3	20.2	12.8	10.1	15.6	2.8	－
性別	男性		374	53.5	42.0	39.0	35.3	31.6	11.2	8.6	7.2	2.9	0.5
	女性		398	55.5	57.0	46.7	31.4	30.2	15.1	8.0	8.3	2.5	0.3
性・年代別	男性	20代	49	55.1	34.7	40.8	46.9	30.6	14.3	6.1	4.1	－	－
		30代	41	53.7	29.3	53.7	56.1	29.3	12.2	7.3	4.9	－	－
		40代	43	69.8	39.5	27.9	69.8	30.2	11.6	4.7	2.3	－	－
		50代	57	57.9	47.4	35.1	43.9	24.6	7.0	8.8	3.5	5.3	－
		60代	117	47.9	44.4	35.0	21.4	44.4	12.0	9.4	7.7	5.1	－
		70代	67	47.8	47.8	46.3	9.0	17.9	10.4	11.9	16.4	3.0	3.0
	女性	20代	77	59.7	55.8	33.8	49.4	20.8	7.8	5.2	6.5	1.3	－
		30代	48	56.3	50.0	39.6	60.4	27.1	18.8	4.2	4.2	2.1	－
		40代	42	57.1	54.8	38.1	45.2	16.7	14.3	11.9	11.9	4.8	－
		50代	91	63.7	65.9	49.5	29.7	49.5	19.8	7.7	8.8	2.2	－
		60代	98	50.0	54.1	56.1	10.2	29.6	14.3	11.2	7.1	3.1	－
		70代	42	40.5	57.1	59.5	4.8	23.8	16.7	7.1	14.3	2.4	2.4
ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	351	58.4	50.7	44.2	36.8	32.2	14.8	11.1	8.0	3.1	0.9
		ボランティア経験なし	421	51.3	48.9	42.0	30.4	29.7	11.9	5.9	7.6	2.4	0.2

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

問9 1泊以上の国内旅行に行かなかった理由（MA）

			<i>n</i>	金銭的に余裕がない	休みが取れないから	きつかけがなかった	家族と一緒に休みたい	留守中ベットの預ける人なし	留守中家族の世話人いない	健康・体力に自信がない	一緒に行く人がいない	計画や準備をするのが面倒	行きたい観光地や施設がない	旅行は好きではない	高齢・障害等のため移動不安	海外旅行の方が好き	その他	無回答	
全 体			237	41.4	36.7	21.5	21.1	14.3	13.5	11.8	8.0	7.2	6.3	5.1	4.2	3.0	3.8	1.3	
地域別	首都圏		110	38.2	40.0	20.9	21.8	17.3	14.5	12.7	4.5	7.3	4.5	4.5	4.5	5.5	0.9		
	関西圏		127	44.1	33.9	22.0	20.5	11.8	12.6	11.0	11.0	7.1	7.9	5.5	3.9	1.6	2.4	1.6	
年代別	20代		45	60.0	48.9	28.9	8.9	—	4.4	2.2	20.0	15.6	17.8	11.1	—	6.7	4.4	—	
	30代		32	56.3	56.3	15.6	18.8	9.4	15.6	—	6.3	6.3	6.3	3.1	—	3.1	—	3.1	
	40代		21*	47.6	47.6	19.0	42.9	28.6	9.5	4.8	—	4.8	4.8	—	4.8	—	—	4.8	
	50代		62	33.9	46.8	22.6	33.9	19.4	17.7	4.8	8.1	8.1	1.6	6.5	—	1.6	6.5	—	
	60代		52	30.8	11.5	21.2	13.5	21.2	11.5	30.8	5.8	1.9	3.8	3.8	13.5	3.8	3.8	1.9	
	70代		25*	24.0	8.0	16.0	12.0	8.0	24.0	28.0	—	4.0	4.0	—	8.0	—	4.0	—	
性別	男性		122	45.9	44.3	23.0	18.9	12.3	4.9	13.1	10.7	5.7	9.0	7.4	4.9	3.3	0.8	0.8	
	女性		115	36.5	28.7	20.0	23.5	16.5	22.6	10.4	5.2	8.7	3.5	2.6	3.5	2.6	7.0	1.7	
性・年代別	男性	20代		26*	53.8	57.7	30.8	7.7	—	—	3.8	30.8	15.4	19.2	11.5	—	7.7	—	—
		30代		17*	35.3	64.7	23.5	11.8	11.8	5.9	—	11.8	11.8	11.8	5.9	—	5.9	—	—
		40代		13*	61.5	61.5	23.1	38.5	15.4	—	—	—	—	7.7	—	7.7	—	—	7.7
		50代		22*	50.0	59.1	22.7	31.8	18.2	9.1	4.5	9.1	4.5	4.5	13.6	—	—	4.5	—
		60代		31	45.2	19.4	19.4	19.4	22.6	6.5	25.8	3.2	—	3.2	6.5	12.9	3.2	—	—
		70代		13*	23.1	7.7	15.4	7.7	—	7.7	46.2	—	—	7.7	—	7.7	—	—	—
	女性	20代		19*	68.4	36.8	26.3	10.5	—	10.5	—	5.3	15.8	15.8	10.5	—	5.3	10.5	—
		30代		15*	80.0	46.7	6.7	26.7	6.7	26.7	—	—	—	—	—	—	—	—	6.7
		40代		8*	25.0	25.0	12.5	50.0	50.0	25.0	12.5	—	12.5	—	—	—	—	—	—
		50代		40	25.0	40.0	22.5	35.0	20.0	22.5	5.0	7.5	10.0	—	2.5	—	2.5	7.5	—
		60代		21*	9.5	—	23.8	4.8	19.0	19.0	38.1	9.5	4.8	4.8	—	14.3	4.8	9.5	4.8
		70代		12*	25.0	8.3	16.7	16.7	16.7	41.7	8.3	—	8.3	—	—	8.3	—	8.3	—
ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり		71	35.2	40.8	23.9	25.4	16.9	12.7	8.5	4.2	4.2	4.2	2.8	1.4	4.2	5.6	—
		ボランティア経験なし		166	44.0	34.9	20.5	19.3	13.3	13.9	13.3	9.6	8.4	7.2	6.0	5.4	2.4	3.0	1.8

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

問 1 0 今後 3 年間に国内旅行をしたいか (S A) 問 1 1 今後の国内旅行回数や日数の増減意向 (S A)

			n	はい	いいえ	無回答
全 体			1021	91.3	7.3	1.4
地域別	首都圏		534	91.6	6.9	1.5
	関西圏		487	91.0	7.8	1.2
年代別	20代		171	91.8	8.2	-
	30代		122	90.2	9.0	0.8
	40代		107	94.4	5.6	-
	50代		213	92.0	7.5	0.5
	60代		272	92.3	4.8	2.9
	70代		136	86.0	11.0	2.9
性別	男性		500	88.8	9.8	1.4
	女性		521	93.7	5.0	1.3
性・年代別	男性	20代	75	84.0	16.0	-
		30代	58	86.2	13.8	-
		40代	56	94.6	5.4	-
		50代	81	91.4	7.4	1.2
		60代	150	91.3	6.0	2.7
		70代	80	83.8	13.8	2.5
	女性	20代	96	97.9	2.1	-
		30代	64	93.8	4.7	1.6
		40代	51	94.1	5.9	-
		50代	132	92.4	7.6	-
		60代	122	93.4	3.3	3.3
		70代	56	89.3	7.1	3.6
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり		429	94.9	4.4	0.7
	ボランティア経験なし		592	88.7	9.5	1.9

			n	これまでと同程度	長回数多く、日数	短回数多く、日数	長回数少く、日数	短回数少く、日数	その他	無回答
全 体			932	33.7	32.7	15.0	14.2	3.4	0.6	0.3
地域別	首都圏		489	34.8	33.9	14.9	12.5	2.5	0.8	0.6
	関西圏		443	32.5	31.4	15.1	16.0	4.5	0.5	-
年代別	20代		157	29.3	39.5	15.3	14.6	1.3	-	-
	30代		110	30.0	40.9	10.0	17.3	0.9	-	0.9
	40代		101	42.6	37.6	3.0	13.9	2.0	1.0	-
	50代		196	32.7	35.7	12.2	14.8	3.1	1.5	-
	60代		251	35.9	23.9	22.3	12.0	4.4	0.8	0.8
	70代		117	32.5	25.6	18.8	14.5	8.5	-	-
性別	男性		444	30.9	35.6	14.6	14.6	3.2	0.5	0.7
	女性		488	36.3	30.1	15.4	13.7	3.7	0.8	-
性・年代別	男性	20代	63	23.8	44.4	15.9	14.3	1.6	-	-
		30代	50	32.0	42.0	4.0	18.0	2.0	-	2.0
		40代	53	30.2	50.9	3.8	13.2	1.9	-	-
		50代	74	29.7	41.9	12.2	14.9	-	1.4	-
		60代	137	32.1	24.8	21.9	15.3	3.6	0.7	1.5
		70代	67	35.8	25.4	17.9	11.9	9.0	-	-
	女性	20代	94	33.0	36.2	14.9	14.9	1.1	-	-
		30代	60	28.3	40.0	15.0	16.7	-	-	-
		40代	48	56.3	22.9	2.1	14.6	2.1	2.1	-
		50代	122	34.4	32.0	12.3	14.8	4.9	1.6	-
		60代	114	40.4	22.8	22.8	7.9	5.3	0.9	-
		70代	50	28.0	26.0	20.0	18.0	8.0	-	-
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり		407	36.4	32.9	14.5	12.8	2.5	0.5	0.5
	ボランティア経験なし		525	31.6	32.6	15.4	15.2	4.2	0.8	0.2

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

問 1 2 国内旅行費用の増減意向 (S A)

			n	これまでと同程度で	これより費用が	これより以上費用を	その他	無回答
全 体			932	72.5	13.2	12.9	0.5	0.9
地域別	首都圏		489	74.6	11.0	12.7	0.6	1.0
	関西圏		443	70.2	15.6	13.1	0.5	0.7
年代別	20代		157	67.5	16.6	15.9	-	-
	30代		110	71.8	14.5	10.9	2.7	-
	40代		101	64.4	14.9	19.8	-	1.0
	50代		196	73.0	12.2	12.8	1.5	0.5
	60代		251	76.5	13.5	9.2	0.8	-
	70代		117	77.8	6.8	12.8	1.7	0.9
性別	男性		444	69.6	14.2	15.1	-	1.1
	女性		488	75.2	12.3	10.9	1.0	0.6
性・年代別	男性	20代	63	66.7	17.5	15.9	-	-
		30代	50	76.0	8.0	16.0	-	-
		40代	53	50.9	18.9	30.2	-	-
		50代	74	67.6	16.2	13.5	2.7	-
		60代	137	71.5	16.1	11.7	0.7	-
		70代	67	80.6	6.0	10.4	3.0	-
	女性	20代	94	68.1	16.0	16.0	-	-
		30代	60	68.3	20.0	6.7	5.0	-
		40代	48	79.2	10.4	8.3	-	2.1
		50代	122	76.2	9.8	12.3	0.8	0.8
		60代	114	82.5	10.5	6.1	0.9	-
		70代	50	74.0	8.0	16.0	-	2.0
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり		407	73.5	11.3	13.3	0.7	1.2
	ボランティア経験なし		525	71.8	14.7	12.6	0.4	0.6

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

問 1 3 「ボランティアホリデー」体験希望意向（S A）

n			ぜひ体験してみたい	機会があれば体験したい	どちらともいえない	あまり体験したくない	まったく体験したくない	無回答	
全 体			1021	2.0	35.9	24.9	26.4	10.8	-
地域別	首都圏		534	1.1	35.0	25.1	27.2	11.6	-
	関西圏		487	2.9	37.0	24.6	25.7	9.9	-
年代別	20代		171	3.5	38.0	25.7	21.6	11.1	-
	30代		122	2.5	36.1	28.7	22.1	10.7	-
	40代		107	3.7	37.4	25.2	28.0	5.6	-
	50代		213	1.4	40.4	24.9	25.4	8.0	-
	60代		272	0.7	36.0	24.3	26.8	12.1	-
	70代		136	1.5	25.0	21.3	36.0	16.2	-
性別	男性		500	0.8	34.2	24.6	28.4	12.0	-
	女性		521	3.1	37.6	25.1	24.6	9.6	-
性・年代別	男性	20代	75	2.7	33.3	21.3	29.3	13.3	-
		30代	58	-	24.1	32.8	31.0	12.1	-
		40代	56	1.8	35.7	19.6	33.9	8.9	-
		50代	81	-	42.0	27.2	18.5	12.3	-
		60代	150	0.7	39.3	25.3	27.3	7.3	-
		70代	80	-	23.8	21.3	33.8	21.3	-
	女性	20代	96	4.2	41.7	29.2	15.6	9.4	-
		30代	64	4.7	46.9	25.0	14.1	9.4	-
		40代	51	5.9	39.2	31.4	21.6	2.0	-
		50代	132	2.3	39.4	23.5	29.5	5.3	-
		60代	122	0.8	32.0	23.0	26.2	18.0	-
		70代	56	3.6	26.8	21.4	39.3	8.9	-
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり		429	4.0	42.0	23.1	23.3	7.7	-
	ボランティア経験なし		592	0.5	31.6	26.2	28.7	13.0	-

n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

問 1 4 「ボランティアホリデー」説明文の最も関心ある部分（S A）

n			体験的旅行と違った	地元の方々と交流する機会	様々な活動を通して地域貢献	活動しながら地方長期滞在	通常より安価で滞在可能	①～⑤以外	無回答
全 体			641	40.2	22.5	14.7	10.3	0.3	1.7
地域別	首都圏	327	39.8	22.0	15.9	9.2	11.6	-	1.5
	関西圏	314	40.8	22.9	13.4	11.5	8.9	0.6	1.9
年代別	20代	115	34.8	21.7	10.4	16.5	16.5	-	-
	30代	82	34.1	17.1	17.1	14.6	13.4	-	3.7
	40代	71	50.7	15.5	9.9	16.9	7.0	-	-
	50代	142	35.9	25.4	20.4	8.5	9.9	-	-
	60代	166	42.8	25.9	13.9	4.8	8.4	1.2	3.0
	70代	65	49.2	23.1	13.8	4.6	4.6	-	4.6
	70代	65	49.2	23.1	13.8	4.6	4.6	-	4.6
性別	男性	298	38.3	24.2	15.8	10.4	10.4	0.3	0.7
	女性	343	42.0	21.0	13.7	10.2	10.2	0.3	2.6
性・年代別	男性	20代	43	39.5	25.6	11.6	11.6	-	-
		30代	33	21.2	30.3	12.1	21.2	15.2	-
		40代	32	50.0	18.8	9.4	15.6	6.3	-
		50代	56	33.9	26.8	21.4	10.7	7.1	-
		60代	98	37.8	21.4	17.3	7.1	13.3	1.0
		70代	36	50.0	25.0	16.7	2.8	5.6	-
	女性	20代	72	31.9	19.4	9.7	19.4	19.4	-
		30代	49	42.9	8.2	20.4	10.2	12.2	-
		40代	39	51.3	12.8	10.3	17.9	7.7	-
		50代	86	37.2	24.4	19.8	7.0	11.6	-
		60代	68	50.0	32.4	8.8	1.5	1.5	4.4
		70代	29*	48.3	20.7	10.3	6.9	3.4	-
		70代	29*	48.3	20.7	10.3	6.9	3.4	-
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	296	38.5	22.6	16.6	11.8	9.1	0.3	1.0
	ボランティア経験なし	345	41.7	22.3	13.0	9.0	11.3	0.3	2.3

n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

問 1 5 「ボランティアホリデー」体験の希望滞在期間（S A）

			n	日 帰 り	2 日 間	3 日 間	4 日 間	5 日 間	6 日 間	1 週 間 ～ 2 週 間 未 満	2 週 間 ～ 1 ヶ 月 未 満	1 ヶ 月 ～ 3 ヶ 月 未 満	3 ヶ 月 以 上	無 回 答	平 均 値
全 体			387	3.4	13.2	23.3	3.6	7.2	5.4	25.3	6.5	4.1	0.3	7.8	9.3
地域別	首都圏		193	2.6	12.4	23.8	4.7	6.7	5.2	27.5	7.3	3.1	0.5	6.2	9.2
	関西圏		194	4.1	13.9	22.7	2.6	7.7	5.7	23.2	5.7	5.2	—	9.3	9.3
年代別	20代		71	2.8	12.7	16.9	4.2	2.8	5.6	32.4	11.3	9.9	—	1.4	13.2
	30代		47	2.1	10.6	17.0	2.1	2.1	8.5	27.7	19.1	2.1	2.1	6.4	13
	40代		44	2.3	15.9	20.5	2.3	6.8	4.5	36.4	2.3	9.1	—	—	11.3
	50代		89	4.5	13.5	31.5	5.6	7.9	3.4	21.3	2.2	2.2	—	7.9	6.6
	60代		100	5.0	17.0	21.0	4.0	10.0	6.0	16.0	4.0	2.0	—	15.0	6.7
	70代		36	—	2.8	33.3	—	13.9	5.6	30.6	2.8	—	—	11.1	6.5
	性別														
性・年代別	男性	男性	175	2.3	11.4	25.1	2.9	7.4	5.7	26.3	6.9	4.6	—	7.4	9.4
		女性	212	4.2	14.6	21.7	4.2	7.1	5.2	24.5	6.1	3.8	0.5	8.0	9.2
		20代	27*	3.7	11.1	18.5	7.4	3.7	—	25.9	14.8	11.1	—	3.7	14.3
		30代	14*	—	14.3	7.1	7.1	—	—	28.6	28.6	7.1	—	7.1	15.2
		40代	21*	4.8	19.0	28.6	—	4.8	4.8	33.3	—	4.8	—	—	8
		50代	34	—	11.8	32.4	2.9	8.8	8.8	26.5	—	2.9	—	5.9	7.1
		60代	60	3.3	11.7	25.0	1.7	8.3	8.3	21.7	5.0	3.3	—	11.7	8.2
		70代	19*	—	—	31.6	—	15.8	5.3	31.6	5.3	—	—	10.5	7.1
	女性	20代	44	2.3	13.6	15.9	2.3	2.3	9.1	36.4	9.1	9.1	—	—	12.6
		30代	33	3.0	9.1	21.2	—	3.0	12.1	27.3	15.2	—	3.0	6.1	12.1
		40代	23*	—	13.0	13.0	4.3	8.7	4.3	39.1	4.3	13.0	—	—	14.2
		50代	55	7.3	14.5	30.9	7.3	7.3	—	18.2	3.6	1.8	—	9.1	6.2
		60代	40	7.5	25.0	15.0	7.5	12.5	2.5	7.5	2.5	—	—	20.0	4.2
		70代	17*	—	5.9	35.3	—	11.8	5.9	29.4	—	—	—	11.8	5.7
		ボランティア経験の有無													
		ボランティア経験あり	197	2.0	9.6	25.4	5.1	8.6	5.1	22.8	6.6	4.6	—	10.2	9.3
		ボランティア経験なし	190	4.7	16.8	21.1	2.1	5.8	5.8	27.9	6.3	3.7	0.5	5.3	9.2

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

問 1 6 「ボランティアホリデー」に一緒に行きたい人（S A）

			n	自 分 1 人	友 人	配 偶 者	配 偶 者 以 外 の 家 族	そ の 他	無 回 答
全 体			387	29.2	28.9	22.2	10.1	2.3	7.2
地域別	首都圏		193	28.5	33.7	21.2	9.3	1.0	6.2
	関西圏		194	29.9	24.2	23.2	10.8	3.6	8.2
年代別	20代		71	38.0	39.4	9.9	8.5	2.8	1.4
	30代		47	19.1	23.4	21.3	27.7	4.3	4.3
	40代		44	25.0	25.0	22.7	22.7	4.5	—
	50代		89	32.6	27.0	24.7	6.7	1.1	7.9
	60代		100	26.0	27.0	30.0	3.0	1.0	13.0
	70代		36	30.6	30.6	19.4	2.8	2.8	13.9
	性別								
性・年代別	男性	男性	175	37.1	22.3	28.6	4.6	1.1	6.3
		女性	212	22.6	34.4	17.0	14.6	3.3	8.0
		20代	27*	44.4	44.4	7.4	—	—	3.7
		30代	14*	50.0	14.3	28.6	7.1	—	—
		40代	21*	19.0	28.6	28.6	19.0	4.8	—
		50代	34	44.1	8.8	32.4	5.9	2.9	5.9
		60代	60	35.0	16.7	38.3	1.7	—	8.3
		70代	19*	31.6	31.6	21.1	—	—	15.8
	女性	20代	44	34.1	36.4	11.4	13.6	4.5	—
		30代	33	6.1	27.3	18.2	36.4	6.1	6.1
		40代	23*	30.4	21.7	17.4	26.1	4.3	—
		50代	55	25.5	38.2	20.0	7.3	—	9.1
		60代	40	12.5	42.5	17.5	5.0	2.5	20.0
		70代	17*	29.4	29.4	17.6	5.9	5.9	11.8
		ボランティア経験の有無							
		ボランティア経験あり	197	23.9	27.9	26.9	9.1	2.5	9.6
		ボランティア経験なし	190	34.7	30.0	17.4	11.1	2.1	4.7

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

問 1 7 「ボランティアホリデー」に行きたい地域 (MA)

			n	北海道	九州	東北	四国	北陸	近畿	関東	中国	中部	無回答
全 体			387	62.3	62.0	47.3	33.9	32.8	31.8	31.5	26.9	24.3	7.2
地域別	首都圏		193	65.3	64.2	56.5	36.3	38.9	33.2	40.4	31.1	26.9	5.7
	関西圏		194	59.3	59.8	38.1	31.4	26.8	30.4	22.7	22.7	21.6	8.8
年代別	20代		71	76.1	80.3	46.5	45.1	29.6	29.6	21.1	26.8	19.7	2.8
	30代		47	85.1	80.9	46.8	38.3	38.3	29.8	36.2	29.8	23.4	4.3
	40代		44	88.6	77.3	61.4	34.1	38.6	38.6	47.7	36.4	29.5	-
	50代		89	57.3	52.8	46.1	39.3	38.2	33.7	32.6	25.8	28.1	9.0
	60代		100	45.0	43.0	47.0	27.0	31.0	31.0	31.0	26.0	25.0	12.0
	70代		36	33.3	58.3	36.1	11.1	16.7	27.8	25.0	16.7	16.7	11.1
性別	男性		175	58.9	57.1	50.3	37.1	30.9	26.3	27.4	26.9	21.1	5.7
	女性		212	65.1	66.0	44.8	31.1	34.4	36.3	34.9	26.9	26.9	8.5
性・年代別	男性	20代	27*	81.5	70.4	51.9	48.1	29.6	18.5	29.6	25.9	22.2	3.7
		30代	14*	78.6	78.6	64.3	71.4	42.9	21.4	35.7	35.7	21.4	-
		40代	21*	85.7	81.0	61.9	38.1	42.9	38.1	47.6	42.9	38.1	-
		50代	34	55.9	55.9	47.1	50.0	35.3	32.4	23.5	26.5	20.6	5.9
		60代	60	45.0	40.0	48.3	26.7	28.3	23.3	25.0	25.0	18.3	8.3
		70代	19*	31.6	52.6	36.8	5.3	10.5	26.3	10.5	10.5	10.5	10.5
	女性	20代	44	72.7	86.4	43.2	43.2	29.5	36.4	15.9	27.3	18.2	2.3
		30代	33	87.9	81.8	39.4	24.2	36.4	33.3	36.4	27.3	24.2	6.1
		40代	23*	91.3	73.9	60.9	30.4	34.8	39.1	47.8	30.4	21.7	-
		50代	55	58.2	50.9	45.5	32.7	40.0	34.5	38.2	25.5	32.7	10.9
		60代	40	45.0	47.5	45.0	27.5	35.0	42.5	40.0	27.5	35.0	17.5
		70代	17*	35.3	64.7	35.3	17.6	23.5	29.4	41.2	23.5	23.5	11.8
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	60.4	58.9	45.7	33.0	35.5	33.0	34.5	28.4	29.4	9.1	
	ボランティア経験なし	190	64.2	65.3	48.9	34.7	30.0	30.5	28.4	25.3	18.9	5.3	

n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

問 1 7 - 1 具体的な県・地域 北海道 (MA)

			n	北海道
全 体			387	62.3
地域別	首都圏		193	65.3
	関西圏		194	59.3
年代別	20代		71	76.1
	30代		47	85.1
	40代		44	88.6
	50代		89	57.3
	60代		100	45.0
	70代		36	33.3
性別	男性		175	58.9
	女性		212	65.1
性・年代別	男性	20代	27*	81.5
		30代	14*	78.6
		40代	21*	85.7
		50代	34	55.9
		60代	60	45.0
		70代	19*	31.6
	女性	20代	44	72.7
		30代	33	87.9
		40代	23*	91.3
		50代	55	58.2
		60代	40	45.0
		70代	17*	35.3
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	60.4	
	ボランティア経験なし	190	64.2	

		n	道南	道央	道東	道北	無回答
		241	52.3	42.3	42.3	39.4	5.4
		126	51.6	43.7	42.9	39.7	7.1
		115	53.0	40.9	41.7	39.1	3.5
		54	66.7	53.7	50.0	48.1	3.7
		40	57.5	40.0	40.0	50.0	2.5
		39	53.8	64.1	38.5	38.5	2.6
		51	52.9	41.2	35.3	33.3	3.9
		45	26.7	22.2	48.9	31.1	13.3
		12*	58.3	8.3	33.3	25.0	8.3
		103	47.6	41.7	46.6	35.9	5.8
		138	55.8	42.8	39.1	42.0	5.1
		22*	72.7	50.0	50.0	54.5	－
		11*	54.5	63.6	54.5	54.5	9.1
		18*	55.6	61.1	27.8	33.3	5.6
		19*	42.1	42.1	31.6	21.1	5.3
		27*	22.2	18.5	59.3	29.6	11.1
		6*	50.0	16.7	66.7	16.7	－
		32	62.5	56.3	50.0	43.8	6.3
		29*	58.6	31.0	34.5	48.3	－
		21*	52.4	66.7	47.6	42.9	－
		32	59.4	40.6	37.5	40.6	3.1
		18*	33.3	27.8	33.3	33.3	16.7
		6*	66.7	－	－	33.3	16.7
		119	49.6	44.5	37.8	37.8	3.4
		122	54.9	40.2	46.7	41.0	7.4

n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

問 1 7 - 2 具体的な県 東北 (MA)

			東 北	
n				
全 体		387	47.3	
地域別	首都圏	193	56.5	
	関西圏	194	38.1	
年 代 別	20代	71	46.5	
	30代	47	46.8	
	40代	44	61.4	
	50代	89	46.1	
	60代	100	47.0	
	70代	36	36.1	
性 別	男性	175	50.3	
	女性	212	44.8	
性・年 代 別	男 性	20代	27*	51.9
		30代	14*	64.3
		40代	21*	61.9
		50代	34	47.1
		60代	60	48.3
		70代	19*	36.8
	女 性	20代	44	43.2
		30代	33	39.4
		40代	23*	60.9
		50代	55	45.5
		60代	40	45.0
		70代	17*	35.3
ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	197	45.7
		ボランティア経験なし	190	48.9

n (サンプル数) の * は、*n* < 30を表す。

	青 森	秋 田	岩 手	山 形	宮 城	福 島	無 回 答
<i>n</i>							
183	51.4	49.2	39.9	36.6	33.3	21.3	7.1
109	46.8	51.4	45.0	37.6	34.9	25.7	7.3
74	58.1	45.9	32.4	35.1	31.1	14.9	6.8
33	63.6	57.6	45.5	36.4	33.3	15.2	-
22*	72.7	54.5	54.5	36.4	36.4	36.4	9.1
27*	51.9	51.9	63.0	55.6	33.3	29.6	7.4
41	39.0	46.3	24.4	31.7	29.3	22.0	7.3
47	40.4	38.3	31.9	34.0	40.4	14.9	10.6
13*	61.5	61.5	30.8	23.1	15.4	15.4	7.7
88	51.1	50.0	47.7	40.9	36.4	25.0	8.0
95	51.6	48.4	32.6	32.6	30.5	17.9	6.3
14*	71.4	42.9	64.3	35.7	42.9	21.4	-
9*	77.8	77.8	55.6	55.6	55.6	66.7	11.1
13*	38.5	46.2	53.8	53.8	23.1	15.4	15.4
16*	31.3	43.8	37.5	37.5	25.0	25.0	6.3
29*	41.4	48.3	37.9	41.4	44.8	17.2	10.3
7*	85.7	57.1	57.1	14.3	14.3	28.6	-
19*	57.9	68.4	31.6	36.8	26.3	10.5	-
13*	69.2	38.5	53.8	23.1	23.1	15.4	7.7
14*	64.3	57.1	71.4	57.1	42.9	42.9	-
25*	44.0	48.0	16.0	28.0	32.0	20.0	8.0
18*	38.9	22.2	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1
6*	33.3	66.7	-	33.3	16.7	-	16.7
90	53.3	51.1	38.9	42.2	35.6	21.1	4.4
93	49.5	47.3	40.9	31.2	31.2	21.5	9.7

問 1 7 - 3 具体的な県 関東 (MA)

			関 東	
n				
全 体		387	31.5	
地域別	首都圏	193	40.4	
	関西圏	194	22.7	
年 代 別	20代	71	21.1	
	30代	47	36.2	
	40代	44	47.7	
	50代	89	32.6	
	60代	100	31.0	
	70代	36	25.0	
性 別	男性	175	27.4	
	女性	212	34.9	
性・年 代 別	男 性	20代	27*	29.6
		30代	14*	35.7
		40代	21*	47.6
		50代	34	23.5
		60代	60	25.0
		70代	19*	10.5
	女 性	20代	44	15.9
		30代	33	36.4
		40代	23*	47.8
		50代	55	38.2
		60代	40	40.0
		70代	17*	41.2
ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	197	34.5
		ボランティア経験なし	190	28.4

n (サンプル数) の * は、*n* < 30を表す。

	長 野	山 梨	群 馬	栃 木	東 京	神 奈 川	埼 玉	千 葉	茨 城	無 回 答
<i>n</i>										
122	67.2	40.2	18.9	16.4	14.8	13.1	12.3	11.5	10.7	4.1
78	71.8	43.6	19.2	19.2	11.5	12.8	15.4	9.0	10.3	5.1
44	59.1	34.1	18.2	11.4	20.5	13.6	6.8	15.9	11.4	2.3
15*	73.3	46.7	20.0	20.0	40.0	26.7	13.3	20.0	13.3	6.7
17*	64.7	41.2	29.4	11.8	17.6	11.8	17.6	17.6	11.8	5.9
21*	76.2	52.4	14.3	14.3	9.5	9.5	9.5	9.5	14.3	4.8
29*	69.0	44.8	6.9	20.7	6.9	10.3	10.3	13.8	6.9	-
31	64.5	32.3	22.6	6.5	12.9	16.1	12.9	6.5	9.7	3.2
9*	44.4	11.1	33.3	44.4	11.1	-	11.1	-	11.1	11.1
48	68.8	39.6	22.9	22.9	12.5	12.5	12.5	12.5	18.8	4.2
74	66.2	40.5	16.2	12.2	16.2	13.5	12.2	10.8	5.4	4.1
8*	87.5	50.0	37.5	37.5	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-
5*	80.0	60.0	60.0	40.0	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0	-
10*	70.0	50.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0
8*	62.5	25.0	-	25.0	-	-	-	-	12.5	-
15*	66.7	33.3	13.3	6.7	13.3	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7
2*	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-
7*	57.1	42.9	-	-	57.1	28.6	-	14.3	-	14.3
12*	58.3	33.3	16.7	-	16.7	8.3	8.3	8.3	-	8.3
11*	81.8	54.5	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	-
21*	71.4	52.4	9.5	19.0	9.5	14.3	14.3	19.0	4.8	-
16*	62.5	31.3	31.3	6.3	12.5	18.8	18.8	6.3	12.5	-
7*	57.1	14.3	28.6	42.9	14.3	-	14.3	-	-	14.3
68	77.9	45.6	22.1	16.2	16.2	13.2	13.2	13.2	13.2	2.9
54	53.7	33.3	14.8	16.7	13.0	13.0	11.1	9.3	7.4	5.6

問 1 7 - 4 具体的な県 中部 (MA)

			中 部	
全 体			<i>n</i>	
			387	
			24.3	
地域別	首都圏	193	26.9	
	関西圏	194	21.6	
年 代 別	20代	71	19.7	
	30代	47	23.4	
	40代	44	29.5	
	50代	89	28.1	
	60代	100	25.0	
	70代	36	16.7	
性 別	男性	175	21.1	
	女性	212	26.9	
性・ 年 代 別	男 性	20代	27*	22.2
		30代	14*	21.4
		40代	21*	38.1
		50代	34	20.6
		60代	60	18.3
		70代	19*	10.5
	女 性	20代	44	18.2
		30代	33	24.2
		40代	23*	21.7
		50代	55	32.7
		60代	40	35.0
		70代	17*	23.5
ボランティア 経験の有無	ボランティア経験あり	197	29.4	
	ボランティア経験なし	190	18.9	

n (サンプル数)の * は、*n* < 30を表す。

	岐 阜	静 岡	三 重	愛 知	無 回 答
<i>n</i>					
94	48.9	40.4	28.7	20.2	6.4
52	50.0	46.2	30.8	23.1	3.8
42	47.6	33.3	26.2	16.7	9.5
14*	71.4	21.4	42.9	35.7	—
11*	45.5	54.5	27.3	18.2	9.1
13*	46.2	61.5	30.8	30.8	7.7
25*	48.0	52.0	16.0	8.0	8.0
25*	44.0	20.0	24.0	16.0	8.0
6*	33.3	50.0	66.7	33.3	—
37	51.4	43.2	32.4	24.3	5.4
57	47.4	38.6	26.3	17.5	7.0
6*	66.7	33.3	50.0	50.0	—
3*	100.0	66.7	66.7	33.3	—
8*	37.5	62.5	37.5	25.0	12.5
7*	42.9	42.9	14.3	—	—
11*	54.5	18.2	9.1	9.1	9.1
2*	—	100.0	100.0	100.0	—
8*	75.0	12.5	37.5	25.0	—
8*	25.0	50.0	12.5	12.5	12.5
5*	60.0	60.0	20.0	40.0	—
18*	50.0	55.6	16.7	11.1	11.1
14*	35.7	21.4	35.7	21.4	7.1
4*	50.0	25.0	50.0	—	—
58	55.2	43.1	25.9	20.7	3.4
36	38.9	36.1	33.3	19.4	11.1

問 1 7 - 5 具体的な県 北陸 (MA)

			北 陸	
全 体			<i>n</i> 387	32.8
地域別	首都圏		193	38.9
	関西圏		194	26.8
年 代 別	20代		71	29.6
	30代		47	38.3
	40代		44	38.6
	50代		89	38.2
	60代		100	31.0
性 別	70代		36	16.7
	男性		175	30.9
	女性		212	34.4
	性・ 年 代 別	男 性	20代	27*
30代			14*	42.9
40代			21*	42.9
50代			34	35.3
60代			60	28.3
70代			19*	10.5
女 性		20代	44	29.5
		30代	33	36.4
		40代	23*	34.8
		50代	55	40.0
		60代	40	35.0
		70代	17*	23.5
ボランティア経験の有無				
ボランティア経験あり		197	35.5	
ボランティア経験なし		190	30.0	

n (サンプル数)の * は、*n* < 30を表す。

	新潟	富山	石川	福井	無回答
<i>n</i>					
127	47.2	43.3	42.5	26.8	3.9
75	45.3	46.7	41.3	29.3	2.7
52	50.0	38.5	44.2	23.1	5.8
21*	76.2	38.1	38.1	28.6	—
18*	61.1	44.4	44.4	22.2	5.6
17*	35.3	52.9	70.6	35.3	5.9
34	50.0	44.1	38.2	26.5	2.9
31	19.4	45.2	32.3	22.6	6.5
6*	66.7	16.7	50.0	33.3	—
54	44.4	51.9	44.4	31.5	3.7
73	49.3	37.0	41.1	23.3	4.1
8*	87.5	62.5	62.5	50.0	—
6*	83.3	33.3	50.0	50.0	—
9*	33.3	55.6	55.6	33.3	11.1
12*	33.3	58.3	25.0	25.0	—
17*	23.5	47.1	35.3	17.6	5.9
2*	50.0	50.0	100.0	50.0	—
13*	69.2	23.1	23.1	15.4	—
12*	50.0	50.0	41.7	8.3	8.3
8*	37.5	50.0	87.5	37.5	—
22*	59.1	36.4	45.5	27.3	4.5
14*	14.3	42.9	28.6	28.6	7.1
4*	75.0	—	25.0	25.0	—
70	45.7	48.6	47.1	31.4	—
57	49.1	36.8	36.8	21.1	8.8

問 1 7 - 6 具体的な県 近畿 (MA)

			近 畿
<i>n</i>			
全 体			387 31.8
地域別	首都圏	193	33.2
	関西圏	194	30.4
年代別	20代	71	29.6
	30代	47	29.8
	40代	44	38.6
	50代	89	33.7
	60代	100	31.0
	70代	36	27.8
性別	男性	175	26.3
	女性	212	36.3
性・年代別	男性	20代	27* 18.5
		30代	14* 21.4
		40代	21* 38.1
		50代	56 32.4
		60代	45 23.3
		70代	32 26.3
	女性	20代	44 36.4
		30代	33 33.3
		40代	23* 39.1
		50代	58 34.5
		60代	45 42.5
		70代	35 29.4
	ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197 33.0
		ボランティア経験なし	190 30.5

n (サンプル数)の * は、*n* < 30を表す。

	京 都	奈 良	和 歌 山	兵 庫	滋 賀	大 阪	無 回 答
<i>n</i>							
123	52.0	38.2	33.3	29.3	23.6	21.1	3.3
64	65.6	45.3	34.4	23.4	21.9	23.4	3.1
59	37.3	30.5	32.2	35.6	25.4	18.6	3.4
21*	76.2	38.1	23.8	38.1	14.3	42.9	4.8
14*	64.3	35.7	35.7	28.6	35.7	28.6	7.1
17*	41.2	29.4	47.1	41.2	23.5	29.4	5.9
30	50.0	36.7	43.3	16.7	23.3	10.0	3.3
31	41.9	38.7	22.6	25.8	25.8	9.7	-
10*	40.0	60.0	30.0	40.0	20.0	20.0	-
46	37.0	45.7	32.6	32.6	23.9	23.9	2.2
77	61.0	33.8	33.8	27.3	23.4	19.5	3.9
5*	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	80.0	-
3*	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	-
8*	12.5	37.5	50.0	37.5	12.5	12.5	12.5
11*	18.2	54.5	9.1	9.1	36.4	45.5	-
14*	28.6	21.4	7.1	35.7	50.0	14.3	-
5*	40.0	40.0	40.0	60.0	60.0	20.0	-
16*	81.3	37.5	25.0	43.8	12.5	31.3	6.3
11*	63.6	27.3	27.3	18.2	36.4	18.2	9.1
9*	66.7	22.2	44.4	44.4	33.3	44.4	-
19*	47.4	36.8	42.1	21.1	26.3	10.5	5.3
17*	58.8	29.4	29.4	17.6	23.5	11.8	-
5*	40.0	60.0	40.0	20.0	-	-	-
65	52.3	41.5	40.0	27.7	26.2	20.0	3.1
58	51.7	34.5	25.9	31.0	20.7	22.4	3.4

問 1 7 - 7 具体的な県 四国 (MA)

			四 国
<i>n</i>			
全 体			387 33.9
地域別	首都圏	193	36.3
	関西圏	194	31.4
年代別	20代	71	45.1
	30代	47	38.3
	40代	44	34.1
	50代	89	39.3
	60代	100	27.0
	70代	36	11.1
性別	男性	175	37.1
	女性	212	31.1
性・年代別	男性	20代	27* 48.1
		30代	14* 71.4
		40代	21* 38.1
		50代	34 50.0
		60代	60 26.7
		70代	19* 5.3
	女性	20代	44 43.2
		30代	33 24.2
		40代	23* 30.4
		50代	55 32.7
		60代	40 27.5
		70代	17* 17.6
	ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197 33.0
		ボランティア経験なし	190 34.7

n (サンプル数)の * は、*n* < 30を表す。

	高 知	愛 媛	香 川	徳 島	無 回 答
<i>n</i>					
131	59.5	49.6	35.1	32.8	6.1
70	68.6	57.1	40.0	34.3	4.3
61	49.2	41.0	29.5	31.1	8.2
32	65.6	56.3	40.6	25.0	3.1
18*	72.2	61.1	38.9	55.6	5.6
15*	66.7	73.3	40.0	33.3	6.7
35	57.1	34.3	34.3	25.7	8.6
27*	48.1	40.7	25.9	40.7	7.4
4*	25.0	50.0	25.0	-	-
65	63.1	50.8	33.8	29.2	7.7
66	56.1	48.5	36.4	36.4	4.5
13*	61.5	53.8	30.8	15.4	7.7
10*	90.0	80.0	60.0	60.0	-
8*	75.0	75.0	50.0	37.5	12.5
17*	47.1	35.3	23.5	17.6	11.8
16*	62.5	37.5	18.8	31.3	6.3
1*	-	-	100.0	-	-
19*	68.4	57.9	47.4	31.6	-
8*	50.0	37.5	12.5	50.0	12.5
7*	57.1	71.4	28.6	28.6	-
18*	66.7	33.3	44.4	33.3	5.6
11*	27.3	45.5	36.4	54.5	9.1
3*	33.3	66.7	-	-	-
65	63.1	46.2	35.4	36.9	4.6
66	56.1	53.0	34.8	28.8	7.6

問 1 7 - 8 具体的な県 中国 (MA)

			<i>n</i>	中 国	
全 体			387	26.9	
地域別	首都圏		193	31.1	
	関西圏		194	22.7	
年 代 別	20代		71	26.8	
	30代		47	29.8	
	40代		44	36.4	
	50代		89	25.8	
	60代		100	26.0	
	70代		36	16.7	
性 別	男性		175	26.9	
	女性		212	26.9	
性・ 年 代 別	男 性	20代		27*	25.9
		30代		14*	35.7
		40代		21*	42.9
		50代		34	26.5
		60代		60	25.0
		70代		19*	10.5
	女 性	20代		44	27.3
		30代		33	27.3
		40代		23*	30.4
		50代		55	25.5
		60代		40	27.5
		70代		17*	23.5
		ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	197
			ボランティア経験なし	190	25.3

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n	鳥 取	広 島	島 根	山 口	岡 山	無 回 答
104	46.2	37.5	34.6	31.7	26.0	4.8
60	51.7	43.3	33.3	28.3	20.0	5.0
44	38.6	29.5	36.4	36.4	34.1	4.5
19*	57.9	63.2	36.8	21.1	26.3	-
14*	57.1	64.3	42.9	35.7	50.0	7.1
16*	43.8	31.3	43.8	37.5	25.0	6.3
23*	52.2	26.1	34.8	39.1	21.7	-
26*	30.8	15.4	23.1	26.9	19.2	11.5
6*	33.3	50.0	33.3	33.3	16.7	-
47	38.3	29.8	40.4	34.0	29.8	6.4
57	52.6	43.9	29.8	29.8	22.8	3.5
7*	57.1	57.1	71.4	28.6	28.6	-
5*	100.0	80.0	60.0	80.0	80.0	-
9*	22.2	33.3	55.6	22.2	33.3	11.1
9*	44.4	11.1	22.2	22.2	11.1	-
15*	20.0	6.7	20.0	33.3	20.0	13.3
2*	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-
12*	58.3	66.7	16.7	16.7	25.0	-
9*	33.3	55.6	33.3	11.1	33.3	11.1
7*	71.4	28.6	28.6	57.1	14.3	-
14*	57.1	35.7	42.9	50.0	28.6	-
11*	45.5	27.3	27.3	18.2	18.2	9.1
4*	50.0	50.0	25.0	25.0	-	-
56	53.6	44.6	39.3	32.1	32.1	3.6
48	37.5	29.2	29.2	31.3	18.8	6.3

問 1 7 - 9 具体的な県 九州 (MA)

			九州		
n					
全 体		387	62.0		
地域別	首都圏	193	64.2		
	関西圏	194	59.8		
年 代 別	20代	71	80.3		
	30代	47	80.9		
	40代	44	77.3		
	50代	89	52.8		
	60代	100	43.0		
性 別	70代	36	58.3		
	男性	175	57.1		
	女性	212	66.0		
性・年 代 別	男 性	20代	27*	70.4	
		30代	14*	78.6	
		40代	21*	81.0	
		50代	34	55.9	
		60代	60	40.0	
		70代	19*	52.6	
	女 性	20代	44	86.4	
		30代	33	81.8	
		40代	23*	73.9	
		50代	55	50.9	
		60代	40	47.5	
		70代	17*	64.7	
	ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	197	58.9
			ボランティア経験なし	190	65.3

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n	沖 縄	鹿 児 島	宮 崎	長 崎	熊 本	大 分	福 岡	佐 賀	無 回 答
240	65.0	40.8	29.6	28.3	19.6	17.1	16.3	10.4	5.0
124	69.4	42.7	33.9	31.5	21.8	16.9	21.8	8.9	4.8
116	60.3	38.8	25.0	25.0	17.2	17.2	10.3	12.1	5.2
57	77.2	42.1	21.1	31.6	21.1	21.1	17.5	8.8	1.8
38	76.3	52.6	26.3	36.8	18.4	15.8	23.7	13.2	2.6
34	82.4	50.0	47.1	38.2	29.4	23.5	20.6	17.6	2.9
47	59.6	34.0	36.2	23.4	12.8	10.6	12.8	8.5	4.3
43	44.2	34.9	25.6	16.3	23.3	9.3	11.6	4.7	11.6
21*	38.1	28.6	23.8	23.8	9.5	28.6	9.5	14.3	9.5
100	63.0	49.0	38.0	25.0	25.0	22.0	18.0	12.0	6.0
140	66.4	35.0	23.6	30.7	15.7	13.6	15.0	9.3	4.3
19*	78.9	57.9	31.6	31.6	31.6	31.6	26.3	15.8	5.3
11*	81.8	90.9	45.5	63.6	45.5	36.4	45.5	36.4	-
17*	82.4	47.1	52.9	35.3	29.4	23.5	17.6	23.5	5.9
19*	52.6	36.8	42.1	5.3	15.8	10.5	15.8	-	5.3
24*	41.7	41.7	29.2	16.7	16.7	12.5	4.2	-	12.5
10*	50.0	30.0	30.0	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	-
38	76.3	34.2	15.8	31.6	15.8	15.8	13.2	5.3	-
27*	74.1	37.0	18.5	25.9	7.4	7.4	14.8	3.7	3.7
17*	82.4	52.9	41.2	41.2	29.4	23.5	23.5	11.8	-
28*	64.3	32.1	32.1	35.7	10.7	10.7	10.7	14.3	3.6
19*	47.4	26.3	21.1	15.8	31.6	5.3	21.1	10.5	10.5
11*	27.3	27.3	18.2	36.4	-	27.3	9.1	18.2	18.2
116	69.0	42.2	32.8	25.0	19.8	14.7	19.0	13.8	1.7
124	61.3	39.5	26.6	31.5	19.4	19.4	13.7	7.3	8.1

問 1 8 「ボランティアホリデー」滞在地域に欲しいもの (MA)

			温泉	自然や動植物	融合活動通じ地域の人のとの	郷土料理が味わえる場所	等跡・文化財・博物館	設地域文化等の体験型施設	農家民宿	祭りなどのイベント	神社・仏閣等	名産品特産品購入場所	スポーツができる場所	釣りのできる場所	観光案内所	その他	無回答	
n			387	59.9	55.8	48.6	40.8	30.0	29.7	26.6	22.2	19.6	16.3	14.0	9.3	4.7	1.0	7.8
全 体			387	59.9	55.8	48.6	40.8	30.0	29.7	26.6	22.2	19.6	16.3	14.0	9.3	4.7	1.0	7.8
地域別	首都圏	193	57.5	59.1	53.4	39.4	33.2	31.6	28.0	24.4	20.2	14.0	15.5	10.4	4.1	1.6	5.7	
	関西圏	194	62.4	52.6	43.8	42.3	26.8	27.8	25.3	20.1	19.1	18.6	12.4	8.2	5.2	0.5	9.8	
年代別	20代	71	69.0	60.6	46.5	47.9	29.6	35.2	31.0	38.0	22.5	25.4	15.5	9.9	8.5	-	2.8	
	30代	47	70.2	59.6	51.1	42.6	21.3	31.9	38.3	27.7	10.6	14.9	29.8	12.8	4.3	4.3	4.3	
	40代	44	63.6	79.5	54.5	56.8	29.5	27.3	25.0	40.9	11.4	18.2	20.5	11.4	6.8	-	2.3	
	50代	89	59.6	55.1	50.6	38.2	34.8	30.3	23.6	15.7	15.7	20.2	12.4	6.7	4.5	-	9.0	
	60代	100	49.0	43.0	45.0	32.0	27.0	27.0	26.0	12.0	28.0	8.0	7.0	8.0	2.0	2.0	13.0	
	70代	36	55.6	50.0	47.2	36.1	38.9	25.0	13.9	5.6	22.2	11.1	5.6	11.1	2.8	-	11.1	
性別	男性	175	55.4	53.1	44.6	37.7	28.6	27.4	23.4	13.7	22.9	9.7	13.7	16.6	1.7	1.7	6.9	
	女性	212	63.7	58.0	51.9	43.4	31.1	31.6	29.2	29.2	17.0	21.7	14.2	3.3	7.1	0.5	8.5	
性・年代別	男性	20代	27*	63.0	55.6	33.3	40.7	29.6	33.3	29.6	14.8	25.9	18.5	25.9	14.8	3.7	-	3.7
		30代	14*	71.4	78.6	57.1	35.7	7.1	14.3	50.0	21.4	7.1	7.1	28.6	7.1	7.1	-	-
		40代	21*	61.9	66.7	47.6	66.7	33.3	28.6	19.0	42.9	14.3	14.3	19.0	19.0	4.8	-	4.8
		50代	34	58.8	61.8	44.1	35.3	38.2	29.4	20.6	8.8	23.5	11.8	14.7	14.7	-	-	5.9
		60代	60	45.0	40.0	46.7	30.0	20.0	26.7	20.0	6.7	25.0	5.0	10.0	13.3	-	3.3	10.0
		70代	19*	52.6	42.1	42.1	31.6	47.4	26.3	15.8	5.3	31.6	5.3	5.3	21.1	-	-	10.5
	女性	20代	44	72.7	63.6	54.5	52.3	29.5	36.4	31.8	52.3	20.5	29.5	9.1	6.8	11.4	-	2.3
		30代	33	69.7	51.5	48.5	45.5	27.3	39.4	33.3	30.3	12.1	18.2	39.4	6.1	3.0	3.0	6.1
		40代	23*	65.2	91.3	60.9	47.8	26.1	26.1	30.4	39.1	8.7	21.7	21.7	4.3	8.7	-	-
		50代	55	60.0	50.9	54.5	40.0	32.7	30.9	25.5	20.0	10.9	25.5	10.9	1.8	7.3	-	10.9
		60代	40	55.0	47.5	42.5	35.0	37.5	27.5	35.0	20.0	32.5	12.5	2.5	-	5.0	-	17.5
		70代	17*	58.8	58.8	52.9	41.2	29.4	23.5	11.8	5.9	11.8	17.6	5.9	-	5.9	-	11.8
ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	197	59.9	57.4	47.2	39.1	28.9	31.0	30.5	22.3	18.3	15.7	12.2	8.6	5.6	0.5	9.1
		ボランティア経験なし	190	60.0	54.2	50.0	42.6	31.1	28.4	22.6	22.1	21.1	16.8	15.8	10.0	3.7	1.6	6.3

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

問 1 9 負担できる一日当たりの費用 (SA)

			<i>n</i>	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～1万5千円未満	1万5千円～2万円未満	2万円以上	無回答	平均値
全 体			387	35.7	42.9	9.0	4.4	0.3	7.8	6.6
地域別	首都圏		193	33.7	45.1	8.8	5.2	0.5	6.7	6.8
	関西圏		194	37.6	40.7	9.3	3.6	－	8.8	6.3
年代別	20代		71	53.5	36.6	4.2	2.8	－	2.8	5.3
	30代		47	61.7	27.7	－	4.3	－	6.4	4.7
	40代		44	47.7	40.9	4.5	4.5	－	2.3	5.8
	50代		89	28.1	55.1	6.7	2.2	－	7.9	6.6
	60代		100	19.0	41.0	21.0	5.0	1.0	13.0	8.4
	70代		36	16.7	52.8	8.3	11.1	－	11.1	8.3
性別	男性		175	31.4	45.1	13.1	2.9	0.6	6.9	6.9
	女性		212	39.2	41.0	5.7	5.7	－	8.5	6.3
性・年代別	男性	20代	27*	51.9	37.0	3.7	3.7	－	3.7	5.4
		30代	14*	64.3	35.7	－	－	－	－	4.3
		40代	21*	42.9	42.9	4.8	4.8	－	4.8	6
		50代	34	29.4	50.0	14.7	－	－	5.9	6.7
		60代	60	16.7	46.7	23.3	1.7	1.7	10.0	8.3
		70代	19*	15.8	52.6	10.5	10.5	－	10.5	8.4
	女性	20代	44	54.5	36.4	4.5	2.3	－	2.3	5.2
		30代	33	60.6	24.2	－	6.1	－	9.1	4.8
		40代	23*	52.2	39.1	4.3	4.3	－	－	5.5
		50代	55	27.3	58.2	1.8	3.6	－	9.1	6.5
		60代	40	22.5	32.5	17.5	10.0	－	17.5	8.4
		70代	17*	17.6	52.9	5.9	11.8	－	11.8	8.2
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	32.5	42.6	8.6	5.6	0.5	10.2	6.9	
	ボランティア経験なし	190	38.9	43.2	9.5	3.2	－	5.3	6.3	

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

問 2 0 往復の交通費（S A）

			<i>n</i>	3 万円 未 満	3 万円 ～ 5 万円 未 満	5 万円 ～ 7 万円 未 満	7 万円 以 上	無 回 答	平 均 値
全 体			387	72.6	16.0	2.3	0.3	8.8	2.5
地域別	首都圏		193	72.5	16.6	2.6	0.5	7.8	2.5
	関西圏		194	72.7	15.5	2.1	－	9.8	2.4
年代別	20代		71	80.3	15.5	1.4	－	2.8	2.4
	30代		47	87.2	6.4	－	－	6.4	2.1
	40代		44	84.1	11.4	2.3	－	2.3	2.3
	50代		89	71.9	19.1	1.1	－	7.9	2.5
	60代		100	61.0	17.0	4.0	1.0	17.0	2.7
	70代		36	58.3	25.0	5.6	－	11.1	2.8
性別	男性		175	70.9	17.1	3.4	0.6	8.0	2.6
	女性		212	74.1	15.1	1.4	－	9.4	2.4
性・年代別	男性	20代	27*	85.2	7.4	3.7	－	3.7	2.3
		30代	14*	85.7	14.3	－	－	－	2.3
		40代	21*	81.0	14.3	－	－	4.8	2.3
		50代	34	76.5	17.6	－	－	5.9	2.4
		60代	60	60.0	18.3	6.7	1.7	13.3	2.8
		70代	19*	52.6	31.6	5.3	－	10.5	2.9
	女性	20代	44	77.3	20.5	－	－	2.3	2.4
		30代	33	87.9	3.0	－	－	9.1	2.1
		40代	23*	87.0	8.7	4.3	－	－	2.3
		50代	55	69.1	20.0	1.8	－	9.1	2.5
		60代	40	62.5	15.0	－	－	22.5	2.4
		70代	17*	64.7	17.6	5.9	－	11.8	2.7
ボランティア 経験の有無	ボランティア経験あり		197	72.1	15.7	2.0	－	10.2	2.4
	ボランティア経験なし		190	73.2	16.3	2.6	0.5	7.4	2.5

n (サンプル数)の * は、*n* < 30を表す。

※平均値の単位：万円

問 2 1 希望する宿泊施設（M A）

			<i>n</i>	公 的 な 宿 泊 施 設	テ ル 民 国 民 宿 舎 、 ユ ー ス ホ ス	民 家 （ ホ ー ム ス テ イ ）	旅 館	自 炊 で き る ア パ ー ト 等	ホ テ ル	そ の 他	無 回 答
全 体			387	48.3	48.1	41.6	25.8	23.0	20.2	1.0	7.8
地域別	首都圏		193	49.7	46.1	40.9	27.5	26.9	20.2	1.0	6.7
	関西圏		194	46.9	50.0	42.3	24.2	19.1	20.1	1.0	8.8
年 代 別	20代		71	46.5	42.3	47.9	43.7	33.8	32.4	1.4	2.8
	30代		47	53.2	46.8	51.1	21.3	29.8	25.5	2.1	6.4
	40代		44	63.6	59.1	47.7	29.5	31.8	31.8	－	2.3
	50代		89	46.1	43.8	39.3	24.7	20.2	18.0	2.2	7.9
	60代		100	44.0	46.0	35.0	17.0	13.0	11.0	－	13.0
	70代		36	44.4	63.9	33.3	19.4	16.7	5.6	－	11.1
性 別	男性		175	47.4	44.6	45.1	26.3	22.3	15.4	2.3	6.9
	女性		212	49.1	50.9	38.7	25.5	23.6	24.1	－	8.5
性・ 年 代 別	男 性	20代	27*	51.9	48.1	51.9	55.6	33.3	25.9	3.7	3.7
		30代	14*	42.9	35.7	78.6	28.6	42.9	28.6	7.1	－
		40代	21*	52.4	42.9	52.4	23.8	19.0	33.3	－	4.8
		50代	34	52.9	35.3	41.2	32.4	26.5	8.8	5.9	5.9
		60代	60	43.3	46.7	33.3	13.3	13.3	8.3	－	10.0
		70代	19*	42.1	57.9	47.4	15.8	15.8	5.3	－	10.5
	女 性	20代	44	43.2	38.6	45.5	36.4	34.1	36.4	－	2.3
		30代	33	57.6	51.5	39.4	18.2	24.2	24.2	－	9.1
		40代	23*	73.9	73.9	43.5	34.8	43.5	30.4	－	－
		50代	55	41.8	49.1	38.2	20.0	16.4	23.6	－	9.1
		60代	40	45.0	45.0	37.5	22.5	12.5	15.0	－	17.5
		70代	17*	47.1	70.6	17.6	23.5	17.6	5.9	－	11.8
ボランティア経験の有無											
ボランティア経験あり		197	46.7	49.2	42.1	23.4	22.8	17.8	0.5	9.6	
ボランティア経験なし		190	50.0	46.8	41.1	28.4	23.2	22.6	1.6	5.8	

n (サンプル数)の * は、*n* < 30を表す。

問 2 3 滞在地で行いたいボランティア活動 (MA)

		<i>n</i>	農 作 業 手 伝 い	体 験 型 観 光 の 手 伝 い	動 手 伝 い 祭 儀 等 地 域 活 動	役 場 や 公 共 施 設 の 手 伝 い	観 光 案 内 所 等 の 手 伝 い	酪 農 手 伝 い	野 生 植 物 の 保 護	特 産 品 の 加 工 作 業	草 刈 、 清 掃 、 雪 か き	野 生 動 物 の 保 護	特 産 品 の 販 売	漁 業 手 伝 い	林 業 手 伝 い	伝 い ス ポ ー ツ に 関 する 手 伝 い	そ の 他	無 回 答	
全 体			387	52.2	40.1	34.6	30.5	29.5	28.2	26.1	24.3	24.0	23.0	22.5	18.1	16.8	12.4	0.5	8.3
地域別	首都圏	193	55.4	42.0	35.2	33.2	28.0	29.0	27.5	29.0	25.9	23.3	22.8	19.7	21.2	13.0	-	7.3	
	関西圏	194	49.0	38.1	34.0	27.8	30.9	27.3	24.7	19.6	22.2	22.7	22.2	16.5	12.4	11.9	1.0	9.3	
年代別	20代	71	69.0	46.5	39.4	25.4	45.1	45.1	31.0	23.9	28.2	38.0	22.5	29.6	25.4	25.4	-	4.2	
	30代	47	68.1	42.6	42.6	17.0	27.7	48.9	34.0	29.8	31.9	34.0	27.7	29.8	25.5	25.5	2.1	6.4	
	40代	44	59.1	52.3	45.5	31.8	38.6	31.8	18.2	25.0	31.8	27.3	11.4	18.2	22.7	25.0	-	4.5	
	50代	89	50.6	41.6	37.1	36.0	29.2	25.8	23.6	28.1	20.2	21.3	25.8	14.6	11.2	4.5	-	7.9	
	60代	100	35.0	33.0	26.0	37.0	17.0	12.0	25.0	20.0	18.0	12.0	21.0	11.0	11.0	3.0	1.0	13.0	
	70代	36	41.7	25.0	19.4	25.0	25.0	13.9	25.0	19.4	22.2	8.3	25.0	8.3	11.1	-	-	11.1	
性別	男性	175	51.4	32.6	30.3	25.1	24.0	28.0	26.9	19.4	24.0	24.6	13.1	27.4	24.0	14.9	0.6	8.0	
	女性	212	52.8	46.2	38.2	34.9	34.0	28.3	25.5	28.3	24.1	21.7	30.2	10.4	10.8	10.4	0.5	8.5	
性・年代別	男性	20代	27*	70.4	40.7	25.9	18.5	33.3	37.0	33.3	14.8	40.7	33.3	14.8	40.7	37.0	29.6	-	7.4
		30代	14*	64.3	42.9	35.7	14.3	35.7	64.3	50.0	42.9	35.7	42.9	35.7	50.0	42.9	35.7	-	-
		40代	21*	52.4	38.1	47.6	23.8	33.3	33.3	19.0	19.0	28.6	-	33.3	23.8	38.1	-	9.5	
		50代	34	64.7	38.2	32.4	20.6	17.6	32.4	20.6	26.5	17.6	32.4	8.8	32.4	20.6	5.9	-	5.9
		60代	60	35.0	25.0	28.3	35.0	16.7	15.0	25.0	13.3	18.3	15.0	15.0	15.0	16.7	5.0	1.7	10.0
		70代	19*	42.1	21.1	15.8	21.1	26.3	15.8	26.3	15.8	26.3	10.5	10.5	15.8	21.1	-	-	10.5
	女性	20代	44	68.2	50.0	47.7	29.5	52.3	50.0	29.5	29.5	20.5	40.9	27.3	22.7	18.2	22.7	-	2.3
		30代	33	69.7	42.4	45.5	18.2	24.2	42.4	27.3	24.2	30.3	30.3	24.2	21.2	18.2	21.2	3.0	9.1
		40代	23*	65.2	65.2	43.5	39.1	43.5	30.4	17.4	30.4	43.5	26.1	21.7	4.3	21.7	13.0	-	-
		50代	55	41.8	43.6	40.0	45.5	36.4	21.8	25.5	29.1	21.8	14.5	36.4	3.6	5.5	3.6	-	9.1
		60代	40	35.0	45.0	22.5	40.0	17.5	7.5	25.0	30.0	17.5	7.5	30.0	5.0	2.5	-	-	17.5
		70代	17*	41.2	29.4	23.5	29.4	23.5	11.8	23.5	23.5	17.6	5.9	41.2	-	-	-	-	11.8
ボランティア 経験の有無	ボランティア経験あり	197	49.2	40.1	37.1	29.4	31.5	27.9	26.9	24.9	23.9	23.4	24.9	21.3	18.8	10.7	-	10.2	
	ボランティア経験なし	190	55.3	40.0	32.1	31.6	27.4	28.4	25.3	23.7	24.2	22.6	20.0	14.7	14.7	14.2	1.1	6.3	

n (有効回答数)の * は、*n* < 30を表す。

n (サンプル数)の * は、*n* < 30を表す。

問 2 4 提供できるボランティア内容 (MA)

			<i>n</i>	軽作業	話し相手	体を動かした作業	町づくり・イベント等手伝	接客	調理支援	保育支援	介護支援	バスコン指導	スポーツ指導	音楽指導	美術指導	ホームページ作成・更新	通訳	散髪	ネーチャーガイド	手話	ライフセーバー	医療活動	弁護士等の法律や税務関連	その他	特になし	無回答	
全 体			387	62.8	56.8	54.5	41.3	35.1	28.7	22.0	16.8	10.6	8.5	4.4	3.4	2.8	2.3	1.6	1.3	1.0	0.8	0.5	-	3.4	2.1	7.5	
地域別	首都圏		193	65.3	54.9	61.1	44.0	36.3	30.1	23.8	19.7	12.4	8.3	5.2	4.1	2.6	2.6	0.5	1.6	0.5	1.0	0.5	-	5.2	1.6	6.2	
	関西圏		194	60.3	58.8	47.9	38.7	34.0	27.3	20.1	13.9	8.8	8.8	3.6	2.6	3.1	2.6	1.0	1.5	0.5	0.5	-	1.5	2.6	8.8		
年代別	20代		71	67.6	64.8	80.3	52.1	49.3	32.4	26.8	14.1	16.9	9.9	5.6	2.8	8.5	2.8	2.8	-	2.8	1.4	1.4	-	2.8	-	2.8	
	30代		47	63.8	63.8	68.1	48.9	40.4	29.8	27.7	14.9	14.9	8.5	4.3	2.1	2.1	4.3	2.1	2.1	2.1	-	-	-	2.1	2.1	6.4	
	40代		44	68.2	77.3	70.5	63.6	38.6	31.8	36.4	20.5	18.2	15.9	6.8	4.5	2.3	4.5	-	4.5	2.3	2.3	-	-	4.5	2.3	2.3	
	50代		89	65.2	59.6	47.2	33.7	33.7	36.0	21.3	19.1	9.0	9.0	2.2	3.4	2.2	2.2	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1	6.7	
	60代		100	56.0	43.0	37.0	32.0	28.0	21.0	14.0	17.0	4.0	4.0	4.0	5.0	1.0	-	3.0	2.0	2.0	-	1.0	1.0	-	7.0	13.0	
	70代		36	58.3	38.9	33.3	27.8	19.4	19.4	11.1	13.9	5.6	8.3	5.6	-	-	2.8	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1
性別	男性		175	64.6	42.3	61.1	37.1	26.3	11.4	6.9	5.7	16.0	12.6	2.9	3.4	3.4	2.3	0.6	2.9	0.6	1.7	-	-	2.9	3.4	6.3	
	女性		212	61.3	68.9	49.1	44.8	42.5	42.9	34.4	25.9	6.1	5.2	5.7	3.3	2.4	2.4	2.4	-	1.4	-	0.9	-	3.8	0.9	8.5	
性・年代別	男性	20代	27*	70.4	55.6	81.5	29.6	37.0	22.2	11.1	7.4	22.2	11.1	3.7	-	7.4	-	-	-	3.7	3.7	-	-	-	-	-	3.7
		30代	14*	64.3	64.3	92.9	50.0	21.4	-	7.1	7.1	28.6	14.3	7.1	-	7.1	7.1	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-
		40代	21*	61.9	66.7	71.4	61.9	28.6	14.3	9.5	4.8	28.6	19.0	-	4.8	4.8	4.8	-	9.5	-	4.8	-	-	-	-	4.8	4.8
		50代	34	67.6	50.0	58.8	26.5	23.5	14.7	11.8	5.9	17.6	17.6	-	2.9	2.9	2.9	2.9	-	-	-	-	-	-	-	2.9	
		60代	60	65.0	26.7	48.3	36.7	25.0	8.3	3.3	6.7	6.7	6.7	5.0	6.7	1.7	-	5.0	1.7	3.3	-	1.7	-	-	8.3	10.0	
		70代	19*	52.6	15.8	42.1	31.6	21.1	5.3	-	-	10.5	15.8	-	-	-	-	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	-	10.5
	女性	20代	44	65.9	70.5	79.5	65.9	56.8	38.6	36.4	18.2	13.6	9.1	6.8	4.5	9.1	4.5	4.5	-	2.3	-	2.3	-	4.5	-	2.3	
		30代	33	63.6	63.6	57.6	48.5	48.5	42.4	36.4	18.2	9.1	6.1	3.0	3.0	-	3.0	3.0	-	3.0	-	-	-	-	3.0	3.0	9.1
		40代	23*	73.9	87.0	69.6	65.2	47.8	47.8	60.9	34.8	8.7	13.0	13.0	4.3	-	4.3	-	4.3	-	-	-	-	-	8.7	-	-
		50代	55	63.6	65.5	40.0	38.2	40.0	49.1	27.3	27.3	3.6	3.6	3.6	3.6	1.8	1.8	1.8	1.8	-	-	-	-	-	1.8	9.1	
		60代	40	42.5	67.5	20.0	25.0	32.5	40.0	30.0	32.5	-	-	2.5	2.5	-	-	2.5	-	-	-	-	2.5	-	5.0	17.5	
		70代	17*	64.7	64.7	23.5	23.5	17.6	35.3	23.5	29.4	-	-	11.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.8
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	57.4	61.9	53.8	41.1	36.5	36.5	26.9	22.8	9.6	12.7	7.1	3.6	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.0	0.5	-	2.5	1.5	9.1		
	ボランティア経験なし	190	68.4	51.6	55.3	41.6	33.7	20.5	16.8	10.5	11.6	4.2	1.6	3.2	3.2	2.1	0.5	1.1	0.5	0.5	0.5	-	4.2	2.6	5.8		

n (サンプル数)の * は、*n* < 30を表す。

問 2 5 「ボランティアホリデー」を体験したくない理由（MA）

			n	休みがとれないから	健康・体力に自信がない	金銭的余裕がないから	留守中家族の世話人いない	留守中家族の世話人いない	地方圏に行く機会他に十分有	仕組みに興味がない	留守中ペット預ける人なし	高齢・障害等で移動に不安	家族と一緒に休みとれない	一緒に行く人がいない	計画や準備をするのが面倒	ボランティアやりたくない	地方圏に興味がないから	行きたい観光地、施設ない	海外旅行の方が好きだから	旅行は好きではないから	その他	無回答
全 体			634	37.1	30.4	23.8	21.8	20.0	16.4	13.7	13.6	10.4	8.8	8.5	4.7	4.4	3.8	3.0	2.2	6.5	4.1	
地域別	首都圏		341	37.2	32.3	24.3	22.0	19.1	17.3	16.4	13.5	11.4	9.4	9.1	3.8	5.3	2.9	4.7	2.1	7.6	3.5	
	関西圏		293	36.9	28.3	23.2	21.5	21.2	15.4	10.6	13.7	9.2	8.2	7.8	5.8	3.4	4.8	1.0	2.4	5.1	4.8	
年代別	20代		100	54.0	12.0	32.0	11.0	12.0	24.0	8.0	2.0	7.0	12.0	16.0	10.0	9.0	3.0	2.0	7.0	12.0	4.0	
	30代		75	66.7	12.0	38.7	26.7	10.7	29.3	9.3	-	16.0	6.7	8.0	9.3	4.0	4.0	1.3	2.7	6.7	1.3	
	40代		63	57.1	11.1	33.3	27.0	14.3	30.2	17.5	1.6	9.5	3.2	6.3	4.8	1.6	7.9	-	-	4.8	7.9	
	50代		124	45.2	25.0	23.4	33.1	23.4	15.3	18.5	1.6	17.7	7.3	6.5	4.8	3.2	5.6	5.6	1.6	3.2	2.4	
	60代		172	19.2	44.2	18.0	20.9	27.3	9.9	13.4	19.2	8.7	10.5	9.9	7.0	1.7	2.9	4.1	5.2	5.8	1.2	
	70代		100	6.0	58.0	9.0	13.0	22.0	3.0	15.0	48.0	4.0	10.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	-	
性別	男性		325	44.6	27.4	26.8	8.3	20.3	17.8	11.4	17.5	9.5	6.8	8.9	6.8	4.6	4.9	2.5	3.1	5.2	4.6	
	女性		309	29.1	33.7	20.7	35.9	19.7	14.9	16.2	9.4	11.3	11.0	8.1	2.6	4.2	2.6	3.6	1.3	7.8	3.6	
性・年代別	男性	20代	48	68.8	4.2	31.3	4.2	8.3	31.3	6.3	2.1	-	10.4	18.8	14.6	6.3	4.2	2.1	10.4	8.3	4.2	
		30代	44	81.8	6.8	40.9	11.4	11.4	25.0	9.1	-	20.5	6.8	4.5	11.4	6.8	6.8	2.3	4.5	4.5	2.3	
		40代	35	68.6	2.9	37.1	11.4	14.3	42.9	8.6	2.9	11.4	2.9	-	8.6	2.9	8.6	-	-	5.7	2.9	
		50代	47	57.4	12.8	25.5	8.5	23.4	14.9	19.1	2.1	10.6	12.8	6.4	6.4	6.4	-	2.1	2.1	5.6	10.6	
		60代	90	22.2	41.1	25.6	10.0	33.3	11.1	12.2	18.9	13.3	41.1	14.4	2.2	4.4	7.8	5.6	2.2	4.9	4.4	
		70代	61	8.2	65.6	9.8	4.9	18.0	-	11.5	60.7	1.6	65.6	3.3	3.3	1.6	1.6	-	-	15.4	3.3	
	女性	20代	52	40.4	19.2	32.7	17.3	15.4	17.3	9.6	1.9	13.5	13.5	13.5	5.8	11.5	1.9	1.9	3.8	15.4	3.8	
		30代	31	45.2	19.4	35.5	48.4	9.7	35.5	9.7	-	9.7	6.5	12.9	6.5	-	-	-	-	9.7	-	
		40代	28*	42.9	21.4	28.6	46.4	14.3	14.3	28.6	-	7.1	3.6	14.3	-	-	7.1	-	-	3.6	14.3	
		50代	77	37.7	32.5	22.1	48.1	23.4	15.6	18.2	1.3	22.1	32.5	6.5	1.3	5.2	2.6	3.9	2.6	6.5	2.6	
	60代	82	15.9	47.6	9.8	32.9	20.7	8.5	14.6	19.5	3.7	47.6	4.9	1.2	1.2	2.4	6.1	-	8.5	3.7		
	70代	39	2.6	46.2	7.7	25.6	28.2	7.7	20.5	28.2	7.7	46.2	2.6	2.6	5.1	2.6	5.1	-	-	-		
ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	232	37.1	30.2	19.0	22.8	26.3	16.4	10.8	11.6	10.8	7.3	5.2	0.9	4.3	4.3	3.4	2.6	9.9	5.2	
		ボランティア経験なし	402	37.1	30.6	26.6	21.1	16.4	16.4	15.4	14.7	10.2	9.7	10.4	7.0	4.5	3.5	2.7	2.0	4.5	3.5	

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)の * は、n < 30を表す。

問 2 7 将来の地方圏への定住についての関心度（SA）

「大変関心がある」＝5、「やや関心がある」＝4、～「まったく関心がない」＝1として平均値を算出

			<i>n</i>	大変関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答	平均値
全 体			1021	7.2	21.4	26.0	25.9	16.1	3.5	2.8
地域別	首都圏		534	7.3	22.3	25.1	25.1	17.0	3.2	2.8
	関西圏		487	7.2	20.3	26.9	26.7	15.0	3.9	2.8
年代別	20代		171	6.4	24.6	26.3	26.9	12.9	2.9	2.8
	30代		122	12.3	31.1	30.3	20.5	4.1	1.6	3.3
	40代		107	7.5	25.2	29.0	21.5	12.1	4.7	2.9
	50代		213	8.9	24.4	26.3	22.1	14.6	3.8	2.9
	60代		272	5.1	17.3	24.6	29.8	20.2	2.9	2.6
	70代		136	5.1	8.8	21.3	30.9	27.9	5.9	2.3
性別	男性		500	8.8	21.8	24.0	26.4	14.8	4.2	2.8
	女性		521	5.8	20.9	27.8	25.3	17.3	2.9	2.7
性・年代別	男性	20代	75	5.3	20.0	26.7	32.0	12.0	4.0	2.7
		30代	58	15.5	31.0	27.6	19.0	5.2	1.7	3.3
		40代	56	8.9	25.0	26.8	19.6	10.7	8.9	3.0
		50代	81	14.8	30.9	22.2	14.8	16.0	1.2	3.1
		60代	150	6.7	22.0	21.3	32.7	13.3	4.0	2.8
		70代	80	5.0	5.0	23.8	31.3	28.8	6.3	2.2
	女性	20代	96	7.3	28.1	26.0	22.9	13.5	2.1	2.9
		30代	64	9.4	31.3	32.8	21.9	3.1	1.6	3.2
		40代	51	5.9	25.5	31.4	23.5	13.7	-	2.9
		50代	132	5.3	20.5	28.8	26.5	13.6	5.3	2.8
		60代	122	3.3	11.5	28.7	26.2	28.7	1.6	2.3
		70代	56	5.4	14.3	17.9	30.4	26.8	5.4	2.4
ボランティア経験の有無										
ボランティア経験あり		429	8.2	23.5	25.9	24.9	14.0	3.5	2.9	
ボランティア経験なし		592	6.6	19.8	26.0	26.5	17.6	3.5	2.7	

n(サンプル数)の * は、n < 30を表す。

問 2 8 地方圏への定住時期（S A）

			n	今 す ぐ	1 3 年 未 満	3 5 年 未 満	5 1 0 年 未 満	1 0 年 後 以 降	わ か ら な い	無 回 答	平 均 値	
全 体			292	1.0	2.7	6.2	14.4	36.0	39.4	0.3	9.8	
地域別	首都圏	158	1.3	1.3	7.0	15.8	40.5	34.2	-	-	10.0	
	関西圏	134	0.7	4.5	5.2	12.7	30.6	45.5	0.7	-	9.5	
年代別	20代	53	1.9	1.9	-	9.4	43.4	43.4	-	-	10.9	
	30代	53	-	1.9	-	1.9	47.2	49.1	-	-	11.9	
	40代	35	-	-	-	2.9	60.0	37.1	-	-	12.3	
	50代	71	1.4	4.2	4.2	23.9	40.8	25.4	-	-	9.6	
	60代	61	1.6	3.3	19.7	24.6	11.5	39.3	-	-	6.8	
	70代	19*	-	5.3	15.8	15.8	-	57.9	5.3	-	5.2	
性別	男性	153	0.7	3.3	9.2	15.7	32.0	38.6	0.7	-	9.2	
	女性	139	1.4	2.2	2.9	12.9	40.3	40.3	-	-	10.3	
性・年代別	男性	20代	19*	-	-	-	-	31.6	68.4	-	-	12.5
		30代	27*	-	3.7	-	3.7	48.1	44.4	-	-	11.5
		40代	19*	-	-	-	5.3	57.9	36.8	-	-	12.1
		50代	37	-	8.1	5.4	27.0	37.8	21.6	-	-	9.1
		60代	43	2.3	2.3	23.3	25.6	11.6	34.9	-	-	6.7
		70代	8*	-	-	25.0	12.5	-	50.0	12.5	-	5.2
		8*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性	20代	34	2.9	2.9	-	14.7	50.0	29.4	-	-	10.5
		30代	26*	-	-	-	-	46.2	53.8	-	-	12.5
		40代	16*	-	-	-	-	62.5	37.5	-	-	12.5
		50代	34	2.9	-	2.9	20.6	44.1	29.4	-	-	10.2
		60代	18*	-	5.6	11.1	22.2	11.1	50.0	-	-	7.2
		70代	11*	-	9.1	9.1	18.2	-	63.6	-	-	5.3
		11*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	136	0.7	1.5	5.9	16.9	39.0	36.0	-	10.0	
		ボランティア経験なし	156	1.3	3.8	6.4	12.2	33.3	42.3	0.6	9.5	

n(サンプル数)の * は、n < 30を表す。

問 2 9 地方圏への定住を考える理由（MA）

			<i>n</i>	が ゆ つ た り し た 生 活	お き き れ い で 水 が	た い 自 然 の 中 で 暮 ら し	野 菜 な ど を つ く つ	食 べ 物 が お い し い	が 広 い 家 に 住 む こ と	生 活 費 が 安 く す む	自 分 や 家 族 の 健 康 の た め	で ま わ り の 人 が 親 切 で 気 さ く	地 方 圏 の 人 が 住 み やす い	子 供 を 自 然 の 中 で 育 て た い	そ の 他	無 回 答	
全 体			292	63.0	59.2	58.6	37.0	27.1	23.6	23.3	22.3	21.6	20.9	13.0	2.7	12.0	
地域別	首都圏		158	65.8	58.9	53.8	34.8	30.4	19.0	22.8	22.2	21.5	17.7	12.0	3.2	12.0	
	関西圏		134	59.7	59.7	64.2	39.6	23.1	29.1	23.9	22.4	21.6	24.6	14.2	2.2	11.9	
年代別	20代		53	67.9	69.8	50.9	35.8	35.8	37.7	24.5	22.6	26.4	32.1	35.8	1.9	7.5	
	30代		53	66.0	67.9	60.4	24.5	35.8	28.3	30.2	28.3	26.4	22.6	22.6	1.9	3.8	
	40代		35	82.9	48.6	68.6	40.0	20.0	28.6	17.1	17.1	14.3	17.1	8.6	5.7	2.9	
	50代		71	56.3	52.1	54.9	33.8	23.9	16.9	19.7	16.9	15.5	14.1	1.4	4.2	22.5	
	60代		61	54.1	55.7	60.7	45.9	21.3	16.4	23.0	26.2	23.0	19.7	3.3	-	13.1	
	70代		19*	57.9	63.2	63.2	52.6	21.1	10.5	26.3	21.1	26.3	21.1	5.3	5.3	21.1	
性別	男性		153	62.1	57.5	63.4	37.9	27.5	21.6	23.5	22.2	19.6	20.3	9.8	2.0	11.8	
	女性		139	64.0	61.2	53.2	36.0	26.6	25.9	23.0	22.3	23.7	21.6	16.5	3.6	12.2	
性・年代別	男性	20代	19*	63.2	73.7	57.9	36.8	36.8	31.6	10.5	36.8	31.6	36.8	-	10.5	-	
		30代	27*	66.7	70.4	66.7	22.2	48.1	29.6	29.6	29.6	18.5	22.2	18.5	-	-	-
		40代	19*	84.2	47.4	73.7	42.1	26.3	36.8	15.8	31.6	21.1	15.8	10.5	5.3	-	-
		50代	37	56.8	54.1	59.5	29.7	27.0	18.9	27.0	8.1	18.9	16.2	-	2.7	21.6	-
		60代	43	53.5	48.8	60.5	48.8	14.0	9.3	20.9	30.2	14.0	20.9	2.3	-	14.0	-
		70代	8*	62.5	62.5	75.0	62.5	12.5	-	-	25.0	12.5	12.5	-	12.5	25.0	-
	女性	20代	34	70.6	67.6	47.1	35.3	35.3	38.2	20.6	29.4	20.6	32.4	35.3	2.9	5.9	-
		30代	26*	65.4	65.4	53.8	26.9	23.1	26.9	30.8	26.9	34.6	23.1	26.9	3.8	7.7	-
		40代	16*	81.3	50.0	62.5	37.5	12.5	18.8	18.8	-	6.3	18.8	6.3	6.3	6.3	-
		50代	34	55.9	50.0	50.0	38.2	20.6	14.7	11.8	26.5	11.8	11.8	2.9	5.9	23.5	-
		60代	18*	55.6	72.2	61.1	38.9	38.9	33.3	27.8	16.7	44.4	16.7	5.6	-	11.1	-
		70代	11*	54.5	63.6	54.5	45.5	27.3	18.2	45.5	18.2	36.4	27.3	9.1	-	18.2	-
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり		136	59.6	59.6	54.4	35.3	27.9	21.3	25.0	17.6	24.3	20.6	11.0	3.7	13.2	
	ボランティア経験なし		156	66.0	59.0	62.2	38.5	26.3	25.6	21.8	26.3	19.2	21.2	14.7	1.9	10.9	

n(サンプル数)の * は、n < 30を表す。

6. 大都市住民に向けたニーズ調査アンケート自由回答

(1) 問26の自由回答

性別	住居エリア	内 容
男	首都圏	・地元の人との接点がたくさんあるような行事があると良いと思う。
男	首都圏	あまり参加したくない。
男	首都圏	名前が良くないのか？
男	首都圏	生活の保障がされている。
男	首都圏	職場で参加を認めてくれる。
男	首都圏	住む家を一人部屋にして欲しい。
男	首都圏	老人介護以外なら少し考える。
男	首都圏	老人ができないことをしてあげられるようなことをする。
男	首都圏	具体的なヴィジョンではない。
男	首都圏	ボランティアの意味がよくわからないのです。田舎は好きです。労働もいといません。
男	首都圏	公的宿泊施設を利用しながら、生の音楽演奏と音楽のレクチャーを通じて地域の住民と交流するようなもの。
男	首都圏	触れ合いを大切にして楽しくやっていきたい。
男	関西圏	農作業
男	関西圏	ボランティア活動をしっかりするかわりに、その地方で充分に楽しめる時間がある事。
男	関西圏	なるべくお金がかからないもの。
男	関西圏	いろんな人と出会えるようなもの。
男	関西圏	話し相手
男	関西圏	パソコン指導。
男	関西圏	家庭教師の体験(授業)。
男	関西圏	その地方ならではの料理や仕事にたずさわるプログラム。
男	関西圏	健康面や精神面にダメージを与えないような環境作り。
男	関西圏	参加しない。
男	関西圏	農作業を手伝う。
男	関西圏	料金が無料になる。
女	首都圏	ボランティアホリデーを説明している文にもあるように、どこかを旅行して楽しかったね、また行きたいね、という感想ではなく、この仕事はこういうところが大変なんだとか、あるいはその地域のイベントに詳しくなったりするなど、新しいことを学びたい。
女	首都圏	泊まる場所が自由。
女	首都圏	誰でも参加しやすい、企画・プランを作って欲しい。
女	首都圏	その地域の良さが、旅行よりも深く知る事ができるもの。
女	首都圏	その土地を感じられるボランティア内容を期待します。
女	首都圏	田舎ならではの生活を体験できるもの。
女	首都圏	あまり疲れないこと。
女	首都圏	宿泊地がホテル。
女	首都圏	3食付き。
女	首都圏	特に思い浮かばない。
女	関西圏	地方でしか味わえない特産物を食べてみたい!!
女	関西圏	普段の生活では体験できないもの。
女	関西圏	羊の毛を刈る。
女	関西圏	お花を摘む。
女	関西圏	花壇作り。
女	関西圏	庭を造る。
女	関西圏	そうじ
女	関西圏	地方特有の産業やイベントなどの手伝い。
女	関西圏	あまりしんどくない活動で、楽しいボランティア。
女	関西圏	内容(ボランティア自体)が、そこでしかできないものであること。
女	関西圏	ある程度、自由な時間がとれること。
女	関西圏	ボランティア以外に何か興味のもてるものがその地にあること。
女	関西圏	多くの人と知り合えること。
女	関西圏	酪農体験・牛の世話をしチーズ作りをしてみたい。
女	関西圏	葡萄農園で農業のお手伝いをして、ワイン作りをしてみたい。
女	関西圏	森林や国定公園、山林でごみ拾いなどのクリーン活動をしてみたい。
女	関西圏	農業を手伝ってその地方の特産品を安く手に入れる。
女	関西圏	滞在先の環境。
女	関西圏	普段できないことをしてみたいです(色々な人とコミュニケーションを取ったり、農作業を体験したり、動物や植物と触れ合ったり)。自然が豊かでのんびりした所ならなお良いです。
女	関西圏	人との触れ合い。
女	関西圏	普段はできないような作業や経験。
女	関西圏	販売がしたい。
男	首都圏	心に残るもの。
男	首都圏	1. 田舎で日中は農作業の手伝い、夜は温泉に入る。
男	首都圏	友人がたくさんできること。
男	首都圏	普段とは違う体験。
男	首都圏	生活を通して、人間的に成長できる事。
男	首都圏	福祉
男	首都圏	・温泉施設の手伝い。
男	首都圏	・スキー場の手伝い。
男	首都圏	その土地の人々の交流。
男	首都圏	その土地の食文化。

性別	住居エリア	内 容
男	首都圏	会社員でも参加できるような仕組み。ex. ボランティア活動を会社として認めてくれるなど。
男	首都圏	参加しない。
男	首都圏	その土地の人々とのコミュニケーション。
男	首都圏	馬や牛の世話などをやってみたいです。
男	首都圏	災害の復興などの手伝い。
男	首都圏	地元の人達が快く受け入れてくれること。
男	首都圏	ボランティアと個人的な旅行を同時に経験できるのは便利だが、責任を持ってボランティアに参加できる環境があることが望ましい。遊び半分で仕事をしているように思われるのは、かえって迷惑になると思うので、それなりの責任のあるボランティア内容を体験できればと思う。
男	首都圏	参加する予定はない。
男	首都圏	農作業の手伝い。
男	首都圏	低料金
男	首都圏	楽しみたい。
男	首都圏	地域の人と将来に渡って仲良くできれば。
男	首都圏	帰りたいと思うような人と人とのコミュニケーション。
男	首都圏	いまいちボランティアというものがわからない。漠然としているので気持ち、意欲は湧かないし、イメージが具体的にできない。もし行ったらしたらあらゆる人との交流がメリットと思うが、ボランティアって期待したり要望してやるものだったのか？わからない。
男	関西圏	やりたくないで、思いつかない。
男	関西圏	田植えなどの農作業。
男	関西圏	行って良かったと思えるやりがいのあるお手伝いできればいいです。
男	関西圏	老人介護
男	関西圏	山林の保護活動。
男	関西圏	色々な人々との出会いへの期待感。
男	関西圏	もしかするとその地に移住したくなる期待感。
男	関西圏	・現在の仕事を生かした建築関係に関することをしたい。
男	関西圏	・会社の公のボランティアホリデー専用の休日が取れば参加できるので、社会全体で、そういう休日を決めたらいいと思う。
男	関西圏	地方の暮らし。
男	関西圏	平日は仕事をしているので、休日で要望したい。
男	関西圏	都会では味わえない地方ならではの充実した一日が過ごせれば良いと思います。
男	関西圏	長期間を生かして、大きな実績が残る活動にして欲しい。
男	関西圏	一人になれる時間があり、費用ができる限り安いこと。
男	関西圏	動機先の理解。
男	関西圏	いい環境で毎日楽しく日々を過ごせたら。
男	関西圏	地域の人達と触れ合いたい。
男	関西圏	地域、環境に役立つことをしたい。
男	関西圏	参加するならばそこにしかないもの、そこでしか体験できないものをしてみたい。
男	関西圏	観光施設のゴミ拾い。ゴミを拾いながら自然を満喫したりとか。
男	関西圏	金銭拝受
女	首都圏	・地域の人と一緒に活動ができること。
女	首都圏	・参加者同士で、情報交換などをする場があること。
女	首都圏	もし参加するならば、寝る時とかは個室で1人で寝たいです。
女	首都圏	ボランティアをしていますが、あいた時間や休める日があれば、その地域ごとに(全国どこでも)ボランティアホリデーをしている人に割引がきく、施設や店などがあると、更にいいと感じます。
女	首都圏	ボランティアホリデーという仕組みに興味がない。
女	首都圏	もしその地域に本当に住みたいと思ったとき、また、自分が必要とされたときに、UターンではなくIターンのようにして住むことや、就職はできるのかどうかということを期待します。
女	首都圏	普段の都市圏の生活では経験ができないこと。
女	首都圏	村おこしのためのイベントなど。
女	首都圏	人手がいるお祭り。
女	首都圏	田舎ならではの生活を楽しみなながらも、自分の時間を自然の中で個人として楽しめる時間が欲しい。
女	首都圏	自分が活動することで訪問地の人々が満足(感謝)してくれることを期待する。
女	首都圏	観光名所にはならないが、その地方ならではの風習、食事などを知ったり体験してみたい。
女	首都圏	今、関東に住んでいるので北海道や沖縄など、まったく違う環境の土地に行ってみたい。
女	首都圏	地震・災害で避難所生活を送っている方達の手助け。
女	首都圏	参加したくないので思いつかない。
女	首都圏	「来て良かった」と思えるような楽しい体験をしたいです。人々とのふれあいはすごく良いものだと思うからです。
女	首都圏	ボランティアの内容を細かく把握してから行きたい。
女	首都圏	その地域の色(生活や習慣)が体験できることを期待する。
女	首都圏	ボランティアといえど、何でもする、何でもできるわけではないので、楽しくできるボランティアがいいです。

性別	住居エリア	内 容
女	首都圏	自然の多い所で。
女	首都圏	自分の時間を多く取れる。
女	首都圏	家族で参加できるようなプラン。
女	首都圏	達成感。自分の自信につながるもの。
女	首都圏	ボランティア以外の時間を自分の趣味に使えるようなものがないですね（都心ではできない趣味）。
女	首都圏	ボランティアというものが、どういうものなのかわからないので何とも言えない。
女	首都圏	その地方の生活を体験できるようにプログラムが組まれているといいと思う。
女	首都圏	行ってみたい観光地が近くにあるといいと思います。
女	首都圏	ゆったりとした時間を過ごして、地位の方々と様々な触れ合いを通じて色々な人生観を学びたい。
女	首都圏	地域の人々と交流できるようなボランティア。
女	首都圏	安価で相手にも自分にもメリットがあるものが良い。
女	関西圏	帰ってきてでも「ボランティアホリデー」で学んだことを、他で（生活）復習できるようなプログラム。また次回行きたくなるような新しいことが、たくさん発見できるようなプログラム。
女	関西圏	子供にも、そのまた子供にも、受け継がれていけるような（学ばせたい）プログラム。
女	関西圏	地元の人たちとの交流。
女	関西圏	そこに住んでいる人々との交流、また帰ってきてからのことですが、自分が住んでいるところでも役に立つことができます。
女	関西圏	3～4日とかではなく、最低1週間はいたい。まったくボランティアに参加しない日を1～2日くらい欲しい。子供と大人と一緒にできるようなボランティアも中にはあればいいな、と思います。
女	関西圏	農業の収穫のお手伝い。
女	関西圏	ボランティア活動で知り合った人と知り合う楽しみ。今後もやり取りができる楽しみ。
女	関西圏	老人の人達と話ができて、喜んでもらえる楽しみ。
女	関西圏	地域の人達と関われるようなもの。
女	関西圏	もっと具体的な例など提案。イメージできず不安。
女	関西圏	人とのつながり。
女	関西圏	子供も参加できる。
女	関西圏	子供を連れて行きたい。
女	関西圏	滞在した地域の人といろんなことを一緒にできれば良いと思う。
女	関西圏	行った先で本当に助かったと言ってもらえるボランティアができれば良い。
女	関西圏	地域の人とのふれあい。
女	関西圏	休みが欲しい（週2回くらい）。
女	関西圏	一人の部屋。
女	関西圏	町の活性化。
女	関西圏	自由な時間もあって、金銭的に負担が少ないこと。
女	関西圏	自然がいっぱいな所がいいです。
女	関西圏	少人数で行動できるもの。
女	関西圏	金銭の収支の関してクリアにする。
女	関西圏	子供も一緒に参加できるもの。
女	関西圏	都会であまり体験できないもの。
女	関西圏	その土地の文化、資源に触れることができる。
女	関西圏	今後その土地に訪れた際には得するクーポン、割引など。
男	首都圏	仕事が今一番大切なので、長期滞在はできない。よって、参加する意志はないため、期待、要望は思いつかない。
男	首都圏	自然のあふれた環境。
男	首都圏	新たな出会い。
男	首都圏	価値観の変化。
男	首都圏	新たなスキル取得。
男	首都圏	子供と仕事で忙しいので、ボランティアなどやる暇がないのです。
男	首都圏	地域の人と親睦を深めるイベントを行って欲しい。但し、宿泊施設についてはプライベートを尊重して、個々の部屋にして欲しい。
男	首都圏	スキー場でボランティアができれば良い。
男	首都圏	今までボランティアというものに参加したことがないので、いまいちボランティアというものがわからない。なので、期待とか要望というものはありません（わかりません）。
男	首都圏	費用無料
男	首都圏	ボランティアでありながら自分のためにもなるようなものがあれば、資格などが取れるものがあればいい。
男	首都圏	滞在期間中に部分的ではなく、すべての行程に参加、協力できるもの。
男	首都圏	地方圏でのスローライフ。
男	関西圏	地方の祭りなどにも参加できる。
男	関西圏	収入がなくなると生活できない。国の制度として認められて、休みの間も仕事、収入を保障してもらえないと、長期間旅行などは不可能。
男	関西圏	ボランティアホリデーの現在の取組み内容がよくわからない。現在の生活では参加をすることは難しく、老後の参加しか考えられず期待できるものはないという現状。
男	関西圏	やはり純粋に田舎を体験したい。

性別	住居エリア	内 容
男	関西圏	近くにコンビニを作って欲しい。
男	関西圏	自分に利益があること。
男	関西圏	少しでも役に立つ実感できる作業など。
男	関西圏	様々な体験。
男	関西圏	旅費や滞在費などはできるだけ0に近い方がいい。
女	首都圏	地元の人と交流する機会が多いといい。
女	首都圏	また、その土地ならではのもの（農作物にしる、料理にしる、祭りにしる）に接したい。
女	首都圏	温かく迎え入れて、楽しい雰囲気であれば最高です。
女	首都圏	動物関係（保護、酪農）。
女	首都圏	子供がいるので、自然に触れられる地域。
女	首都圏	動物も多く、特に牛や馬がいる大きな大自然。
女	首都圏	安さ
女	首都圏	温泉のそば。
女	首都圏	期待や要望というよりは、実際に変な状況になっている人達の、助けに少しでもなれば良いと思う。特に近頃では天災が多いので、そういうところでは要望や期待など、考えてもらえないと思う。
女	首都圏	都会では感じられない、空気を感じられる場所。
女	首都圏	その地域でしか行うことのできないボランティアをしてみたい。
女	首都圏	ボランティアとして行くからには金銭面ではなくても何かしら自分にプラスになるものがあることを期待します。例えば美しい景色や、おいしい(新鮮な)食事、その土地の人々との交流など。
女	首都圏	あたたかさ！
女	首都圏	「ボランティアをしながら」というのがよくわからない。主となる目的が何なのか、明確でない。
女	首都圏	その地方でしか体験できないことに対するボランティアが良い。地元でも体験できるようなものは、地方圏まで行く意味がないから。
女	首都圏	他の参加者とあまり親密にならずにすむこと（親密になることを強要されない）。
女	首都圏	地域の方々とのふれあい。
女	首都圏	半年後に出産を控えており、今のところ具体的には思いつきませんが、子供達が一緒に参加できるような内容のものがあったら良いと思う。ボランティア活動や地域の方々との交流なども子供達にとって良い成長の糧となるようなものであったらいいと思う。
女	関西圏	地元の方々とのふれあい。
女	関西圏	子供同士の交流。
女	関西圏	様々な体験。
女	関西圏	地元料理や名産、特産。
女	関西圏	地域の方と関わり合い、たくさんの人達と出会い、自分の気持ちを向上させたい。
女	関西圏	地元の方々との交流がある所。
女	関西圏	観光場所や郷土料理の多い所。
女	関西圏	農作業の手作り。
女	関西圏	長期ではなく短期で体験みたいなものが良い。ボランティアというのが重荷になるので体験としてお手伝いするというのが、まだ気持ち的に楽な気がする。
女	関西圏	その地方の文化を少しでも多くの人に知らせることに役立つようなもの
女	関西圏	動物が好きなので、世話をしたい。
女	関西圏	やりがいがあること。
女	関西圏	観光地としてあまり知られていないけれど、名所等が実はたくさんあるという所。
女	関西圏	あまり重度な内容は困るので、教えて頂きながら迷惑にならない程度農業や人員整備、受け付けなどくらい。
女	関西圏	託児所があるか。子供を預かるプログラムがあつたらいいと思う。
女	関西圏	ボランティアしながら働ける。
女	関西圏	地域と交流できて、今までとは違った経験ができる。
女	関西圏	地元の人達と接する。
女	関西圏	地域の暮らしを体験する。
男	首都圏	長期滞在はイヤなので。
男	首都圏	自然に触れることができればいい。
男	首都圏	・生活環境が整っていれば良い。
男	首都圏	今までの自分の常識を見直させられるような経験。
男	首都圏	自然の中で活動できること。
男	首都圏	汗を流せる肉体労働。
男	首都圏	地元の人との触れ合い。
男	首都圏	雪かき体験
男	首都圏	その地域ならではの体験をしたい。
男	首都圏	災害、町おこし(村も)。
男	首都圏	自然を満喫したい。
男	首都圏	現実的に無理なので特に考えられない。すみません。
男	首都圏	地元の人にも感謝され、自分にとってもプラスになる。
男	首都圏	福祉施設への関わり。
男	首都圏	地方自治体が主体となったその地域の声を十分に取り入れたプログラム（災害保険などが考慮されていること）。

性別	住居エリア	内 容
男	関西圏	ボランティアで参加するのだから、宿泊費や宿舍などの配慮。
男	関西圏	特産品を用いた食事。
男	関西圏	参加するつもりが無いので思いつかない。
男	関西圏	会社の許可(できれば有給)。
男	関西圏	税金の優遇。
男	関西圏	地元の文化への興味があるので、人々のふれあいがある作業。
男	関西圏	自分自身の時間。
男	関西圏	清掃活動。
男	関西圏	被災地協力(宿泊、食事、風呂などの心配がない場合)。
男	関西圏	交流を通じての友情。
男	関西圏	地方の様々な状況を知ること。
女	首都圏	農作業の手伝いをしてみたい。
女	首都圏	ボランティアと休暇を同時に行う(過ごす)ということに、あまりイメージがわからないので、そのあたりを魅力あるもので、年齢的に幅広く参加できるものを要望します。
女	首都圏	ボランティアなので、特に期待する事はありません。
女	首都圏	小さい子供がいるので、小さい子を連れてできる事があれば、やりた
女	首都圏	その地域の人達とのふれあい。
女	首都圏	その土地のことがわかること。
女	首都圏	安く滞在でき、その土地の人とふれあえる。
女	首都圏	ボランティア仲間との交流。
女	首都圏	田舎
女	首都圏	営業目的ではなく、本当に困った方への助けであるものであって欲し
女	首都圏	自由がきくものであればいい。
女	首都圏	農業体験。牧場の手伝いとかをやってみたい。
女	首都圏	どちらかといえば実家が山方面なので、海の近くの町や村で何かした
女	首都圏	家族で滞在するため、小学校、スーパーなど。日常生活に最低限必要な設備。
女	首都圏	自分の職を生かしたパソコン、IT関係で役立てればと思います。
女	関西圏	地元の郷土料理と一緒に作る。
女	関西圏	自然に親しめる、地元の人たちと触れ合う事ができる。
女	関西圏	地元の人と同じ生活リズムで過ごす事ができる(体験できる)。
女	関西圏	家族・身内的な感覚で過ごせるようにこちらにも努力していきたい。
女	関西圏	地方のおいしい物を食べたい。
女	関西圏	レジャーを楽しみながら、ボランティア活動をやりたい。例えば、午前中ボランティア、午後はスキー、温泉とか。
女	関西圏	地域の人や文化に触れられるもの。ホームステイが良い。
女	関西圏	・地域の方との交流ができること。
女	関西圏	・自由時間があること。
女	関西圏	観光施設や動物園、水族館など普段体験することのできない裏方の仕
女	関西圏	農作業、豪雪地帯等、地域体験型生活。
女	関西圏	畑仕事を手伝う。
女	関西圏	田舎料理を教えてもらい作る。
男	首都圏	農業畜産体験
男	首都圏	林業支援
男	首都圏	できれば子供にも体験させたいので、子供の参加できるようなものが良
男	首都圏	時間、お金の余裕があれば参加したいと思います。
男	首都圏	内容は販売が苦手であるので、それ以外自分のできるものがあれば!!
男	首都圏	旅行中に決まった時間のみで、簡単な指導などを行う程度なら考える余地があると思う(例えば、中高年向けのパソコン指導など)。
男	首都圏	格安
男	首都圏	木工や、漁業、農業など、都会では体験できない自然相手の手に職をつけることができるような内容であって欲しい。
男	首都圏	わずらわしいことがないこと。ボランティアが威張っていて周りをだめにするようなこと。
男	首都圏	災害による復興支援。
男	関西圏	とまる所がいい所がいい。
男	関西圏	家族なども呼んで、一緒に参加したい。
男	関西圏	地域の人に喜んでもらえればそれだけで良い。
男	関西圏	その地域性の高い仕事の手伝いや、勉強をしたい(農業や手工業など)。
男	関西圏	忘れかけている自然とのかかわりや子供の頃の気持ち等。
男	関西圏	仕組みがわからない。
男	関西圏	長期休暇がとれないので、参加できない。
男	関西圏	短期滞在で、何回も同じ所ならできるかも。
男	関西圏	拘束されず、自身が楽しいと思うことのみに限定でき、結果としてボランティアにつながればいい。
女	首都圏	・音楽指導
女	首都圏	・特産品の販売。
女	首都圏	参加した証が欲しい。例えば、その場所の手形とか、お土産。
女	首都圏	知り合えるはずのなかった人との交流。
女	首都圏	お風呂がある。
女	首都圏	長期滞在希望はあるのですが、子供が自立してからであれば、是非、体験したいと思っています。
女	首都圏	自然と触れ合えるボランティア。

性別	住居エリア	内 容
女	首都圏	ボランティアと言いつつも、自分も楽しめるボランティア(休時時にテニス、スキーができるなど)。
女	首都圏	①果物の収穫の手伝い。
女	首都圏	②山、川、海の清掃作業など。
女	首都圏	子供が集まる場所での絵本の読み聞かせなどをするお話し会。
女	首都圏	子供が好きなので、子供と触れ合えるものに参加したいです。
女	首都圏	いまいちどというものがつかめないが、地方の方々が本当に喜んでいただけるもの。
女	首都圏	ボランティア活動をしながらか地元の人々と共に楽しいプログラム！。
女	首都圏	必要とされて行くのが一番良いと思う。
女	首都圏	人とのふれあい。
女	首都圏	食事面や住居において十分な補助をして欲しい。
女	首都圏	グライバシーの面において配慮をお願いします。
女	関西圏	安全であること。
女	関西圏	ボランティアしながら地方を楽しめる(例：温泉・観光・イベント等)。
女	関西圏	会社の勤務や社会事情が、ボランティアホリデーをとりやすいものであること。
女	関西圏	地方の方々と交流できればいいと思う。
女	関西圏	都会で、できることではなく自然等に結びついたプログラム。
女	関西圏	地域の人々との触れ合い。
女	関西圏	普段ではできない体験をしてみたい。
女	関西圏	村、町起こしイベントなどの準備のお手伝い。
女	関西圏	地元の方との触れ合い。
男	首都圏	よくわからないので、特になし。
男	首都圏	遊び的要素があれば、参加するかもしれない。
男	首都圏	問25にも書いたように、旅行とボランティアを私はわけて考えたい。旅行という個人の楽しみの中に、ボランティアは持ち込みたくない。
男	首都圏	充実した人間関係など。
男	首都圏	・ボランティアの日と休みの日を完全にわけて動けるようであれば内容によっては参加してもよいとは思ふ。
男	首都圏	・国内よりも海外に興味あり。
男	首都圏	・保険などの整備(ボランティア中のケガなどへの保険)。
男	首都圏	自然とのふれあい。
男	首都圏	ボランティアと一括してお話されていますが、具体的に何をされるのですか？それが示されていなければ、期待も要望も出せないと思うよ。
男	首都圏	高齢者との作業や話し合い。
男	首都圏	体は動かないかもしれないけど、今の年齢だと難しいので、高齢者ができるプログラムがあれば数年、数十年後に参加してみたいです。
男	首都圏	パソコンの指導。
男	首都圏	町作り、観光案内の手伝い。
男	首都圏	相手が具体的に何をしたいのか、助けられるようなことがあれば何でもできるよう応援したい。
男	関西圏	自分の才能や能力を生かせる場、または求められるようなことを期待す
男	関西圏	個人でなく、数名で活動できるような作業があれば。
男	関西圏	危険を伴わない作業。
男	関西圏	おいしい食事。
男	関西圏	きれいな部屋。
男	関西圏	温泉。
男	関西圏	スポーツができる。
男	関西圏	きれいで広い住居。
男	関西圏	企業参加(自分の勤める)。
男	関西圏	都市部の人間が地方圏に行って早くとけ込めるかが不安だと思います。受け入れ先の柔軟な環境が欲しい。
男	関西圏	里山の保全。
男	関西圏	農作業の手伝い。
男	関西圏	里山の保護。
男	関西圏	自分の技術が生かせる。
男	関西圏	その間の生活を無理なく過ごせる。
男	関西圏	その地域に行ったら味わえない体験をすること。
女	首都圏	地方で暮らす人々の人生観を知りたい。
女	首都圏	・保護支援。
女	首都圏	・障害児との保育支援。
女	首都圏	考えたことがないので、思い浮かびません。
女	首都圏	将来、自分が田舎で暮らす時にも役立つ仕事の手伝いをしたい。例えば、野菜作り、保存食作り、昔からの生活の知恵などの手伝いをしながら学びたい。
女	首都圏	農業などの仕事の手伝い。
女	首都圏	家畜の世話等。
女	首都圏	田舎の民家で畑仕事やイベント(町おこし、祭り)をしながら、故郷を味わってみたい。
女	首都圏	空地に苗木を植え、毎年成長を見守れる。
女	首都圏	きれいな自然と空気。
女	首都圏	受け入れ体制を整えて欲しい。ボランティア活動がしやすいように。
女	関西圏	食事付

性別	住居エリア	内 容
女	関西圏	子供の頃は田舎で農作業の手伝いなどしましたが、今都会で生活しているので、土と触れ合うことが全くありません。もし参加するならば、土と触れ合う農家の手伝いをしてみたいと思います。
女	関西圏	また、以前TVで見たのですが、雪国の雪下ろしも経験してみたいと思います。
女	関西圏	野菜作りの手伝い。
女	関西圏	あまりよく知らないことでしたが、参加するなら、本当にその地域の方に役立つようなこと、また、役立つ日数を確保し参加できればと思います。
女	関西圏	同じ屋根の下で生活する。
女	関西圏	気持ち良く受け入れてくれる環境であること。
女	関西圏	中心となる指導者がおり、活動がスムーズに行えるようサポートがあること。
女	関西圏	都会の人間関係や情報社会より離れ、自然の中で今まで生きてきたことを身に付けてきたことを活用できることをしたい。
男	首都圏	・町づくりイベント等の手伝い。
男	首都圏	・英語は少し話せるので、アメリカ滞在5年程度ですが、通訳等。
男	首都圏	現住地のボランティアに注力したいので、特になし。
男	首都圏	“ボランティア”の名を借りた商業目的であったり、永住者誘致であったりすることが決してないことを確認してからにしたい。
男	首都圏	自分の体力、経済面に負担がないような内容。
男	首都圏	自分の経験を生かして、興味のもてるもの。
男	首都圏	・約束の田舎暮らしの参考としたい。
男	首都圏	自然や環境の保護など、将来の人達に役立つものでそれを実感できようなものであれば、時間の許す限り参加したい。
男	首都圏	自分自身の生活が大変で参加できる心の「ゆとり」がない。
男	首都圏	農業体験し、野菜、果物の生産などの体験がしたい。
男	首都圏	農作業
男	首都圏	ボランティアはホリデーも含め観光ではないと思います。
男	首都圏	地域の人達との交流。
男	首都圏	地域の風土、文化の吸収。
男	首都圏	役に立った実感。
男	首都圏	交通費、宿泊費は全額負担することを要望する。
男	首都圏	ボランティア活動と観光旅行は切り離して考えるべきと思う。
男	首都圏	地域の風土と暮らしの実体験を得る。
男	関西圏	今と違った生活（衣食住、すべてに於いて違う生活習慣にできるほど、長期に生活して違う考え方、スタンス（アイデンティティ）を身につけたい）。
男	関西圏	ボランティアという言葉を前面に出すのが、あまり好ましく思っておりませんが、あえて言うなら田舎の人々と自然に同化できるように考える。
男	関西圏	この質問の設定自体が、休みをとっても代行可能な人が手配できる、サラリーマン向きです。自営業者では下手に休みをとると信用をなくします。やりたいができない！
男	関西圏	その土地の人々との交流を深めたい。
男	関西圏	不参加ですのでお答えできません。
男	関西圏	その土地の文化、風習に接する(祭り等)。
男	関西圏	・公園、道路等の清掃。
男	関西圏	・お年寄りの通院、買い物等の手助け。
男	関西圏	地元の方々の生活の知恵。
男	関西圏	会社に対し、公的に許しがもらえない限り不可能。
男	関西圏	ボランティアに興味がないので参加しない。
男	関西圏	町、村起こしのお手伝い。
男	関西圏	特産物を使った物作りで自分の名前が書ける。
男	関西圏	トラブルの発生を最小限度にするように細心の注意をする。
男	関西圏	相方が気持ち良くできるように相性チェックなどをする。
女	首都圏	染色、陶芸等を体験できると同時にボランティア活動を要望します。
女	首都圏	趣味を生かせるような生活を期待する。
女	首都圏	体験型で、自分自身も他の方も十分満足できるような企画。
女	首都圏	ボランティアについても、交流についてもしたい気持ちはありますが、泊まる所が、粗末や汚いところだとかがいやなので、グレードがはっきりしていればよい。例えば☆☆☆のホテル並とか、☆とか…ネ！
女	首都圏	必要性が高いもの。
女	首都圏	体力の範囲内で可能なもの。
女	首都圏	安全
女	首都圏	休息のとれる場所がある事。
女	首都圏	将来ゆっくりできる時間ができたら、夫婦で行ってみたい。今は無理。
女	首都圏	費用はあまりかからない方がよい。
女	首都圏	地方の野良猫の避妊・去勢手術の援助。
女	首都圏	地元に残っている人、第二の田舎になるような活動をしたいです。
女	首都圏	地震や災害時のボランティアは人間として「人の役に立ちたい」という想いは強い。しかし、主婦として身近な家族を放っていけない。
女	首都圏	歳末助け合いまで待たずに、各市町村で災害時に即、募金活動等の手助けをする方が先かも。
女	首都圏	宿泊費・飲食費・交通費などが少しでも安くできるから。

性別	住居エリア	内 容
女	首都圏	長期滞在をすることができないので、近くの、家から行くところしか行けない。
女	首都圏	お年寄りとの交流があるようなボランティアがあればいいかな、と思います。
女	首都圏	山林など、荒れた土地を手入れして、健全な自然を取り戻す。
女	首都圏	各地の家庭料理。
女	首都圏	人々とのふれあいの中での達成感？
女	首都圏	人との交流。
女	首都圏	新しい経験、知識の習得。
女	首都圏	その土地の人々のいろいろな知恵を教えてください。
女	首都圏	土地の料理や自然のあり方を知る。
女	首都圏	ボランティアホリデーという言葉も内容も初めて聞くことなのでよくわからないが、高齢者の家に泊まって家族同様の暮らしをするのが良いように思われます。
女	首都圏	伝統工芸のお手伝い、また、特産品に関係する仕事の手伝いをしながら観光できること（その地域を理解し、住民との交流）また、格安で公共の宿、または旅館を提供してもらうこと。
女	首都圏	楽しく参加でき、みんなで協力できるもの。
女	首都圏	旅館の手伝いをして温泉に入らせてもらいたいです。
女	首都圏	参加するつもりはありません。
女	首都圏	子供が好きで子育てがもうすぐ終わるので、子供に関わるものがないな—と思う。
女	首都圏	ガーデニングの手伝い。
女	首都圏	その土地に住むお年寄りから、いろいろな話を聞いてみたい。
女	首都圏	遺跡の発掘に学生時代携わっていたので、かなりのブランクがあるがもう一度やってみたい。
女	首都圏	史跡に身近に接することができるようなプログラム。
女	首都圏	地域の人々との交流。
女	首都圏	自分の興味あるボランティアだったらいい。
女	首都圏	安く泊まれてなるべく費用を抑えられる所。
女	首都圏	ボランティアをしながらでも自分が行きたい観光地や施設を回れる所。
女	首都圏	温泉に入れたりのんびりくつろげたり、スポーツができたり個人で行く観光と変わらないくらい自由でできること。
女	首都圏	自然や風景を存分に楽しめること。
女	首都圏	花が好きなので花を育てる。
女	首都圏	地域の人との交流。
女	首都圏	土地柄の溢れる所で地域のお手伝いなどを通じてその土地を知り、その土地の人達と関わりたいと思います。
女	首都圏	保育支援ならできます。
女	関西圏	漠然としていてわからないが、主催する側の主旨や責任が、はっきりしていることだと思います。
女	関西圏	特産品の加工作業等にたずさわりたい。
女	関西圏	現地の宿舎等に住民込みで。
女	関西圏	近所にスーパーなどがないところは、食事などはどうするのだろうか？（車もなければ自転車もないのだから）→電車で行った場合。
女	関西圏	宿泊費などにはお金を使いたくない！（食費は別）。
女	関西圏	あまりよくわからないですが、都会では味わえないような珍しい食べ物や、田舎の生活を期待したいです。
女	関西圏	人手が足りない農家の収穫のお手伝い。
女	関西圏	海の清掃。
女	関西圏	山の清掃。
女	関西圏	安全面
女	関西圏	普段では体験できないことを体験したい。
女	関西圏	地域に溶け込んでの生活。
女	関西圏	企画から完成まで参加できるもの。
女	関西圏	2～3日の短期間。
女	関西圏	具体的にわからない。
女	関西圏	・気持ちが素直に相手(仲間)に通じる、そんな環境の中で働ければと思います。
女	関西圏	他の人とのコミュニケーション。
女	関西圏	まだわからない。
女	関西圏	昼はボランティアをしても、夜は自由時間を必ず取ることができること。
女	関西圏	ボランティアの意義がよくわからない。例えば震災で困っておられる人がいて、人手がいるというのであれば、行ってお役に立てればと思うが、田舎に行ったら例えば農業や、漁業など手伝うというのは、私の中ではボランティアとは思えないので（旅行気分です人を手伝うということが受け入れられない）。今後、勉強していきたい。
女	関西圏	ほっこりした生活。
女	関西圏	地域がボランティア活動によって潤ったり感謝されること。
女	関西圏	園芸に関する手伝い。
女	関西圏	ホームヘルパー1級と保母資格（6年程体験あり）を持っているので、台風や地震で避難されている高齢者や小さな子供の心のケアのできるボランティア活動ができればと思いますが、今現在ヘルパーの仕事をしているので参加できそうもありません。

性別	住居エリア	内 容
男	首都圏	その地方の特長を充分に生かした内容であるならば、関心が出てくるのではないかと思います。
男	首都圏	私は、島根県の田舎に実家があるので、改めて田舎に滞在する気持ちはない。
男	首都圏	人と人との交流。
男	首都圏	その地域独自の活動を参考にして地元へ還元したい。
男	首都圏	地方から都市に逆にボランティア団体を招く。
男	首都圏	その地域を足場にその周辺を探索する。
男	首都圏	祭りやイベントに参加したり。
男	首都圏	参加者が共通の話題のある人々なら良い。地方出身者はいやだ！
男	首都圏	低予算で心と心のふれあいができること。
男	首都圏	地元の料理を食べて作り方を覚えてみたい。
男	首都圏	田舎の人とコミュニケーションの取り方の難しさをどうしていくのか。
男	首都圏	スポーツ指導
男	首都圏	作物の取り入れ作業。
男	首都圏	技術系のサラリーマンであるために、どちらかと言うと農作業のような自然の中で、自然の暖かさ厳しさを体験しつつ、ボランティアができればと思っている。
男	首都圏	他人との交流。
男	首都圏	微力でも姿、形で残り、自分自身で納得できるもの。
男	首都圏	仕事から家を作るような作業。
男	首都圏	野菜作りの手伝い。
男	首都圏	魚を捕る作業の手伝い。
男	関西圏	成果が見られるもの。
男	関西圏	定年後、田舎に帰り、地域の活動に参加する。
男	関西圏	バレーボール
男	関西圏	ソフトバレー
男	関西圏	体験型観光。
男	関西圏	観光案内所、観光ガイド、温泉施設運営の手伝い。
男	関西圏	祭りやイベントがあれば、企画・実行をしたい。
男	関西圏	ボランティアは地方圏に行かなくともできるし、本質的に観光旅行を兼ねるというものはどうかと思う。つまりボランティアは遊びではない。
男	関西圏	・交通の便が良い。
男	関西圏	・環境的に良く、空気がきれい。
男	関西圏	参加する気がまったくなし。
男	関西圏	今は仕事もあり無理だけど、できるようになれば何でもやってみたい気はする。できるかどうかは問題だけど…。
男	関西圏	公共施設の手伝い。
男	関西圏	食事を用意してもらえること。
男	関西圏	都会と田舎の子供達との交流活動。
女	首都圏	植物、野菜などの栽培実体験の指導を受ける。
女	首都圏	または、地域の特徴ある料理方法など、一緒に作る。
女	首都圏	園芸が趣味のため、長期家を空けることができず、2～3日程度しかできない。当然、長期滞在は無理かと思う。
女	首都圏	地域のふれあい。
女	首都圏	体を動かし(軽作業)し、地域と関わりたい。
女	首都圏	長期滞在のボランティア活動は参加するつもりがないので。
女	首都圏	土地の人達との心の交流。
女	首都圏	大自然の中での素朴な生活。
女	首都圏	楽しい雰囲気、田舎の人たちとお友達になりたいです。
女	首都圏	郷土の名物料理を食べてみたい。
女	首都圏	お祭り・盆踊りなどにも参加したい。
女	首都圏	中年でも楽しくできることがあれば。
女	首都圏	農作業中心のもの。
女	首都圏	自然との触れ合い、植物の保護等。
女	首都圏	お客様扱いされるのではなく、地元の方々と同じように接して欲しい。
女	首都圏	郷土料理などの体験をしてみたいと思います。
女	首都圏	費用はなるべく少なくしたい。
女	首都圏	ボランティア活動に社会的な意味が大であればやりがいがあるような気がします。
女	首都圏	交通の便が良い所。緊急の用事の時にすぐ帰ってこられるように。
女	首都圏	行ってみたいところのない場所が良い。
女	首都圏	地方の方との交流。
女	首都圏	地方の体験。
女	首都圏	郷土料理を作ったりしたい。
女	首都圏	まず郷土料理体験くらいならできそうかな。
女	首都圏	今現在地方に住んでおり、具体的な要望は思い付きませんが、農業(家庭菜園的なもので良い)林業など体験できたら良いのですが。
女	関西圏	・個室で夜は他人に気を使わずに過したい。
女	関西圏	・他人が働いている時に、休憩できずらいので、ハードかと思う。
女	関西圏	・人間関係がわずらわしい。
女	関西圏	(自分自身の健康に自信がないので、それでもできるものがあるという前提で)宿泊施設がプライバシーを守れるものであること。

性別	住居エリア	内 容
女	関西圏	自分にとっても何か新しいことを知ったり、身につける事ができれば良いと思います。
女	関西圏	新しいことへの人間関係を持ちたいです。
女	関西圏	遺跡発掘の手伝いボランティア。
女	関西圏	仕事を休むことになるので、職場の理解が必要となります。
女	関西圏	あれもこれもではなく、まとまった事柄のためにしたい。
女	関西圏	成果も期待したい。
女	関西圏	周囲の疎通を行い応じるように努めたい。
女	関西圏	宿舎提供、食事の提供もあれば良い。
女	関西圏	・地域の盆踊りに参加する。
女	関西圏	・地域の民芸を設営し、参加する。
女	関西圏	地域の食べ物、作り方も学ぶ。
女	関西圏	農作業(米、野菜作り、果樹園etc)の応援を通してのボランティア。
女	関西圏	一時的「気分」ではなく、それを機会に知り合った方々との交流を、より深く長いお付き合いに発展させることができるなら…と思います。
女	関西圏	地元の伝統工芸などを体験させて頂く。
女	関西圏	同年代の方々との茶話会。
女	関西圏	年令に合ったボランティア。
女	関西圏	危険を共有しないもの。
女	関西圏	地域の方々と仲良くなり、ボランティアがすんでも個人的に交流ができるようにしたい。
女	関西圏	体力的には自信がないし、また特技もない者でも入っていける、地方のボランティアがあれば参加する。
女	関西圏	話相手
女	関西圏	農作業
女	関西圏	野菜の植付けを教えて欲しい。
女	関西圏	郷土料理を教えて欲しい。
男	首都圏	①田舎特有の収穫があること。
男	首都圏	②年齢にふさわしい環境があること。
男	首都圏	今住んでいる地元で、充分、ボランティア活動のチャンスがあり、それにもっと力を入れたい。
男	首都圏	お手伝い(農業)。
男	首都圏	自然保護の補助的作業。
男	首都圏	地域に少しでも貢献できる内容であること。
男	首都圏	酪農体験ボランティア、農業体験ボランティア。
男	首都圏	その土地の名物料理などに興味がある。
男	首都圏	ホテルのような宿舎。
男	首都圏	考えたこともないので、わからない。
男	首都圏	宿泊施設。
男	首都圏	コンビニエンスの有無。
男	首都圏	食料品の調達が可能。
男	首都圏	プログラムが参加者の選択度を持てるような内容が望まれる。
男	首都圏	官指導色は望ましくない。
男	首都圏	時間をゆっくり動いているような行動をしたい。
男	首都圏	他人に言われて行動したくない。このようなことが現実になるならばしても良い。
男	首都圏	社会的に役立ち、自分が興味を持てるもの。
男	首都圏	近い場所。
男	首都圏	特産品の販売。
男	首都圏	障害者(4級)につき、あくまで軽作業を要望する。
男	首都圏	体力にはまったく自信がないが、脳は活動している。自分の技術、技能に合うことが近場であれば参加するのもし。
男	首都圏	人との交流が深まる企画、プログラムであること。
男	首都圏	時間がゆっくりと流れるプログラムであって欲しい。
男	首都圏	地元文化発展を狙ったものであって欲しい。
男	首都圏	体力を使うボランティア。
男	首都圏	未経験(竹林、雑木林、果樹園など)のボランティア。
男	関西圏	①かかった費用に、若干上乗せした程度の費用は払いたい。
男	関西圏	②食事、風習等はすべて気づかいなく、その土地のやり方でやってもらいたい。
男	関西圏	③結果その地の及び人の良さがわかったら最高です。
男	関西圏	②体を動かした作業。
男	関西圏	休耕田の開放。
男	関西圏	観光ではない為、あくまでボランティアで。
男	関西圏	観光は観光。ボランティアはボランティアで考えなければならぬ。中途半端な考えでは観光である(ヒッピーなやり方ではだめ)と思う!!
男	関西圏	一人暮らしの老人の為に少しでも、何かの役に立ちたい。
男	関西圏	その地域の人々が日常的に接している、対人関係・生活習慣・食べ物、そして自然風の中での生活体験とボランティアの提供を行いたい。
男	関西圏	シルバーエイジ層の活動が活発な地域。
男	関西圏	家をあけることに、家族の同意が得られないと思う。
男	関西圏	もう若くないので、受け入れ側が拒否すると思う。
男	関西圏	相手が望むような行動ができないと思う。

性別	住居エリア	内 容
男	関西圏	ボランティアということを互いに強く意識しない中で、自然な感じでの雰囲気を感じ。
男	関西圏	その地方の特産品(食べ物、炭、工芸品)についての造り方など、並行して学ぶ。
男	関西圏	・身体を軽度にかす作業。
男	関西圏	・日常生活の援助・支援活動。
男	関西圏	人とのふれあい。
男	関西圏	ネットワークの構築。
男	関西圏	年、体力にあった仕事。
男	関西圏	身体を動かす作業。
男	関西圏	自分の持っている技術を活用しながら、ボランティア活動するのが良。
男	関西圏	医療関係がしっかりしている所。
男	関西圏	各地元の人々と、文化活動また、交流を通じてイベントの手伝い。
男	関西圏	里山の整備。
男	関西圏	田舎の田畑の整備→新鮮な野菜でも手に入れば嬉しい。
男	関西圏	史跡や自然の多い景勝地など、見学を兼ねて掃除などの軽作業できる場所(宿泊)の案内(宣伝)が欲しい。
男	関西圏	地方圏出身であり、地方の高齢化を除いて地方だからボランティアが必要だという考え方が理解できない。
男	関西圏	ボランティアの内容。
男	関西圏	高齢者にできる内容であるか。
男	関西圏	受け入れ側の環境状況を知る。
女	首都圏	地元の人達に郷土料理など習い、交流を深めるとともに、自分の料理の上達。
女	首都圏	園芸などの手伝い。
女	首都圏	地域の良さ・田舎暮らしの良さ等を知る事ができればいいかなと思う。
女	首都圏	現在体調(腰痛)悪く、実際にボランティアに参加できるかわかりませんが、ヘルパーの経験を生かして、散歩・話し相手・医療機関への送迎等できたら参加したいと思っていますが、年齢の事も考えると無理でしょうか？
女	首都圏	田舎での暮らしとはどのようなものか、再確認してみたい。
女	首都圏	本当に人手が足りない所へ行きたい。
女	首都圏	特になにもできないが、相手側が必要としていることができれば嬉しい。何が必要なのか、何を喜んでもらえるのか知りたい。
女	首都圏	家庭内外の仕事(女性)。
女	首都圏	旅をすれば山の荒れ具合が目に入ります。高齢者が多くの田畑を守っていて下さることに感謝し、環境保全に関したことを。
女	首都圏	せめて滞在費などは自己負担しない仕組みが欲しい。
女	首都圏	ボランティアホリデーは引き受ける場合もあるので(海外の人)外へ出て行けばいいのではない。
女	首都圏	介護体験
女	首都圏	自然と共に生活できれば良い。
女	首都圏	介護に経験があるので体の不自由な方のいろいろなお世話してあげた。
女	首都圏	郷土料理体験
女	関西圏	まったくわからない。
女	関西圏	農家に泊まって、野菜作りやその他のお料理の講習を受けたい。
女	関西圏	ボランティアというのは、いろいろあると思いますが、高齢なので若い人たちがみに動けませんし、よくわかりません。
女	関西圏	実家の農業の手伝いで、年に数回行っているが、田舎の生活は大変。
女	関西圏	だんだんと衰退しつつある、織物・染色などの地場産業のボランティア。
女	関西圏	郷土の特産物の生産ボランティア。
女	関西圏	旅行は大好きだし興味はあるが、仕事によっては年齢的(63歳)に無理で、行った先でかえって迷惑をかけることがあってはいけいないので、長期でなく家の近くでのボランティアなら参加させてもらえと思う。
女	関西圏	体を動かす作業。
女	関西圏	スポーツ指導(水泳)。
女	関西圏	パソコン(ワード)。
女	関西圏	農作業手伝い。
女	関西圏	実のなる木、他を作る。
女	関西圏	地方圏等の環境によって色々と勉強致しますし随います。
女	関西圏	温泉地で保養しながら山道の整備とか山の草刈りとか自然と共有した一日の半分は奉仕、後の半分は地域の様々なこと、歴史文化、生活等を知りたい。
女	関西圏	地域の祭りの準備、後片付け等にも参加したい。
女	関西圏	料理を覚えたい。
女	関西圏	地域の役に立ちたい。
女	関西圏	自分にできることがたくさんあること。
女	関西圏	力仕事以外の仕事があること。
女	関西圏	空気のいい所。
女	関西圏	今行っていること(草刈、樹木育樹など)に関連した行事。
女	関西圏	主婦でも簡単にできること。
男	首都圏	興味がないので、特に要望なし。
男	首都圏	山の手入れ
男	首都圏	植林
男	首都圏	田植え

性別	住居エリア	内 容
男	首都圏	農業専業の家に泊まりながら、農作業、村のイベント等に参加し、一時的と言えども村民の一員になること。
男	首都圏	植林整備事業
男	首都圏	1. 地方の生活習慣の概要。
男	首都圏	2. ボランティアを必要とする活動範囲(ボランティアの)。
男	首都圏	3. 地方の人々と交流する機会。
男	首都圏	4. 今までのボランティアの受け入れとその効果。
男	首都圏	5. 活動の時間帯と休日。
男	首都圏	宿泊設備が整っている。
男	首都圏	食事がおいしい。
男	首都圏	フリータイムが少し欲しい(あらかじめボランティア活動時間を明示する)。
男	首都圏	自分の特技を生かし、施設等で大声で歌う人々の、アコーディオン伴奏をしたい。
男	首都圏	例えば、村おこし等について、人を呼び込むアイデア等の提供など。
男	首都圏	地域の句会などに参加したい(俳人協会の会員)。
男	首都圏	軽度の農作業の手伝い。
男	首都圏	現地(ボランティアホリデーの派遣先)の求めるボランティアホリデー向きの具体的な需要が示されないと答え難い設問ですね。
男	首都圏	農作業
男	首都圏	現在の生活から離れることは考えられないので、特に要望も期待もな。
男	首都圏	ボランティアをしながら地域の人と触れ合う。
男	首都圏	他の人の足手まといになり迷惑をかけたくないから、参加はしません。
男	首都圏	軽作業等、体を動かし物を生産する(獲る)ことのできること。
男	首都圏	年齢的に体力に自信がないので、期間が限られているから。
男	首都圏	いろいろな地に行って各地の名所や特産品などを、帰って地元でアピールするようなこと。
男	首都圏	・交通費も含めてお金がかからないように。
男	首都圏	・仕組みもよく理解できない。
男	首都圏	老年層ではありますが、健康ですので体力の少ない作業。
男	首都圏	滞在期間の短い(2～3日)活動。
男	首都圏	技術士として参加できれば、してみたい。
男	首都圏	私は高齢のため体力を要することはできないが、機械の出ですからその関係の修理とか、作ることはできます。
男	首都圏	運転も作業車もできますから、その方でボランティアできると思いま。
男	首都圏	決められた仕事ではなく、自分で合った仕事を見つけたい。
男	首都圏	地元の人達と一般では見れない物等、見聞き体験したいと思います。
男	首都圏	できるだけ1ヶ月以上、多くの場所に移動しながら参加する仕事が良。
男	首都圏	年齢的にも無理。
男	首都圏	理容師なので、老人ホーム等での調髪。
男	首都圏	野生植物の保護。
男	首都圏	温泉施設、キャンプ場、運営等の手伝い。
男	首都圏	野生植物保護活動
男	首都圏	体験型観光
男	首都圏	特産品の加工作業。
男	首都圏	野生植物の保護。
男	首都圏	まだ自分自身をみがきたいので無給でも良いが趣味的なものの作業に参加したい。炭焼き、陶芸の窯たき、ログハウス作りなどの作業に興味を持つ。最低一週間以内で3日位が良い。
男	首都圏	農作業のお手伝いや、それに似たような仕事。
男	首都圏	イベント等のお手伝い他。
男	首都圏	自分が体験、会得したことを次の世代につなげることができる場が提供されること。そして、そのような人材が少ない地方圏に滞在すること。
男	首都圏	ボランティアホリデーの事務局に自分の提供できる内容を登録しておくことができるシステムを作って欲しい。
男	首都圏	人工林が荒廃しているので早急に着手をすべき。
男	首都圏	地方自治体が中心になるべき。
男	首都圏	老人(80歳位)と共に仕事してみたい。
男	首都圏	静かな所。
男	首都圏	トイレがきちんとしている所。
男	首都圏	交通費が安くなるような所。
男	首都圏	地方に他人を受け入れる気持ちがあるかどうか。
男	首都圏	風俗、習慣その他の違いを受け入れてくれるか？。
男	首都圏	手入れのできていない山の手入れ、植樹等。
男	首都圏	高齢なので長期滞在は無理なので、2、3日ならば。
男	首都圏	地方自治体の手伝い。
男	関西圏	年が77才を過ぎ、自分自身でいっぱいです。
男	関西圏	①自由があること。
男	関西圏	②多くの人と親睦が図れること。
男	関西圏	③住んでいるところと環境が違ふところなど。
男	関西圏	参加するとしても、高齢、障害3級のハンデのため、ボランティアもならず期待も要望も暫く。
男	関西圏	農業(過去に農業を経験しているから)。
男	関西圏	農作業手伝い

性別	住居エリア	内 容
男	関西圏	役場や公共施設の手伝い。
男	関西圏	その地域・土地の昔からの習慣等。
男	関西圏	年が来年で80才である。
男	関西圏	病弱である。
男	関西圏	ボランティア用の仮設住宅が欲しい。
男	関西圏	体力がないので長期滞在は無理。
男	関西圏	人間のコミュニケーション。終了後も文通で連絡。
男	関西圏	充実感。
男	関西圏	相手にもメリットがあることを望む。
男	関西圏	どのようなことか、行ったことが無いのでよくわからない。
男	関西圏	高齢(73才)で体力に自信がないので、ボランティアホリデーに参加したい気持ちは大いにありますが、適当な手伝いがあるかどうか。
男	関西圏	福祉、保健(障害者)。
男	関西圏	地域の清掃活動。
男	関西圏	環境保全奉仕活動。
男	関西圏	何ができるかわかりませんが、何かやってみたいです。
男	関西圏	①自分の得意とする作業に参加したい。
男	関西圏	②経費の負担軽減。
男	関西圏	昔ながらの素朴な人情味溢れる過疎地で、地域の人々と共同でできるものならば良いと思う。具体的には提示できない。
男	関西圏	環境。
男	関西圏	66才でまだ勤務している、犬がいるため(大小4匹)、朝夕の世話でひまがない。
男	関西圏	足が不自由なので、話し合い、意見交換等であれば参加してみたい。
男	関西圏	食事が作れること。
男	関西圏	布団が備えてあること。
男	関西圏	・軽作業な農業手伝い。
男	関西圏	・祭りなどイベント等の手伝い。
男	関西圏	・イベントのお手伝い。
男	関西圏	自然の中で自然に関わりながらマイペースでできるようなこと。
男	関西圏	ボランティアと旅行は別のものと考えている。
男	関西圏	ボランティアに参加できないから、期待要望なし。
男	関西圏	ボランティアホリデーと言う言葉自体にインチキ感を感じる。敗戦から約60年近くなるが、主権在民を柱とする平和憲法を守るならば、赤い羽根募金や、ボランティアホリデーなどの必要性は、私は感じない。
男	関西圏	郷土料理体験
男	関西圏	瀬戸内で鯛の一歩釣り
男	関西圏	子供達の活動(教職経験を生かして)。
男	関西圏	山歩き(ハイキング)。
男	関西圏	草むしり
男	関西圏	清掃
男	関西圏	農業体験
男	関西圏	野、農作業。
男	関西圏	町づくり、イベントなどの作り。
男	関西圏	農作業手伝い。
男	関西圏	酪農手伝い。
男	関西圏	特産品の加工作業。
男	関西圏	軽トラック、農機具などの使用が自由にできること。
男	関西圏	できるならば贅沢は言えないが、宿泊する場所と食事抜きではボランティアはできない。
男	関西圏	農作業の手伝い。
男	関西圏	長期滞在の場合、何日か自由の時間が欲しい。
男	関西圏	長い間の都会の生活で動を知り、静を知らない日々ですが、静かな環境で全身を動かし汗を流す仕事を望みます。
男	関西圏	植物の整理。
男	関西圏	地元料理の手伝い。
男	関西圏	病院への通院介助。
男	関西圏	田、畑の雑草取りなどの屋外での仕事。
男	関西圏	森林パトロール、観光施設パトロールなど。
男	関西圏	長期参加は無理。個人のプライバシーが保たれ、あまり制約がなければ考えられる。
男	関西圏	地方圏の人々との触れ合い。
女	首都圏	期待等しない。果樹園の手伝い1つ考えても、実際関わった経験のない人には無理な作業が多い。自分のこととして頑張れるかどうかが大切だと思う。ボランティアは今、質が問われているのではないのでしょうか。
女	首都圏	①何をすればいいか。
女	首都圏	②そのことを自分ができるかどうか。
女	首都圏	③ニーズに応えられるかどうか。
女	首都圏	安全の確保。
女	首都圏	明確な目的。
女	首都圏	拘束の程度。
女	首都圏	気持ち良く、楽しい雰囲気です仕事をしたいです。

性別	住居エリア	内 容
女	首都圏	ボランティアホリデーに参加することは、体力的(椎間板ヘルニアなので)に無理です。力仕事でないこととか(例えば縫い物、話し相手)ならできると思いますが。
女	首都圏	地域活動の祭りや、イベントの手伝いや特産品等の販売。
女	首都圏	個室があり、ボランティアの時間と楽しめる時間のけじめがあること。
女	首都圏	同年齢の方々との生活ができること。
女	首都圏	期間もあまり長くなく、年に何回も参加できること。
女	首都圏	温泉で休養することができれば。
女	首都圏	参加したくないので期待、要望もない。
女	首都圏	農作業の手伝い(草取り、手入れなど)。
女	首都圏	野生植物の保護。
女	首都圏	地方特有の風習を知りたい。
女	首都圏	現在、私は93才の母の面倒を一人でしていますので、他のボランティアはやりたくてもできません。残念ですが…今は考えられないのです。
女	首都圏	地域への環境作り。
女	首都圏	特産物の発展(品質・種類)に対して共に勉強させていただければと思っています。
女	首都圏	軽作業
女	首都圏	軽作業
女	首都圏	終る時間が決まっていって残業がない。
女	首都圏	危険はイヤだ。
女	首都圏	汚いはイヤだ。
女	首都圏	農作物の収穫。
女	首都圏	「ボランティアホリデー」という言葉も知りませんでした。色々なサークルに参加しているので、今すぐは参加できませんが、もし日帰りであるとすればできるかもしれません。
女	首都圏	都会と地方に住む人々の情愛、環境、考え方などの違いを知り、自分の老後の生活の場を考えてみたい。
女	首都圏	できるものは調理(ケーキ、パンも含む)ですが、年齢的に相手方に迷惑をかけた場合のことを考えるとふみきれません。
女	首都圏	簡単な農作業の手伝い。
女	首都圏	野生植物の保護活動。
女	首都圏	地域の人との交流の中で、その後も友人として関係を続けていければと思います。
女	首都圏	田舎の生活が好きなので、知らなかったことを色々覚えられたいいいなと思います。
女	首都圏	地方の食生活を知りたい。
女	首都圏	あまり聞いたことがないシステムなので、不安です。
女	首都圏	保育支援、介護支援に参加して、今までの経験を生かしながら、お互いにふれあい、楽しみ、喜びを分かち合いたいと思います。
女	首都圏	軽作業の調理支援。
女	首都圏	介護支援。
女	首都圏	資格はないが、乳幼児の子守り等。
女	首都圏	年令相応の軽作業で貢献したいと思います。
女	首都圏	畑で野菜を作る手伝い、又は田植えなど土に親しむ作業等。
女	首都圏	地域の人との交流。
女	首都圏	実家や親戚が田舎にあると良いと思う。
女	首都圏	地元の方達がボランティアを必要とする事柄と自分の能力が合致するとやりがいがあると思う。
女	首都圏	家事一般自分にできる範囲のことができ、一時的なものではなく長く付き合えることができる出合いがしたいと思う。
女	首都圏	農作業
女	首都圏	体験型観光(郷土料理)
女	首都圏	年齢的に無理だと思いますので、話し相手ぐらいしかできません。
女	首都圏	達成感のある仕事なら何でも良い。個人差があるとは思いますが、再度お手伝いの時に自信が持てるような指導？をして欲しい。
女	首都圏	染色、お菓子作りなど手伝いながら、自分のアイデアを生かしたい。
女	首都圏	繁忙期での手伝い(農作業)。灰焼き、下草刈等、人手で行うものを手伝う。
女	首都圏	近くに医療施設の充実している所。
女	首都圏	長期滞在は年齢的に無理だと思います。
女	首都圏	長期に家を留守にできない。
女	首都圏	私は関心、好奇心が旺盛ですが何としても行動力が現在は伴いませんので残念です。健康体に戻りたいです。
女	首都圏	お年寄りの話し相手。
女	関西圏	軽仕事は体力的に無理ですので、座ってできる物作りなどしてみたい。
女	関西圏	誰かのために何かしてさしあげるのは、とても楽しいことだと思います。身近なことで良いので、私にもできることはないか？といつも考えております(リュウマチで身体(足)が不自由です)。
女	関西圏	地方の作物などをしりたい。
女	関西圏	話し相手でいろいろ楽しく過したい。
女	関西圏	体の不自由な方を車いすに乗せて、押しながら田舎道をおしゃべりしながら散歩したいです。

性別	住居	内 容
女	関西圏	老人ホームの為に、募金しつつ。
女	関西圏	年齢的にも長期は無理。
女	関西圏	年齢的に活動が一日中は…。
女	関西圏	神社。
女	関西圏	史跡。
女	関西圏	観光案内。
女	関西圏	お酒の造り方。
女	関西圏	春・夏・冬の学校の休みの時期に、孫(中学生)等も一緒に活動に参加できれば良いと思います。
女	関西圏	人の話を聞いてあげる。そしてそれなりのアドバイスができればいいなと思う。
女	関西圏	週休2日。
女	関西圏	1日8時間労働。
女	関西圏	自分の技術が生かされる仕事。
女	関西圏	土地の人たちと共に、野生植物の保護育成を毎年続けていく。
女	関西圏	特に、絶滅品種を増やす作業をしたい。
女	関西圏	健康に自信がないから、家から通えるような所。高齢でもありますので、他の方に迷惑をかけたくないから。
女	関西圏	1、こちらの要望よりも地方の方が何をしてほしいのか…望まれることをしていきたいと思います。
女	関西圏	小さくても畑があれば、自分で作物を作りたいと思ったり致します。
女	関西圏	年齢が20才若ければ、色々なことを考えてもいいのですが、今の自分の年齢(71才)ではあまり役に立てそうにないので、自分より年配の方の話し相手とか商品の販売とか位しか、お役に立てないのではと思います。
女	関西圏	体力を使わない方法のボランティア。
女	関西圏	歌うことで慰問。
女	関西圏	話し相手(聞き上手である)。
女	関西圏	軽い手仕事を共に楽しむ(布、紙での小物作り)。
女	関西圏	人とのふれあい。
女	関西圏	①ボランティアの人達が仕事(手伝い)の内容をはっきりと指示するようして下さい(初期の日2、3日)。
女	関西圏	②仕事が終わった後は語らいの場を必ずもうけて楽しく明るくすること。
女	関西圏	子供を対象にしたようなもの。
女	関西圏	茶、書道などの文化面。
女	関西圏	自分にできることがあれば活動したい。
女	関西圏	都会育ちで年齢も若くないので、身体にあった植物に関する野外での楽しい仕事(?)であればいいな。
女	関西圏	地元の人達との触れ合い(会話)。
女	関西圏	介護してみたい。
女	関西圏	イベントの手伝い。
女	関西圏	田舎の人達との触れ合い。
女	関西圏	都会化されていない田舎の風景。
女	関西圏	温泉のあるところ。
女	関西圏	南紀の梅の収穫のボランティア。
女	関西圏	健康に不安だからその上、年をとっているからかえって邪魔になると思うから、自宅で留学生などの相談相手になったりするボランティアに参加したい。
女	関西圏	皆で楽しくできるようになれば良いと思う。
女	関西圏	宿泊施設。
女	関西圏	食事の確保。
女	関西圏	大自然に残っている所を期待します。

(2) 問30の自由回答

性別	住居エリア	内 容
男	首都圏	東京への交通の便が良いほうがいい。
男	首都圏	あまり考えていないが、適度に緑に囲まれている。
男	首都圏	適度に便利な環境が良い。
男	首都圏	周りに自然が残っていて、静かな環境である場所に住みたいと思う。
男	首都圏	食、寝、遊。
男	首都圏	ゆっくりと生活がしたい。
男	首都圏	自然環境
男	首都圏	仕事(収入)のことについて心配です。
男	首都圏	交通手段や商業施設が充実していて、生活の利便性が確保されていれば、自然が豊かだとか人情があるとかはいつでも良い。地方特有の習慣や排他的な共同体意識にわずらわされないことが望ましい。生活費が安くすんだり、土地に余裕があるのなら、それに越したことはない。
男	首都圏	お金が安そう。
男	首都圏	料理がおいしそう。
男	首都圏	車がなければ生活できなそう。
男	関西圏	時間に追われず、ゆったりとした暮らし。
男	関西圏	ゆったり生活できる所。
男	関西圏	空気がきれいな所。
男	関西圏	交通の便が良いこと。
男	関西圏	自然災害(地震、大雨、台風など)に弱い環境のところは避けたい。
男	関西圏	自分の趣味ができる施設があること。
男	関西圏	同年代の人々が少しでも住んでいること。
男	関西圏	大自然に囲まれ、星のきれいなところがいい。家の周りの人々とも深い交流があり、一緒に農作業したり、子供同士も仲の良い関係が良いと思う。
女	首都圏	
女	首都圏	交通手段を便利に。
女	首都圏	スーパーなど(デパート等)一まとまりにして、買物がそこで一度に買えるように。
女	首都圏	ファーストフードやコンビニなども欲しい。
女	首都圏	買物ができる所が近くにあって欲しい。
女	首都圏	周りに人がいない。
女	首都圏	ゆったりとした生活。
女	首都圏	自然の中での生活。
女	首都圏	家の近くに買い物できる場所がある。
女	首都圏	交通が不便ではない。
女	首都圏	広い家、庭で暮らす。
女	首都圏	ペットを飼う。
女	首都圏	自分の好きなことができる。
女	首都圏	のんびりできる。
女	首都圏	健康的
女	関西圏	地方でも都会のように病院などに不自由しないという点です。
女	関西圏	のんびりとゆったりと自然の中で暮らしたい。
女	関西圏	家族でBBQ。
女	関西圏	家族でテニス。
女	関西圏	交通の利便性。
女	関西圏	図書館などの公共施設の充実。
女	関西圏	近くに色々な店などがある場所。
女	関西圏	色々なテーマパークがある。
女	関西圏	有名な食べ物や名産がある場所。
女	関西圏	生活に不便がないこと(交通、買い物など)。
女	関西圏	子供が将来幸せだと感じられる環境。
女	関西圏	町の環境。
女	関西圏	町の雰囲気。
女	関西圏	自然の中で四季を感じて生活したい(都会ではただ何となく過ぎて行くから)。
女	関西圏	野菜を作ったり、山に山菜を取りに行ったり、川で魚を取ったりしてのんびりと生活したい。
女	関西圏	ゆとりのある生活。
女	関西圏	騒音、人込みのない生活。
女	関西圏	ご近所の人々との触れ合い。
男	首都圏	交通となれば車。車がメインになるので、ガソリン代が他よりも安くなること。
男	首都圏	安定した収入が得られること。
男	首都圏	生活に不自由しないよう、近くにお店があること。
男	首都圏	安らぐ景色であること。
男	首都圏	都会では失われつつある、人と人とのコミュニケーションを味わえる。
男	首都圏	・空気がおいしく水がきれいな川の近くで、野菜を作りながら、のんびりと暮らしたい。
男	首都圏	自然が多く、子供ものびのびできる環境。
男	首都圏	ライフラインの確保。
男	首都圏	物価が安い。
男	首都圏	自然。
男	首都圏	自給自足生活を是非やってみたいです。
男	首都圏	のんびりした時間。
男	首都圏	ゆったりとした生活。
男	首都圏	自然
男	首都圏	おいしい食べ物。

性別	住居エリア	内 容
男	首都圏	東京に近い所。
男	首都圏	田舎でも最低限の施設は必要(病院、コンビニ等)。
男	首都圏	時間的に余裕のある暮らしがしたい。
男	首都圏	自然が身近に感じられる場所。
男	首都圏	今のところ考えていませんが、交通が便利であればいいと思います。
男	首都圏	静かな環境。
男	首都圏	海のある土地。
男	首都圏	実際田舎、都会といった考えは好きではない。住む場所は物流が良く、地域の人とはそこそこの適度な付き合いで体を動かせることにお金が発生しない安全かつ自由な環境と考える。
男	関西圏	交通手段が多く整っているのが良い(田舎へ行く道が1つしかないとかは辛い)。
男	関西圏	野菜などを作ってのんびり暮らしたい。
男	関西圏	交通の便がいい事。
男	関西圏	病院や買物が近くにある事。
男	関西圏	まだわからない。
男	関西圏	仕事。
男	関西圏	田舎の定住は買い物や交通不便が気がかりであり、その辺りが良くなればと期待します。
男	関西圏	交通、病院など住居、生活環境を不安定にしない。
男	関西圏	自転車で15分以内に駅があり、安く買物ができる店があり、海が近い。
男	関西圏	低価格の土地と家。
男	関西圏	交通機関が便利であって欲しい。
男	関西圏	都会はごちゃごちゃしていて、うるさいし、ゆっくりのんびり暮らした
男	関西圏	何もない状態からのスタートなので、それをサポートするものがまったくないと先に進めないで、その地方圏全体の密着的なサポートとつながりがないといけない。
男	関西圏	将来結婚して子供ができた時に、学校など教育施設などの環境が整っていること。
男	関西圏	雇用確保
女	首都圏	・車で数十分のところにショッピングセンターがあること(買物がある程度便利)。
女	首都圏	環境の美しさ。
女	首都圏	若いうちは田舎での定住は考えませんが、年をとったら、きれいな空気のもとでのんびりとした所に家を持ちたい。
女	首都圏	何にもない場所ではなくて、少しだけ、通りの買物ができる場所や、医療の面も整った場所であって欲しい。都会では買えない値段で家を買って、少しでもお金に余裕を持ち、旅行に行ったり、老後を楽しめればと思う。
女	首都圏	小児科もある病院が近くにある事。
女	首都圏	スーパーなど徒歩でいける距離である事。
女	首都圏	子育てで孤立しないよう、子供の集まる場所がある事。
女	首都圏	学校が徒歩30分以内で、防犯意識がしっかりしている事。
女	首都圏	ゆったりと生活する事ができる。
女	首都圏	都心よりも広々とした住まいで生活できる。
女	首都圏	自然が続く事。
女	首都圏	郷土料理を学びたい。
女	首都圏	その歴史も知りたい。
女	首都圏	医療設備が充実。
女	首都圏	通信回線
女	首都圏	田舎に行くこと決めた時点で、都市部よりも多くの面で不自由さがあるということは想像できるので、物資の面では期待していませんが、何よりも、田舎に対する(その住民など)知識を十分に取り入れてからでないで、全て変わる生活に順応できるのだろうかと考えたら、やはり、情報を多く発信して欲しいということ、Iターン者を受け入れる体制などについての情報が、期待するところです。
女	首都圏	都市圏への利便性。
女	首都圏	交通の便が良い。
女	首都圏	交通の便利な所や大きなショッピングセンターなどが身近にありながらも田舎らしい自然の中に住みたい。
女	首都圏	交通の便が良いこと。
女	首都圏	・自然が多く、空気がきれい。
女	首都圏	・土地が広くて安い家を買える。
女	首都圏	・東京へアクセスが便利なこと。
女	首都圏	・緑が豊かで空気がきれいなこと。
女	首都圏	自然を大事にする。
女	首都圏	地方は何かと不便だから、できれば住みたくない。
女	首都圏	会社という狭い枠にとらわれず、自分のやってみたい仕事に就いて、のんびりと暮らしたいと思います。
女	首都圏	特に東京は家賃が高いのですが、田舎だとあまりそういうこともなく、場所さえ気に入った地域なら自由でいいなあと思います。
女	首都圏	田舎には住んでみたいけど、生活が成立つのが心配。田舎にはあまり仕事がないと聞くので。
女	首都圏	緑が多いこと。
女	首都圏	観光が少ないこと。
女	首都圏	実家が地方なので特になし。
女	首都圏	学校や病院、コミュニティセンターなどの施設の充実。

性別	住居エリア	内 容
女	首都圏	不便だし、虫が嫌いなので定住はしたいと思いません。
女	首都圏	緑豊か、きれいな川や空気でのんびりできる土地が良い。
女	首都圏	自給自足をしたい。
女	首都圏	牧場で牛を育てて、チーズなどを作りたい。
女	首都圏	地域の人々と交流ができる。
女	首都圏	その土地でも収入があり、生活できる。
女	首都圏	子供の教育環境が整っていてさらに夫の職場が近くにあるといい。
女	首都圏	家族で過ごす時間を長くしたい。
女	関西圏	人と人との温かいつながり。
女	関西圏	自然との共存。
女	関西圏	今の土地から離れてしまうと、私を必要としてくれている人たちが困るので、定住は考えていないが、第2の地（休みの日に行く）にしても良いと思う。都会で疲れた子供達を、自然の中でいろいろなことを学ばせてあげたいので、田舎は田舎のままでいて欲しいです。
		耐震性のある家に住みたい。
女	関西圏	広い家。
女	関西圏	庭でガーデニング。
女	関西圏	静かな環境。
女	関西圏	自分が病気なので、病気が治れば良いと思います。
女	関西圏	きれにくい子供が育ちそうと思う。
女	関西圏	心が豊かになれそうな気がする。
女	関西圏	病院が近くにあること。
女	関西圏	窓から海（山）が見えること。
女	関西圏	安全。
女	関西圏	地元の人とすぐ仲良くしていきたいから、交流の持てる場が欲しい。
女	関西圏	地元の人とすぐ仲良くしていきたいから、情報が欲しい。
女	関西圏	空気がきれいで静かでのどか。
女	関西圏	食べ物がおいしい。
女	関西圏	車で2時間くらいで、ある程度の都市に出られる所。
女	関西圏	時間がゆっくり流れるような環境。都会のせかせかを感じさせないような
女	関西圏	のんびりした生活。
女	関西圏	自然。
女	関西圏	子供の安全。
女	関西圏	仕事があれば田舎でも良い。
女	関西圏	野菜作りなどの指導。
女	関西圏	都会みたいに時間に追われるような生活じゃなく、ゆっくり暮らしてみたい。
女	関西圏	自分のことを理解してくれる人等が近くにいること。
女	関西圏	子供を自然にふれさせ。
女	関西圏	今の家からあまり遠くなく、自然がある所が良い。
女	関西圏	定住するつもりはないですが、もしするとしたら駅やバス停の近くで、スーパーも歩いていける所に住みたい。
女	関西圏	病院などもできれば近い方が良いと思う。
女	関西圏	家は大きくて住みやすい。
女	関西圏	不自由なく暮らせる。
女	関西圏	自然の中ででのんびりと暮らしたいです。
女	関西圏	伝統行事が残っていることが一番。
女	関西圏	考えていない。
女	関西圏	ゆっくりのんびり生活したい。
女	関西圏	移住の際の引越しなどの費用の一部負担。
女	関西圏	土地、建物を特別価格にて購入できる。
女	関西圏	交通アクセスが便利に。
男	首都圏	・災害等に対し、安全であること。
男	首都圏	・住みやすいところであること。
男	首都圏	生活に不便がないこと。
男	首都圏	必要なものが身近で揃う環境。
男	首都圏	どこにも行きたくないです。
男	首都圏	田舎に帰っているので別になし。
男	首都圏	なるべく自給自足ができるような環境が理想。でもあまり田舎すぎると、病院などの施設が遠くなるので、適度な場所が良い。
男	首都圏	地方圏へ定住するのならば自然の中で暮らしたいと思うので、周りに自然がいっぱいあり（川や海等があるとベター） 娯楽施設等、人の手が入ったものがあまりないような所。
男	首都圏	海が近い所でペンションなどを開きたい。
男	首都圏	働く環境と文化になじめること。
男	首都圏	静けさ。
男	首都圏	家族でゆっくり生活できること。
男	首都圏	安定した職業に就けて、普通に生活していける環境、収入。
男	首都圏	医療施設などの充実。
男	首都圏	自然環境の天災による影響がないか。
男	首都圏	都市部と同様の職場環境（インターネットの有効利用）。
男	関西圏	医療・福祉等、公共的な施設が整っている事。
男	関西圏	近くに病院、学校などがある。病院は特に救急で診てもらえる小児科があること。
男	関西圏	田舎への定住は考えられず、週末のみ田舎で生活するという方向でしか考えることはできない。
男	関西圏	まったくできる環境。

性別	住居エリア	内 容
男	関西圏	住み良いこと。
男	関西圏	便利なこと。
男	関西圏	環境
男	関西圏	土地柄
女	首都圏	自分が大切にしたいもの、こだわりたいものが実現できる形がいい。例えば、自分で作った野菜を食べたり、陶芸や伝統工芸品を作成するなど、そこでなければ実現できないものに関わりたい。
		子供が独立し、夫と二人で定住してみたい。
女	首都圏	何らかの補助が、自治体からあれば良いと思います。
女	首都圏	新しい人を喜んで、受け入れてくれる人たち（地方の方たち）であって欲しいです。
女	首都圏	大きな家に住みたいし、ゆったり時間に追われない暮らし。
女	首都圏	空気がとてもきれい。
女	首都圏	畑でいろんな野菜を作ってみたい。
女	首都圏	子供を叱らずにのびのびさせてあげれそう。
女	首都圏	ストレスがたまらなそう。
女	首都圏	問29で選んだ理由が要望であり、期待することです。東京ではあまりないような人間関係を持てるような気がします。
女	首都圏	自然との共生。
女	首都圏	広い住環境。
女	首都圏	新鮮な食材。
女	首都圏	主要幹線経路に近い(新幹線の駅など、東京に行く際、便利であること)
女	首都圏	・病院が近くにあること。
女	首都圏	・全般的な生活費は安く済むのであろうと思うが、やっぱり物価が高く感じる(高いイメージがある)のもう少し安いといいと思うが・・・。
女	首都圏	借家ではなく自分の家を持ちたい。
女	首都圏	自然が多い地域に住みたい。
女	首都圏	医療、福祉(施設など)が充実した地域に住みたい。
女	首都圏	自身と子供が喘息がひどくて、辛い思いをしているため空気のきれいな所への定住を考えている。ゆくゆくは治らないまでも、少しでも症状を軽くできればと思う。
女	首都圏	病院などへの交通の便や買物など。
女	首都圏	車の免許を持っていないので、交通の便を考える。近所に生活に必要な物を買に行く場所等があれば、それでも構わない。
女	首都圏	あとは、生活していく上で、職場に通勤しやすいか等。
女	首都圏	よそ者扱いされない。監視されない。＊申し訳ありません。自分が地方出身であまり良い印象（人間、近所づきあい）がないのでマイナスイメージばかりです。
女	首都圏	住む家については家屋は小さくて良いが庭がある。できれば崖の下は避けたい。
女	首都圏	環境
女	首都圏	近所の方々（人間関係）。
女	首都圏	物価
女	首都圏	買い物などできる場所までの交通手段、時間。
女	首都圏	学校
女	首都圏	時間に追われずのんびり暮せたら良いと思う。
女	首都圏	自給自足がうまくできたら良いと思う。
女	関西圏	都市部へのアクセスが良い（1ー2Hくらいで行ける）。
女	関西圏	生活しやすい（スーパー、学校、病院etcが近くにある）。
女	関西圏	家族で助け合い、色々なことを経験したいので、地域の方と同じような生活をしたい。
女	関西圏	戸建の家に住めること。
女	関西圏	スーパーや交通方法(手段)が近くにある所。
女	関西圏	すぐ診てもらえる病院がある所。
女	関西圏	医療面でのサポート(急病等に備えて)。
女	関西圏	アレルギー症状が軽減する。
女	関西圏	子供の学校(良い学校が近くにあるか)。
女	関西圏	自然の素晴らしさを子供に教えたい。
女	関西圏	人と人のつながりの大切さを子供に実感して欲しい。
女	関西圏	星がきれいに見えること。
女	関西圏	多少交通が不便でも、人があまり多くなく旅行者も来たりしない所。
女	関西圏	夫婦でゆっくり過ごしたい。
女	関西圏	野菜を作ってみたい。
女	関西圏	老後に自分の時間が持てるようになってから定住したい。
女	関西圏	田舎は田舎らしくそのまま。便利などにならなくて良い。
女	関西圏	広い家に住んで、家庭菜園、ガーデニングなどを楽しむ。
女	関西圏	地方圏への定住には抵抗があるので、特に要望なし。
男	首都圏	・仕事の安定。
男	首都圏	店や駅があればいい。
男	首都圏	・環境が良いこと。
男	首都圏	・都会にない便利さ。
男	首都圏	・転居先での仕事の有無。
男	首都圏	・安定した年収。
男	首都圏	のんびりしたい。せかせかしたくない。
男	首都圏	地域の人々とのふれあい。
男	首都圏	夢や希望はあるが、金銭的な面や、年をとってからの新しいスタートには少々不安もある。

性別	住居エリア	内 容
男	首都圏	東京生まれ東京育ちだから、地方圏の定住は望んでいないので要望もな
男	首都圏	きれいな空気。
男	首都圏	安心な町。
男	首都圏	ガーデニングが好きなので花が咲き乱れる家に住みたいが、仕事が定年
男	首都圏	のない自営なので、おそらくここにずっと暮らすでしょう。田舎には大
男	首都圏	変興味がある理由は母親の実家が長野で山あり川あり毎年子供を連れて
男	首都圏	遊びに帰ります。母親の兄弟が全員長野の近所に住んでいるので、遊び
男	首都圏	に行くともみんな集まって宴会！！。
男	首都圏	なるべく都市から遠い場所。
男	首都圏	住まいの広さ。
男	首都圏	豊かな自然。
男	首都圏	都会の煩わしさをなさ。
男	首都圏	住まいは地方圏でも都会の情報やアクセス（必ずしも絶対条件ではない
男	首都圏	が）が十分整備されている地域が良いと思う。
男	関西圏	周りに緑が多いこと。
男	関西圏	身近に病院があること。
男	関西圏	田舎の定住は考えたことが無いので、特に無い。
男	関西圏	田舎への定住は考えていないので、期待、要望は無いです。
男	関西圏	自分は海の側で小さなお店を開きたいと考えています。そのために、ま
男	関西圏	ずその地方の文化や風土を勉強してからと考え、年に4～5回訪問して
男	関西圏	います。その地方で求められるような仕事を探索中ですので、情報交換
男	関西圏	の場を求めます。
男	関西圏	生活できるだけの収入(仕事)。
男	関西圏	・のんびりとした生活。
男	関西圏	・物価が安いこと。
男	関西圏	・大規模な店。
男	関西圏	インターネット環境が整っていること。
男	関西圏	安く買える住居。
男	関西圏	ネット環境の整備。
女	首都圏	定住するつもりは無いです。
女	首都圏	自然に囲まれていて、空気がきれい。
女	首都圏	今の友人が遊びに来て、何日か泊まって、自然と触れ合い、ゆっくりの
女	首都圏	んびりお酒を飲んでり色々してみたい。
女	首都圏	自然の中で時間に追われることなく、ゆっくりと過ごしたい(自給自足等
女	首都圏	で)。
女	首都圏	地方へ定住した後、安定したたくわえで暮らせるかどうか。
女	首都圏	医療施設がしっかりしていること。
女	首都圏	仕事があればよい。
女	首都圏	運転免許（普通）
女	首都圏	教員免許（中学）
女	首都圏	教員免許（高校）
女	首都圏	教員免許（養護学校）
女	首都圏	現在の生活水準以下の暮らしはしたくない。
女	首都圏	近隣に学校、病院、大型スーパーがあるため。
女	首都圏	病院が充実していること。
女	関西圏	時間にとらわれることなく、ゆったりと生活する事ができる。あくせく
女	関西圏	働くことなく、のどかに毎日を過ごす。
女	関西圏	自然と共に、春夏秋冬を感じて、のんびりと過ごしたい。
女	関西圏	近所付き合いが盛んで、アットホームなところである事。
女	関西圏	自給自足を身につけている事。
女	関西圏	病院があって欲しい。
女	関西圏	買物施設などは揃っていて欲しい。
女	関西圏	あまり移住するつもりはない。
女	関西圏	考えられません。
女	関西圏	南の島で自給自足の生活をし、インターネットを使って買い物と情報収
女	関西圏	集をしたい。
女	関西圏	無料のエステサロンを開き、島の人達と交流のできる場を作りたい。
女	関西圏	医療施設や買い物をする所が近くにあること。
女	関西圏	・自然があり、環境が良いこと。
女	関西圏	電気・ガス・水道が完備されていて、家が安く、学校、ショッピング、
女	関西圏	病院も近くにあり、住宅が密集していないこと。
女	関西圏	最低限必要な公的機関が徒歩30分以内にあること（郵便、スーパー、病
女	関西圏	院等）。
女	関西圏	公共の交通機関がある程度発達していること。
女	関西圏	買い物、病院などに遠すぎないこと。
女	関西圏	住民が気軽に参加できるイベントや講座などがあり、開かれた地域であ
女	関西圏	ること。
女	関西圏	ゆったりとした生活をしたい。
男	関西圏	広い家で暮らしたい。
男	首都圏	医療機関の充実。
男	首都圏	交通機関の充実。
男	首都圏	里山のある土地。
男	首都圏	安心できる医療。
男	首都圏	老後のんびり田舎で・・・?と考えています。
男	首都圏	最近は交通手段も発達しているので、多少遠くても都心に行くことも大
男	首都圏	変ではないと思う。
男	首都圏	子供をのびのび育てられること。

性別	住居エリア	内 容
男	首都圏	収入が安定する仕事と、住居があれば考えるかもしれない。
男	首都圏	具体的には今は無理。
男	首都圏	趣味と実益が伴うこと。
男	首都圏	自分なりに住みやすいこと。
男	関西圏	お店が少ないのが、困るかなーと思っています。
男	関西圏	現時点では地方圏への定住など考えられない。年のせいかわからない
男	関西圏	が、たとえ年をとった段階でも、最近の災害のことを思うと、地方圏と
男	関西圏	なると考えてしまう。
男	関西圏	都心への交通の便が良いところ。
男	関西圏	のんびりとした暮らし。
男	関西圏	ストレスのない暮らし。
男	関西圏	公害のない環境で、健康を維持したい。
男	関西圏	同じような仲間がいればなお良い。
男	関西圏	最低限の生活保障(生活できるだけの収入源の確保)。
男	関西圏	楽しくできる自給自足の生活。
男	関西圏	きつとした収入があれば田舎でのんびりしたい。自然の中でのびのびと
男	関西圏	子供を育てたい。
男	関西圏	田舎であっても、交通の便がよいところ。
男	関西圏	静かなところ、人が少ないところ。
男	関西圏	交通網の利便性。
男	関西圏	車に乗れないくらい老いた時、病院に行く、買い物に行くなど不便さを
男	関西圏	どう解消できるか？
女	首都圏	もともとが田舎育ちなので、やはり少しでも山が見える場所に住んでみ
女	首都圏	たい。畑もやってみたいので、自然があるところが良いと思う。動物も
女	首都圏	飼ってみたいと思う。
女	首都圏	・食べ物がおいしい。
女	首都圏	・お店がたくさんある。
女	首都圏	民家があまりにもないような田舎ではない所。
女	首都圏	できれば、海に近ければと思います。
女	首都圏	田舎暮らしをするなら、豊かな自然の中で新鮮な食べ物を味わい、広い
女	首都圏	家で生活できたら、と思う。でも、友人、子供と一緒にできればつまら
女	首都圏	ないので、多分移住はしないと思います。
女	首都圏	温泉があるなど。
女	首都圏	少なくとも医療機関は整っていて欲しい。
女	首都圏	ずっと都会で生活しているので、田舎暮らしはできないと思う。
女	首都圏	家族が楽しく、のんびり過ごせること。
女	首都圏	夜とかもネオンがある方がいい。
女	関西圏	間29で〇をしたことが実際であるということ。高齢であると思うので、
女	関西圏	いざという時の病気等に対応する施設。
女	関西圏	両親が鹿児島島の田舎の出身で、田舎の暮らしの大変さを身にしみて感じ
女	関西圏	ていますので、定住は全く考えていません。
女	関西圏	自然が豊かであること。
女	関西圏	田舎は空気がきれいできくつもの良いことがあるけれど、買い物の面や
女	関西圏	交通の不便さがある。
女	関西圏	のんびり自然と触れ合い、自給自足に近い生活をする。
女	関西圏	自然がありつつ、便利な生活ができる。
女	関西圏	近所付き合いがうまくいくように。
女	関西圏	医療機関との連絡が密であること。
女	関西圏	今のところあまり関心がないので、望むことが見当たりません。
女	関西圏	昔からの風習にこだわらず、新しい若い人の意見が聞いてもらえるよう
女	関西圏	な環境の中でなら生活してみたいかも。
男	首都圏	交通の便。
男	首都圏	生活の安定。
男	首都圏	友人
男	首都圏	家族が全員で住める。
男	首都圏	・どここの諸外国もそうだが年をとると都市的な便利さが重要(医療ケア、
男	首都圏	ある程度の密集、各種エンターテイメント…)
男	首都圏	若者が地方圏に住みやすい公的施策が必要。
男	首都圏	静かさ、やすらぎ。
男	首都圏	地方圏への定住は現在考えていない。
男	首都圏	定住を考えていないので、期待も要望もありません。
男	首都圏	今の年齢だと仕事。田舎で生活できるだけの収入がないと難しい。
男	首都圏	収入を得ることのできる仕事と住宅。
男	首都圏	ゆったり、のんびりした生活。
男	首都圏	気の合う仲間と同じ地域に定住し、共同作業や協力しあいながら生活す
男	首都圏	る（特に老後）。
男	首都圏	自然を大事にしたい欲しい。
男	関西圏	あまり他人に干渉されない、静かな生活を望む。
男	関西圏	時間に縛られないような生活。
男	関西圏	生活費の捻出が十分できるか。
男	関西圏	生活に不便は感じないくらいい・・・。
男	関西圏	定住は考えていません。年令を増す毎に環境の整った場所の方が老後は
男	関西圏	安心と考えます。自宅から出てすぐにスーパーがあり、医療も受けやす
男	関西圏	い。自宅はバリアフリーで安全。そのような環境が地方圏で整えば定住
男	関西圏	も期待できます。
男	関西圏	豊かな自然。

性別	住居エリア	内 容
男	関西圏	あまり地方圏への定住を望まない。なぜなら日本独特の土着性がある、地元の人ともよそ者扱いをしたり、地元へ溶け込む努力をするなどの行為があまりにもナンセンスに思うから。アメリカ人のように自由に居場所を変えられるのとは別問題だと思う。
女	首都圏	温泉がある所。
女	首都圏	周りの人とうまくやっていけるか心配なので、人柄がいい人が周りにいる程度。
女	首都圏	ある程度の土地。
女	首都圏	病院があまり遠くなくある所。
女	首都圏	のんびり暮らす。
女	首都圏	周りがさびしくないところ。
女	首都圏	便が悪いのは耐えられないと思うので、便もよく、自然も親しめる所。
女	首都圏	その地方圏に排他的な気質がないこと。
女	首都圏	インターネットが使えなこと。
女	首都圏	医療施設があること。
女	首都圏	定住するにあたって、まずその地域の暮らしについていけないのではないかと、不安が先に募る。
女	首都圏	自然が豊かで、交通の便がいい。
女	首都圏	厳しい自然より、楽しめる四季。
女	首都圏	DASH村のような、手作りの暖かさ。
女	首都圏	きれいな自然と空気。
女	首都圏	年をとって地方に移り住む場合はやはり地域の人々との交流などの機会に期待したい。
女	関西圏	自給自足のエコロジカルな生活。
女	関西圏	田舎の方々にいろいろなことを教えてもらい、また、祭りや町内会の活動などにも参加して、心安らかな老後を送りたいと思います。
女	関西圏	周りの人と仲良く暮らし、野菜などを作ってのんびり暮らす。
女	関西圏	交通が便利である。特に都会へのアクセス。
女	関西圏	高齢になると、だんだん身体が動かなくなってくるので、買物、交通の便利なこと。
女	関西圏	定住を考えていない。
女	関西圏	自然に囲まれ、のんびりとした所が希望だが、買い物、医療などのある程度の便利さも必要だと思う。
女	関西圏	老後をゆっくりと過ごしたい変面、老後は医者との関係が切り離せないことがあり不安もある。出てくる不安が取り除けるなら定住も夢じゃなくなるかも。
男	首都圏	関心がないので、期待、要望なし。
男	首都圏	1. 都会にないゆったりさ。空気、水。
男	首都圏	2. 医療の充実（緊急時）。
男	首都圏	広い土地が購入でき、趣味であるバイクの集々場やミニ工場を作り、老後を過ごしたい。
男	首都圏	食生活に困る事のないような物資が備わっている事。
男	首都圏	全く関心がないので、特になし。
男	首都圏	・生活のための仕事のあり、なし（サラリーマン以外）。
男	首都圏	自然を含めた環境が良いこと。
男	首都圏	隣近所に気兼ねなく生活できること。
男	首都圏	大都市へのアクセスが良いこと。
男	首都圏	地域住民との交友。
男	首都圏	ゆったりとした生活。
男	首都圏	ある程度の金額を得られる仕事があることを要望します。
男	首都圏	自然
男	首都圏	時間に追われない生活。
男	首都圏	衣食住の環境が良いことに期待する。
男	首都圏	健康面から病院があること。
男	首都圏	地方圏のレベルが不明。
男	首都圏	健康で過ごすことができる環境が維持されること。
男	関西圏	TVのない生活。
男	関西圏	田舎であっても仕事があること。20年前に経験済みです。
男	関西圏	医者が近くにあること。
男	関西圏	スーパーが近くにあること。
男	関西圏	田舎で生まれ育ったので、ゆくゆくは実家のある地方圏への定住を希望している。
男	関西圏	今、住んでいる所が田舎です(大阪の北部)。田舎への定住は考えていません。
男	関西圏	健康のため、空気のいい場所。
男	関西圏	食材、水のおいしいところで自然に暮らしたい。
男	関西圏	・公共交通の利便性。
男	関西圏	・医療機関のありなし。
男	関西圏	・自然災害の危険性。
男	関西圏	近所付き合いをしながら半自給生活し、ゆっくり時間の過ぎていくような暮らし。
男	関西圏	考えていません。
男	関西圏	家を安く貸してくれる。
男	関西圏	寒くない地方。
男	関西圏	海が近くにある。
男	関西圏	できればレストラン経営がしたい。
男	関西圏	定住は考えない。ずっと便利な所に住んでいて、親、子供も身近にいるので。

性別	住居エリア	内 容
男	関西圏	防災の徹底。
男	関西圏	安全の確保。
男	関西圏	地方分権の徹底で、医療や教育など生活環境の充実を図って欲しい。
女	首都圏	緑の多い、広い敷地。
女	首都圏	家族分だけの野菜作り。
女	首都圏	周りの人と楽しく、家庭菜園でもやりながら生活したい。
女	首都圏	自然と人間の温かさ。
女	首都圏	草花が大好きなので、庭が広く持てて、ペット達とゆったりとした生活ができればいいと思います。
女	首都圏	定住をしていますが、都会へたまには2-3時間出れる所が良い。
女	首都圏	田舎だからかなり大きい庭や家に住みたい。
女	首都圏	生活の便が良い事(買物・医療)。
女	首都圏	近隣との交流が持てる事。
女	首都圏	快適な住居の確保。
女	首都圏	定住はとも考えられない。
女	首都圏	やはり定住となっても生活するのに便利な所であって欲しい。
女	首都圏	地方圏に住んでも、近所との人間関係はあると思いますが、もう少しゆとりのある関係を保ちたいと思います。
女	首都圏	その土地の風習に慣れるのは大変だと思いますが、ゆっくりとした時間を送りたい。
女	首都圏	今現在、首都圏に近いが農業主体の生活であり、こども地方圏かもしれない。すぐには考えられに。もっと都市化が進めば、将来は考えるかもしれない。
女	首都圏	いくつになっても暮らしやすい生活。
女	首都圏	近くにコンビニ・病院・スーパーなどがある。
女	首都圏	生活費が安い。
女	首都圏	住み易い場所。
女	首都圏	古い家を購入して、野菜など自分で作って、暮らしたいと思っています。
女	首都圏	昔の自然が残っていたらいいなと思います。
女	首都圏	医療福祉の充実。
女	首都圏	医療設備が充実している。
女	首都圏	自分が満足できる住居が必要。
女	首都圏	自給自足の生活を送ってみたい。
女	首都圏	考えていない。
女	首都圏	定住を考えたことがないのでわからないが、公共事業の充実と医療機関と文化的行事と治安が良いこと。
女	首都圏	近所づきあい。
女	首都圏	ゆっくりできる。
女	首都圏	交通の便利さ（自家用車を利用しない生活）。
女	首都圏	病院が近くにあること。
女	首都圏	スーパーマーケットに行けること。
女	首都圏	まったく考えていません。今（商売をしている）の所を離れたら生活して行けません。
女	首都圏	土地や家が広く、安く手に入れば良い。できれば海の近く。
女	首都圏	定住したら自給自足の生活を送りたい。
女	首都圏	医療機関が十分であるか（総合病院が複数あるか）。
女	首都圏	病院までの時間が短時間か（病気がしい病気をしたことはないが、高齢に向けて一番心配）。
女	首都圏	自然の中で暮らすという良い面ばかり思い描きますが、不便なことや金銭的なことの不安があります。
女	首都圏	家が広くて、費用がかからなくのんびり気ままに生活できること。
女	首都圏	家の周囲が自然に囲まれて、川が流れて鳥達が遊び回り心も体もリラックスでき、癒されること。
女	首都圏	地方圏で子供に自然の素晴らしさと同時にその恐ろしさを学ばせたい。
女	首都圏	自然の中で自由にそののにおいに包まれて暮らしたい。
女	首都圏	地元の人達とうまく交流できること。
女	首都圏	医療施設の充実している場所。
女	首都圏	バスなどの便があること。
女	首都圏	集会所などの施設がある所。
女	首都圏	災害などに対しての対応を発表している所。
女	首都圏	夫婦揃って健康であること。
女	首都圏	贅沢は望まないが、安定した収入があること。
女	首都圏	家庭菜園でできるくらいの庭があること。
女	首都圏	子供達と月1回くらいの交流があること。
女	関西圏	排他的でないこと。
女	関西圏	・医療、ショッピング施設の充実。
女	関西圏	・災害に対しての安全性（台風、地震対策）。
女	関西圏	空気がきれいでも水がおいしい。
女	関西圏	生活費が安く済む。
女	関西圏	ゆったりとした生活ができる。
女	関西圏	野菜などを作ってみよう。
女	関西圏	自然の中で暮らしたい。
女	関西圏	毎日自転車で行けるところにスーパーがあると良い。
女	関西圏	都会も少しは感じられるところがあると良い。
女	関西圏	年に1度は何か大きなイベントがあると嬉しい。

性別	住居エリア	内 容
女	関西圏	静かな環境。
女	関西圏	医療関係は充実していて欲しい。
女	関西圏	バリアフリーな町作り。
女	関西圏	地域の交流。
女	関西圏	買物がしやすい。
女	関西圏	高齢になるので、ライフラインの充実。
女	関西圏	都市圏への行き来がしやすい環境(交通手段など)。
女	関西圏	不便な田舎でしたら病院に行くのが大変。常に医者がいて欲しいこと。
女	関西圏	個人の生き方が尊重されること、期待。
女	関西圏	すぐには思いつかない。
女	関西圏	田舎にある慣習やしきたり等、入って行きにくい所があるのでとは定住には不安あり。
女	関西圏	地方圏への定住は考えたことはありません。
女	関西圏	・家庭菜園など普段買っているような野菜を作ってみたい。・新鮮な野菜が食べられる。
女	関西圏	若い時は、どこへでも。でもある程度年を取ると自分の生まれた土地でと希望します。
女	関西圏	ほとんど考えたことがないので何とも言えない。
女	関西圏	車を持っていないので、交通の便が心配です。
女	関西圏	自給自足の信念のある方は、田舎への定住は素晴らしいと思うでしょうが、歳が行けば反対に都心に住み、楽しく暮らすという考えもあるでしょう。私はどちらかと言えば後者で、年に2〜3回田舎への旅行をして、のんびりできることがありがたいです。
女	関西圏	買い物物が近くでできたらいいなあと思います。
女	関西圏	トイレが洋式。
女	関西圏	自然の中で暮してみたい。
女	関西圏	四季の移ろいを感じたい。
女	関西圏	医療機関を多くする。
女	関西圏	交通手段を多くする。
女	関西圏	豪雪地帯以外であること。
女	関西圏	自然がいっぱいある所。
女	関西圏	景色、空気の良い田舎でのんびり暮したい気持ちはありますが、公共施設やショッピングなどの利用がしやすく、バス、電車の交通の便が良い場所であれば定住は考えられません。
男	首都圏	静かな場所。
男	首都圏	海が近い。
男	首都圏	安全なところ。
男	首都圏	病院が近くにある事。
男	首都圏	将来は田舎でも水洗トイレ(自家用浄化槽でも可)が使用できるようになる事が、田舎住まいの必須条件となっていくのではないかなと思う。
男	首都圏	ゆったりとした時間を過ごせるような環境にある地域。
男	首都圏	その地域の人々と交流して親睦を深める生活を送りたい。
男	首都圏	・空気がきれいで水がおいしい。
男	首都圏	・まわりの人が親切で気さく。
男	首都圏	・自分あるいは家族の健康のため。
男	首都圏	交通の便が良いこと。
男	首都圏	考えていないので、思い浮かばない。
男	首都圏	本当に地方圏へ定住しきれぬか疑問。
男	首都圏	家庭菜園作りを指導してくれる方がいる地域。
男	首都圏	期待も要望もなし。ただ空気が良く、食べ物はおいしいのんびりした生活をしたくない。
男	首都圏	田舎には住みたくない。
男	首都圏	年間を通して温かい場所釣りできて畑があり、家庭菜園が楽しめるような所を期待。
男	関西圏	広すぎもせず、狭いこともなく程ほどの土地を所有したならば、ぶどう畑を作ってワイン作りに精を出してみたいと思います。
男	関西圏	定住は考えていない。
男	関西圏	・近所とのつきあい。
男	関西圏	別に田舎への定住は考えていない。若い頃ならいいが、年をとるとやっぱり無理な気がし、もし年をとって田舎暮らしを考えれば、周りに迷惑をかける気がする。
男	関西圏	空気がきれいで、風光明媚なところで、ゆったりとした生活がしたい。
男	関西圏	都会の事を忘れて、ゆったり生活。
男	関西圏	地域とのふれあい。
男	関西圏	身体の調子が悪くなった時や、事故などで怪我をしたときに、十分な治療を受けられるようにして欲しい。
男	関西圏	生活費安く。
男	関西圏	1、病院が近い所。
男	関西圏	2、地震、水害等が少ない所。
男	関西圏	地域の人達との交流があればいいと思うが、煩わしい付き合いは？
男	関西圏	川か海があること。
男	関西圏	交通手段の確保。
女	首都圏	医療施設など不安があるので、希望しない。
女	首都圏	田舎に実家が空家となって存在するが、家も大きく庭も広いが、定住する気はまったくなし。狭くても便利な都会生活からは離れたくない。
女	首都圏	地域の交流。

性別	住居エリア	内 容
女	首都圏	自給自足の生活。
女	首都圏	身体が不自由でなければ、大いに参加している色々な事を経験してみたい。
女	首都圏	地域になじめるような。
女	首都圏	物価の安さ。
女	首都圏	人情の厚さ。
女	首都圏	医療関係が住む近くにあれば安心です。
女	首都圏	食品の買物が心配です。
女	首都圏	広い土地。
女	首都圏	生活費が安い。
女	首都圏	健康に暮らせる所。
女	首都圏	山が近くにあり、小川が流れていればなお良い。
女	首都圏	畑をたがやしたい。
女	首都圏	空気、水がきれいななど都会にないものがありますが、年をとり田舎に住む時、日常生活に必要な買物をすることが少ないように思われます。車の運転もいつまでできるかわかりません。スーパーなどが近くにあると助かります。
女	首都圏	仲間との交流が欲しい。
女	首都圏	住むべき地は考えられませんでした。今後何かのアクティビティがあげてくれたら今度まで違う人生を生きたいと思うようにもなったら別です。
女	首都圏	交通の便が良い所。
女	首都圏	住みやすい環境であること（病院、買物場所が近くにあること）。
女	首都圏	のんびり暮らしたい。
女	首都圏	気候の良い所。
女	首都圏	新鮮な自然の食品。
女	首都圏	行くとしたら実家のある田舎にします。姉妹がいるから。
女	首都圏	一日がゆっくり、マイペースで住みたい。
女	首都圏	現在は車の運転をしますので、不便は感じませんが将来車に乗れなくなった場合の日常生活の上で、交通事情がもっと良くなって欲しい。
女	関西圏	・年齢が偏らずに自由な雰囲気、買物などが便利な場所で、緑がいっぱいある環境が良い。
女	関西圏	若い頃は自然の中で猫と暮らしたいと思っていましたが、だんだん健康上の不安が増え、今もし移住するとしたら、近くで生活に必要な買物ができ、医院の設備のあるところしか無理のようです。周りにとけこめることも必要ですし、気候の温暖なところでないとい困ります。
女	関西圏	時間に追われる日々。
女	関西圏	物造り…染色・木工・陶芸など、その土地にある物で。
女	関西圏	設備などが十分な病院が近くにあること。
女	関西圏	車を運転しないので、バス便が適度にあること。
女	関西圏	住居があること。
女	関西圏	社会的に文化と接触できること。
女	関西圏	交通の便。
女	関西圏	自転車で行けるお店、マーケット、スーパーがあること。
女	関西圏	空気がきれいでおいしいこと。
女	関西圏	人々の素朴さ。
女	関西圏	公共機関、買い物、病院の便が良いこと。
女	関西圏	防犯。
女	関西圏	・農地、畑の確保と農作業道具提供ノウハウの指導。
女	関西圏	若い時、地方に15年間生活してしまいがちで、その土地特有の考え方や、価値観があり年令を重ねてから、その土地になじむことの難しさを感じます。双方が互いを受け入れることができるのなら、とても素晴らしいと思います。
女	関西圏	高収入につながらなくとも何か「仕事」といえるものにたずさわれるならば、より早く深く交流がはかれるのではないでしょうか？
女	関西圏	病院や買物場所（大きくなくても良い）がやはり近くにあり、日常生活に困らないようにできる所。
女	関西圏	数年前までは田舎に住む事を夢見て、色々な所を見てまわったが、腰を痛めて今では病院も近しい、近所の人も親切なこの土地がよいので、地方で住むことは考えられない。
男	首都圏	②野菜など作って食べれること。
男	首都圏	考えていない。自分が老化してきて、横浜市のような良い所から離れられない。
男	首都圏	地域の方とコミュニケーション＝情報交換が気軽にできること。
男	首都圏	気候が温暖で生活しやすいこと。
男	首都圏	畑などをやってみたい(野菜作り)。
男	首都圏	定住するところは決まっているので、とにかく花が好きなので、花に囲まれた生活をしたい。
男	首都圏	近くに老人ホームがあることで、転居するまでに何か老人ホームの人達に教えられるような資格を取りたい。
男	首都圏	近隣の住民との友好。
男	首都圏	ボランティア等、活発に活動可能な環境。
男	首都圏	自給自足がやりたい。空気がきれい、環境が良く、ストレスがたまらないような所であれば。
男	首都圏	老後のゆとりある生活。現在福島県の浜通りに山林2500坪位所有している。
男	首都圏	寒くない地方。
男	首都圏	のんびりと人間らしい生活。
男	首都圏	近くに大病院がある地方。

性別	住居 ^{※17}	内 容
男	首都圏	暖かい地方。
男	首都圏	交通の便の良い地方。
男	首都圏	雑木林があって小川が流れている場所。
男	首都圏	自販機がない。
男	首都圏	人工の音がない。
男	首都圏	地域の閉鎖性が希薄であること。
男	首都圏	文化的運動が容易なこと。
男	首都圏	医療などのインフラの一定程度の整備がされていること。
男	首都圏	野生動物と共存できるように行政で考えてもらいたい。
男	首都圏	定住する近くに総合病院が欲しい。
男	関西圏	その土地の人と、道ぶしん、川ざらえ、ゴミの収集、お祭りの準備、手分け、その他、その土地の共同作業をみんなでやる楽しさとつらさ、それが一番の良さだと思います（つまり、コミュニケーション）。ただし私自身は仕事上、田舎に定住することはできない。
男	関西圏	③生活費が安く済む。
男	関西圏	⑧野菜などを作ってみたい。
男	関西圏	高齢になり(70歳)、山・川・谷がある静かな(田舎)所。
男	関西圏	ゆったりとした暮らし方。
男	関西圏	町へ出て行くのに、交通が便利な所に住みたい。
男	関西圏	昔ながらの風土と人の気質が残っている所（都市化されていない風景と人間関係）。
男	関西圏	ただし、医療施設(診療所)が整っている所。
男	関西圏	静かな環境は好きだが、日常生活に不便があると思う。
男	関西圏	永年暮らしており、愛着と安心感があり、本件設問には現状特に思い当たらない。
男	関西圏	地方に行きたいとは思わない。
男	関西圏	元々お住まいの方とつかず離れずの関係で、互いに学ぶべき点を中心に交流したい。
男	関西圏	・自然が豊かであること。
男	関西圏	・交通があまり不便でないこと(買い物、病院など)。
男	関西圏	海が近く、人口の少ない所。
男	関西圏	畑があって、野菜は自給自足できる所。
男	関西圏	住民との関係が、心配と期待。
男	関西圏	近くに温泉のある所。
男	関西圏	買い物に便利な所。
男	関西圏	今のところ考えておりませんので。
男	関西圏	空気がきれいで水がおいしい所。
男	関西圏	野菜を作りたい。
男	関西圏	定住を考えるとしたら、立地条件の良い所で生活をしたい。
男	関西圏	住みたい希望が多いにあったが、田舎の土地、家を処分したので今は願望のみのようである。
男	関西圏	現住地が都市田舎両面あり、特に希望していないが、田舎では将来高齢になった時、交通(車の運転ができなくなった場合)や医療などの問題がある。
男	関西圏	ある程度文化的な生活が期待できる所。
男	関西圏	海、山がある所。
男	関西圏	高齢者も受けられるか。
男	関西圏	定住後の周囲の管理に馴染むか不安感あり。
女	首都圏	近くに病院、スーパー、日常の買物等できるところ。
女	首都圏	多く雪の降らない地方。
女	首都圏	定住する場所に医療施設があること。
女	首都圏	時間がゆっくり流れていくような生活。
女	首都圏	地域の行事には積極的に参加。
女	首都圏	都会暮らしでは味わうのできない事(例えば、畑での自給自足・四季折々の自然の変化など)。
女	首都圏	海に見える気候の良い場所。
女	首都圏	野菜、果物の安い場所。
女	首都圏	今住んでいる所もそうですが、自治会のあり方をもっと根本的に考え直して欲しい。特に田舎ほど新しい人が入りにくい、入りたくない、と思います。
女	首都圏	定住する気はまったくありません。
女	首都圏	自然の中で暮らしたいと思う以上、不便なことを覚悟して行かなくてはならないが、医療機関はある程度整っていて欲しい。
女	首都圏	私の希望は夏は北海道、冬は千葉で生活と考えております。山菜を採ったり温泉につかりのんびりと老後を考えております。
女	首都圏	まったく考えていません。
女	首都圏	地方は自然が豊かで健康にも良いと思いますが、高齢化と共に交通の便、病院や公共施設の便などを考えますとあまり不便な所は不安です。
女	首都圏	環境の良い所。
女	首都圏	生まれも育ちも東京なので、日常生活に不便な所はどうも定住できそうもない。
女	関西圏	まったく想像もできない。
女	関西圏	病院が近くにあり、安心して暮していけるところ。
女	関西圏	交通の便のよいところ。
女	関西圏	自然の中でゆったりと過ごしたい。

性別	住居 ^{※17}	内 容
女	関西圏	田舎は大好きで、田園風景のある所に住みたいと思っただけでもあります。が、60歳を過ぎてから、新しい土地に馴染むことは非常に難しく、今のままの生活で終わりたい。
女	関西圏	平屋の家でリビングとゆったりとした客間と少しの庭(家庭菜園ができる程度)。
女	関西圏	野菜など作って、自然の中でのんびりと暮らしたい。
女	関西圏	住みやすく、周りの人が親切であること。
女	関西圏	土砂崩れしない所。
女	関西圏	田舎に住んでみて初めて色々なことを経験することであり、今は何も言えません。
女	関西圏	野菜など農家などから買ってもらえる。
女	関西圏	祭りとか葬式とか古いしきたりには参加しない。
女	関西圏	プールなど施設があり老後充実した生活ができると良い。
女	関西圏	交通に便利など。乗り換えが多いと困る。都会と行ったり来たりできること。
女	関西圏	車がなくても生活できるところ。
女	関西圏	歴史文化のあるところ。
女	関西圏	ただの過疎地では困る。
女	関西圏	田舎は空気もきれいだし、生活費も安くつくので、ゆったりと畑で野菜をいろいろ作ったりできれば良いと思います。
女	関西圏	医療面の充実。
女	関西圏	地域の人とすぐに溶け込めるようにお互いに努力をして欲しいし、自分達も努力する。
男	首都圏	田舎の定住に興味はあるが、実際に現住所から移住する気にはなれない(田舎住まいは嫌いでないということ)。
男	首都圏	病院設備の充実。
男	首都圏	交通手段の充実。
男	首都圏	高齢のため、体力を伴うボランティアなどは不可。
男	首都圏	自然の中で静かに暮したい気持ちは、多少持っている。
男	首都圏	1、医療施設。
男	首都圏	2、自由に利用できる公的な施設。
男	首都圏	病院がある。
男	首都圏	スーパがある。
男	首都圏	温暖なところ。
男	首都圏	・食材が多い。
男	首都圏	・近くにコンビニエンスストアとか、買物に便利な店があると良いと思う(本屋)。
男	首都圏	私は単身で家族がいないので、考えられません。
男	首都圏	障害者でもありますので、考えられません。
男	首都圏	ケア付の老人ホーム。
男	首都圏	見晴らしの良い場所。
男	首都圏	特に海や落日も見える所。
男	首都圏	大都会の郊外など。
男	首都圏	仲間として気持ち良く受け入れてもらいたい。
男	首都圏	定住は考えていないが、しいて言えば、病院等福祉施設が充分整っているところ。
男	首都圏	買物など、日常生活の便利なところ。
男	首都圏	近代的な生活ができるところ。
男	首都圏	わずらわしくない程度に隣人とのコミュニケーションがとれるところ。
男	首都圏	都会暮らしのわずらわしさから逃げるために、数日の滞在ならば夫婦で田舎で暮らしたい。
男	首都圏	普通程度の医療が受けられること。
男	首都圏	交通が便利で、のんびりと生活ができる処が良いと思う。
男	首都圏	1、温泉があること。
男	首都圏	2、広い庭でニワトリが飼える。
男	首都圏	3、水洗トイレ。
男	首都圏	4、水に不自由しないところ。
男	首都圏	山が近く海に近い所が良い。
男	首都圏	・交通一つとっても車がないと生活できないと思う。
男	首都圏	山岳地方又は、海岸に近い所で比較的温暖地である。
男	首都圏	畑仕事のできる多少の土地がある。
男	首都圏	災害の少ない、起きにくい所。
男	首都圏	近く10km位の所に、あまり大きくない適当な町がある。
男	首都圏	安くていい家に出会う。
男	首都圏	都会にいつでも行ける。
男	首都圏	私は都会生活だけでしたので、高齢のため田舎の不便なところには住めない。
男	首都圏	買物、移動のための交通、病院等。
男	首都圏	田舎のことはあまり知らないで、関心がない。
男	首都圏	農作物を作りたい。
男	首都圏	できるだけ海に近く、温泉地なら良い。
男	首都圏	現在月に、東京で15日位、田舎で15日位の生活を4年続けている。田舎では、間29の2、3、4、5、7を実感している。
男	首都圏	要望としては病院、スーパーが歩いていけるところにあって欲しい。

性別	住居エリア	内 容
男	首都圏	妻と散歩（10km位）をするのが好きなので、所々に公衆トイレがあつて欲しい。
男	首都圏	医療施設が整っていること。
男	首都圏	住居の入手が簡単にできること。
男	首都圏	気候が良い所が良い。
男	首都圏	特になし。田舎への定住は無理だと思うので。
男	首都圏	近くに楽しめる施設があれば良い。
男	首都圏	都市圏に長く住んでいるので、地方圏に都市の利便さを期待することは無理なので要望することはない。
男	首都圏	公共施設が周りにある（郵便局、銀行、病院、学校、公共交通など）。
男	首都圏	川や海、温泉など、自然な遊興環境がある。
男	首都圏	生活の利便性がある（スーパーや商店街）。
男	首都圏	年令を増すと健康に自信がなくなり病院等の施設が地方では充分と言えないのが不安です。
男	首都圏	高齢者の立場から、医療設備がある程度整っていること。
男	首都圏	長期は少し厳しいかな。
男	首都圏	水と空気がきれいな所でゆったりしたい。
男	首都圏	人間関係がスムーズに行くこと。
男	首都圏	買い物や交通が便利。
男	首都圏	都会と同じ程度の文化、教育を受けられる。
男	首都圏	私は中学三年まで田舎にいました。もう東京の方が長いので東京に友人が多く楽しい生活をしています。一生の仕事を持っていますので、体力が続く限り仕事をしてみたいと思っています。
男	首都圏	年令、体力に合うような農作業がしてみたい。
男	首都圏	交通機関が良いこと。
男	首都圏	高齢のため、近くに病院等医療設備があること。
男	首都圏	隣近所が良い人ばかりなので考えたことはない。
男	首都圏	地方圏に定住の場合に近所に病院等があれば良い。
男	首都圏	ゆったりとした生活ができる。
男	首都圏	空気が水がきれい。
男	首都圏	比較的交通の便の良い所。
男	首都圏	医療関係の多い所。
男	首都圏	温泉があればいい。
男	首都圏	医療施設の充実。
男	関西圏	①セカンドハウスの考えである。従って、猛暑の時などに。
男	関西圏	期待は、空気が川がきれいでゆったりとした毎日の生活で、健康にもプラスだと思う。
男	関西圏	要望は、現在生活しているところと、同じ程度のライフラインが希望で
男	関西圏	自然の中でできる限り自活してみたい。
男	関西圏	私は田舎育ちですので、あまり田舎は好きではありません。
男	関西圏	子供や妹や親戚の者が阪神間に定住しておりますので。
男	関西圏	気候の良い土地。
男	関西圏	私は田舎生粋で20才頃を過ぎました。小川では魚を取りメダカ・鮒・鯉も多くたくさん泳いでおりました。そんな環境の中で生活(余生)したい気持ちがあります。
男	関西圏	自然のきれいな空気の中で、おいしい野菜を作りたい。
男	関西圏	都会生活と変わらない情報。
男	関西圏	自然食品。
男	関西圏	別に地方に行きたいと思いません。
男	関西圏	地方圏への定住も面白いと思いますが、その土地の人々との付き合い、風習に馴染めるか、病気になったときの対応が心配です。
男	関西圏	特になし。現在の住居を離れたくない。
男	関西圏	老後をゆっくりと生きたい。
男	関西圏	実家(所有)が田舎にあり、定住はいつでもできるが、現在地との関係もあり、先はまだわかりません。
男	関西圏	環境。
男	関西圏	病院やミニスーパーが近くにあること。
男	関西圏	現在、住んでいる方が期間が長く、友達も多いので離れて住みたくな
男	関西圏	・病院があること。
男	関西圏	・買物の場所がある。
男	関西圏	・交番がある。
男	関西圏	田舎でも比較的交通の便が良いこと(公共の交通機関、電車等)。
男	関西圏	・畑作りなど、自然の中でのびのびと暮らしたい。
男	関西圏	子供時代は田舎育ちで成人になり都会に出て来た。田舎の良さは理解できるが、生活となると考えることが多々あり現状では田舎へ定住するつもりはない。たまに行くのが良い。
男	関西圏	妻が持病等で意見を異にするので実現は難しいが我自身は、自由で気ままな田舎生活に憧れている。自然採取や養殖畑作飼育などマイペースで思う存分にできれば良いと思っている。
男	関西圏	子供が都市圏に居りますので、田舎への定住は無理です。
男	関西圏	実家が田舎にありますが、病気があるため通院が不便ですので、今の土地から離れることができませんので、悪しからず。
男	関西圏	私が現在居住している地域にある公共サービス、図書館、プール、トレーニングジム等。
男	関西圏	また私的には各種交通機関の便及び、かかりつけの診療所、また現在地に住んで47年、友人も多く子ども達や孫達がすぐ近くに住んでいるため、現在地を離れる気持ちはありません。

性別	住居エリア	内 容
男	関西圏	田舎で定住しようと、私も30代に京都の加茂町でブロイラー養鶏をしようとして土地を買い小さい家も建て頑張りましたが、反対が地元からあがり、中止して大坂へ帰り会社へ再就職して今日になりました。大坂へ引上げた後は土地はそのままですが、反対は済み静かです。よそ者と言う言葉が今も残っているように思われます。
男	関西圏	貸し農園、野菜自給自足。
男	関西圏	野菜などは自作したい。
男	関西圏	田舎でも、病院、スーパーが近くにあること。
男	関西圏	定住地のそばに小川が流れている。
男	関西圏	家庭菜園ができる。
男	関西圏	地方の人々と気楽に付き合いができること。
男	関西圏	祭りごとや集会で、特別扱いされないこと。
男	関西圏	定住するには山間部は避けたい。平坦地とか平野で空気のきれいで少し野菜の作れる田畑100坪程のできる所。
男	関西圏	河川の堤防の決壊しないよう完備されている所。
男	関西圏	無医村でない地方。
男	関西圏	定住先の人達と仲良く溶け込んで号に入れば号に従って一生楽しく暮せる所。
男	関西圏	定住はまったく考えていない。
男	関西圏	先住者と仲良くできるか。先住者に色々教えてもらいたい。
男	関西圏	私は滋賀県彦根市の出身で大阪に来て50年です。仕事の関係で旅行で国内の方々に行きましたが、古里彦根は「城、山、琵琶湖」など最高の町と誇りを持っております。定住の第一希望地です。
男	関西圏	畑の自家栽培。
男	関西圏	近くに温泉場があれば良い。
男	関西圏	風景が良い所。
男	関西圏	定住にあまり関心がないので考えたことがない。あえて言うなら高齢者に親切で気配りのある町、人達が多く住んでいる所。
男	関西圏	バリアフリー化の進んでいる所。
男	関西圏	青い海、緑の山々など自然環境の中での暮らし。
男	関西圏	生活費が安く上がる（ただし生活の利便性、病気になった場合に不安はあるが）。
男	関西圏	自然の中に十分レジャーが楽しめる所。
女	首都圏	現在地が気に入ってますので、地方への定住は現時点では考えておりません。
女	首都圏	医療が整っていること。
女	首都圏	東京生まれ東京育ちなので、東京がふるさと。田舎は旅行でたまに行くのが良い。
女	首都圏	豊かな自然。
女	首都圏	70才にもなりますと、今までの友人、病院など変えるつもりはまったくありません。
女	首都圏	病院、買物等が遠くないところに住みたいです。
女	首都圏	田舎への定住はまったく考えてません。田舎への旅は楽しいですが、暮すなら都会という私の好みは、若い時から変わりません。
女	首都圏	山、坂が急でないこと。
女	首都圏	バス、電車で買物などに出かけられること。
女	首都圏	年老いて行くので、病院、役場その他の公的施設が、居住する場所に近いところにある…が第一目標です。
女	首都圏	私は田舎から現在地に住むようになったのです。それは、田舎に住んでは子供達を高校、大学に進学させられなかったのです。これらが補えれば、田舎のほうが良いと思います。
女	首都圏	体が弱いから行かれません。
女	首都圏	現住地が地方と都会の生活を共に過ごしていますので、個人的にはあまり考えておりません(せわしない生活、朝夕実には空気が澄んで、お月様やお星様が美しく見えるこの千葉(習志野の地)を最高と思えてなりません)。時には地方圏も良いのですが…。とりあえずこの気持ちをお伝えしてこの欄を閉じます。
女	首都圏	空気がきれい。
女	首都圏	自然が美しい。
女	首都圏	災害が少なく安全である事。
女	首都圏	交通がいきとどいている。
女	首都圏	習慣や決まりが少ない。
女	首都圏	医療の面が充実している事。
女	首都圏	日用品が簡単に手に入る事。
女	首都圏	農作物を育てる。
女	首都圏	良い環境(自然・景色・空気)。
女	首都圏	定住は考えられません(車に乗れない・農業もできない・淋しがりやですの)。
女	首都圏	地方の人々とうちとけたい方がいいものか、その土地土地の環境、歴史なども考えていかなければと、そのための勉強もしなくてはと、そのような場があればいいのにと考えています。
女	首都圏	家庭菜園などの指導。
女	首都圏	病院、スーパーなど、最低限の生活環境が整っている。
女	首都圏	気候の良い所(温暖な場所)。
女	首都圏	買物に便利な所(1km位)。
女	首都圏	自然の中でのんびりとした生活。

性別	住居	内 容
女	首都圏	高齢のため、医療に関して心配なので(住み慣れた場所より別れられない)。
女	首都圏	交通の便が良い。
女	首都圏	現在、農専地区内で生活しているので、満足している。
女	首都圏	友達がいなくなるので二の足をふむ。関心はあるが不便か？
女	首都圏	民家が多少あって隣近所と仲良くしたい。
女	首都圏	自然に囲まれた環境の良い所。
女	首都圏	空気がきれい水がおいしい。
女	首都圏	生活費が安くすむ。
女	首都圏	あまり人里離れていては不便だし、集落の中では隣組的な付き合いが結構大変だと聞く。
女	首都圏	夏涼しい所は冬寒さが厳しく、一年中過ごしやすい所でないと年をとったら大変だと思う。
女	首都圏	現在の所から離れる気持ちはまったくありません。
女	首都圏	老後を田舎で過ごすのも良いと思いますが、交通、病院等のことを考えると心配です。
女	首都圏	野菜作り。
女	首都圏	地震でもなり、非難するとなれば田舎に行くようななと思う。
女	首都圏	生活権が守られる土地。
女	首都圏	人間関係が円滑なこと。
女	首都圏	福祉関係が充実している所に住みたいです。
女	首都圏	高齢のため田舎への定住はまったく順応できないと思うので期待も要望もなし。
女	首都圏	もう少し年齢が若ければ考えますが、今の生活の中では考えられませ
女	首都圏	10年位前までは地方に住むことも考えましたが、高齢とともに娘達とあまり遠くに住むことを止めました。孫も面倒を見ることもありますし、今のところ元気で好きなことをしています。
女	首都圏	近くに商店街がある所。
女	首都圏	病院がある所。
女	関西圏	母が花や畑がてさて、夫が犬を飼ってさるかもしれませんが、平気いって病院が近くにあることが望ましいと思います。のんびり緑側で過してみたい。
女	関西圏	今は定住は考えてない。定住するなら不安がない。
女	関西圏	気持ちの安住を望みます。
女	関西圏	交通
女	関西圏	病院
女	関西圏	不便
女	関西圏	医療関係
女	関西圏	交通の便が良い事。
女	関西圏	持ち家であり野菜作りをしており、子供達と離れることになるので、地方圏への定住は無理。
女	関西圏	高齢と共に生活圏が狭くなる由。自分での行動に自信がない。病院等の不安があり、生きる自身をなくす。
女	関西圏	交通の便(バス等)が歩いて30分前後にあれば良い。
女	関西圏	スーパー等の施設。
女	関西圏	急病や事故に備え、高度技術や信頼できる医療機関が車で30分以内の所にあれば安心できる。
女	関西圏	何分、もう高齢のため、望めぬことと思います。
女	関西圏	1、関心はあるのですが…私は田舎育ちですが主人が都会の人なので…それに主人が車に乗れません。田舎で車無しで生活は無理だと思います。
女	関西圏	お水(河、川)が近くにある、山あり川ありに住んでみたいと思います が、身体を丈夫にしなければと考えております。真夏の都会暮らしは特に辛いのです。
女	関西圏	足が不自由なので交通が便利な地方を望みます。
女	関西圏	衣食住、何れも質素に暮らせる自信があるから生活費が少なくてもやれ ると思う。
女	関西圏	洋裁、手芸、クラフトなど一緒に楽しみたい。
女	関西圏	①病院(総合)公共の設備が整っていて20～30分位で行ける所。
女	関西圏	②1年に1回～2回の楽しいイベント等があると良い。例えば村祭り等 で全国から人々が集うとか、胸がわくわくする等。
女	関西圏	体に自信がないので(股関節右変形性膝関節症)年をいけば便利な良い町 で過ごしたい。
女	関西圏	病気がちの身故病院等(開業医)が少ない。また急を要するさい不便であ る。
女	関西圏	汚染されていない山間または静かな風景の良いところ等が老後は定住の 夢だったのですが、最近の地震、水害等考える時どこへ行っても安心して 住めないように思い、住み慣れた現在地で今暫くは夢を追って行きます。
女	関西圏	田舎の方が住みやすく生活費が安くすむし、自然の中で豊かな暮らし を2～3年先で住んで見たい気がする。実現は難しいけれど。

性別	住居	内 容
女	関西圏	・交通の便。
女	関西圏	・医療機関。
女	関西圏	年齢的にも健康が心配なので医療機関が整っていること。
女	関西圏	物資の流通が早い地方。
女	関西圏	人間関係の問題。
女	関西圏	空気のきれいな所でゆったりと野菜など作ってみたい。
女	関西圏	自然いっぱい風景。
女	関西圏	野菜やお花を作ってみたい。
女	関西圏	温泉がある。
女	関西圏	農業ができる。
女	関西圏	現在は買い物便利ですね(スーパー等多いので)。空気もきれいで す。知らない人でも地域友好をすれば和合できると思います。今のところ はまだ町で暮したいと思います。
女	関西圏	これ以上自然を壊さないで欲しい。
女	関西圏	健康面で充実しているなら田舎に住んでも良い。
女	関西圏	空気がきれい水がおいしい。
女	関西圏	生活費が安く済む。
女	関西圏	周りの人が親切で気さくである。
女	関西圏	自然環境が良い。
女	関西圏	買い物に困らない。
女	関西圏	安全性のあることを要望します。

7. モデル事業モニター募集告知先リスト

(1) ボランティアセンター

名称	パンフレット配布部数
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 中央区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 港区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 新宿区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 文京区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 台東区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 墨田区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 江東区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 品川区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 目黒区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 大田区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 大田区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 世田谷区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 渋谷区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 中野区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 豊島区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 北区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 板橋区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 足立区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 葛飾区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 江戸川区社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 武蔵野市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 三鷹市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 調布市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 国立市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	30 部

社会福祉法人 横須賀市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 藤沢市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 さいたま市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 京都府社会福祉協議会	30 部

(2) カルチャーセンター

名称	パンフレット配布部数
NHK文化センター	50 部
東急カルチャーセンターBE渋谷校	30 部
早稲田大学エクステンションセンター 早稲田校	30 部
カルチャースクールセイルズ	30 部
朝日カルチャーセンター新宿教室	30 部
朝日カルチャーセンター立川教室	30 部
朝日カルチャーセンター横浜教室	30 部
朝日カルチャーセンター湘南教室	30 部
朝日カルチャーセンター千葉教室	30 部
朝日カルチャーセンター芦屋教室	30 部
朝日カルチャーセンター川西教室	30 部
朝日カルチャーセンター神戸教室	30 部
朝日カルチャーセンター東大寺教室	30 部
朝日カルチャーセンター近鉄奈良駅ビル教室	30 部
朝日カルチャーセンター千里教室	30 部
朝日カルチャーセンター大阪・中之島教室	30 部
朝日カルチャーセンター京都教室	30 部

(3) インターネット

名称	URL
e-ボランティア・ネット	http://www.e-volunteer.ne.jp/index.shtml
e-募集ドットコム	http://www.e-boshuu.com/

all about japan	http://allabout.co.jp/
NPO/NGO walker	http://www.npo.info/
Yahoo!掲示板 ボランティア活動	http://messages.yahoo.co.jp/
田舎暮らしの本 HP	http://www.takarajimasha.co.jp/inaka/
公募ガイド	http://www.anystyle.jp/koubo/
アクティブらいふ	http://www.ac-life.com/
シニア・ナビ	http://www.senior-navi.com/
エルダーの旅倶楽部	http://www.elder.or.jp/
ふるさと回帰ネット	http://www.furusatokaiki.net/
新現役ネット	http://www.shingeneki.com/index.shtml
エルダータウンネット	http://www.elder-town.com/
人生の後半戦フォーラム	http://forum.nifty.com/f2ndhalf/
ボランティアウェブ	http://www.npo-homepage.go.jp/volunteer.html
NHK ボランティアネット	http://www.nhk.or.jp/nhkvnet/top.html
ViVa! ボランティアネット	http://viva.cplaza.ne.jp/
IT ボランティアホームページ	http://www5a.biglobe.ne.jp/~t-nozu/
大阪ボランティア協会	http://cw1.zaq.ne.jp/osakavol/
東京ボランティア・市民活動センター	http://www.tvac.or.jp/
日本青年福祉協会	http://www.jyva.or.jp/index2.html
神奈川県国際交流協会	http://www.k-i-a.or.jp/
i-Ten-Labo	http://www.kyoto-v.com/
関西学生報道連盟	http://www.unn-news.com/
時計台 NET 掲示板	http://www.tokeidai.net/bbs/main/main.cgi
メロウ倶楽部	http://www.mellow-club.org/

(4) その他

名称	告知方法
都内の私立大学クラス会	パンフレットを個人宛に送付(30 部)
民間企業 OB 会	メールリングリストにて告知

8. モデル事業モニター募集パンフレット
(表面)

心に残る体験。心にしみる体験。

「ボランティアホリデー」 モニター募集のご案内



“ボランティアホリデー”とは？

都市部にお住まいの方がボランティア活動しながら地方圏に長期滞在。
訪問地での様々なボランティア活動を通して、地域貢献するだけでなく、地元の方々と交流
する機会が生まれ、一般的な観光旅行とは一味違った体験をすることができます。

“モニター募集！”

そこで今回ボランティアホリデーの可能性を探るための実証実験として、北海道・東北・四
国・九州の4地域でそれぞれモニターを募集いたします。

第1次

2004年11月14日(日)～11月20日(土)
(6泊7日)

行き先: 下記市町村のうちのいずれか1箇所
(北海道)阿寒町、女満別町、斜里町、常呂町
(山形県)山形市、天童市、東根市、河北町

第2次

2004年11月28日(日)～12月4日(土)
(6泊7日)

行き先: 下記市町村のうちのいずれか1箇所
(高知県)安芸市、夜須町、大方町、西土佐村
(鹿児島県)出水市、阿久根市、高尾野町、東町、
長島町、野田町

【定 員】: 各市町村2名程度

【料 金】: 宿泊費・航空券にかかる費用は無料

【条 件】: 関東圏もしくは関西圏にお住まいで20歳以上の男女 (資格等、特技・技術をお持ちの方は特に歓迎いたします。)

【ボランティア内容】: ツルの餌付け、まりもの保護、特産品のパッケージデザイン、ラ・フランスの収穫、焼酎工
場での作業、天日による塩づくり、ネイチャーウォッチングガイドの手伝いなど、地域の特性に応じたボランティ
アメニュー

【ボランティア活動】: 1日4、5時間程度。ボランティア活動以外の時間は地域の人との交流や観光など。

【締 切】: <第1次>2004年11月 1日(月)まで <第2次>2004年11月15日(月)まで

【申込み・問い合わせ先】

株式会社 富士通総研 PPP推進室 担当: 中井、石川

電話: 03-5401-8326 (平日9:00～17:30まで) FAX: 03-5401-8439

e-mail: vol-h@fri.fujitsu.com HP: <http://www.fri.fujitsu.com/volunteer/>

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウス7-11F

- 応募フォーマットに必要事項を記入の上、FAXか郵送、メールでご応募ください。
- 第1次、第2次とも行き先のご希望には添えない場合があります。
- ボランティア内容は予告なしに変更することがあります。
- 終了時にアンケートにご協力いただきます。
- 宿泊費・航空券以外の費用は自己負担となります。
- モニターの選定に際しては面接等を行う場合があります。

北海道運輸局 ・ 東北運輸局 ・ 四国運輸局 ・ 九州運輸局

(裏面)

「ボランティアホリデー」応募フォーマット

フリガナ	
お 名 前	
ご 住 所	〒
連 絡 先	TEL: FAX: メールアドレス:
性 別	()男 ()女
生 年 月 日	西暦 年 月 日 (満 歳)
勤 務 先	
資 格・特 技 等	
ご希望の地域 (○は1つずつ)	<第1希望> ()北海道 ()山形県 ()高知県 ()鹿児島県 <第2希望> ()北海道 ()山形県 ()高知県 ()鹿児島県
志望動機 (200文字程度)	
自己紹介 (200文字程度)	
ボランティアホリデーの情報は何でお知りになりましたか。	
その他	

締切日: <第1次>2004年11月 1日(月)必着
<第2次>2004年11月15日(月)必着

北海道運輸局 ・ 東北運輸局 ・ 四国運輸局 ・ 九州運輸局